

2026

こども発達専攻

シラバス

DA0001Q 日本国憲法
DA0003 心理学
DA0005 日本語表現
DA0008 コンピュータ基礎演習 A
DA0009 コンピュータ基礎演習 B
DA0015 総合英語 A
DA0016 総合英語 B
DA0017 スポーツ理論・実技 A
DA0018 スポーツ理論・実技 B
DA0020 キャリアデザイン論
DA0021 ボランティア社会学（実習を含む）
DA0028 情報処理（演習を含む）
DA0029 現代社会の課題 A
DA0030 現代社会の課題 B
DA0031Q こどもとプログラミング
DB0005 生活学
DB0006 食生活論
DB0007 衣生活論
DB0008 住生活論
DC0001 教育の心理学
DC0005 幼児理解（カウンセリングを含む）
DC0006 保育原理
DC0007 教師・保育者論
DC0008 幼児教育課程論
DC0012 教育原理
DC0023 子どもの食と栄養 A
DC0024 子どもの食と栄養 B
DC0026 社会福祉
DC0038 幼児体育
DC0039 保育基礎演習
DC0041 保育内容総論
DC0042 保育内容：健康
DC0043 保育内容：言葉
DC0044 保育内容：人間関係
DC0045 保育内容：環境
DC0046 保育内容：表現（音楽）
DC0047 保育内容：表現（造形）
DC0053 教職実践演習（幼稚園）

DC0054 幼稚園実習指導
DC0055 幼稚園実習
DC0056 保育実習指導 I (保育所)
DC0056 保育実習指導 I (施設) 1 年
DC0056 保育実習指導 I (施設) 2 年
DC0057 保育実習指導 II
DC0058 保育実習 I (保育所)
DC0058 保育実習 I (施設) 2 年
DC0059 保育実習 II
DC0061 保育の音楽表現
DC0062 音楽表現法
DC0063 幼児英語教材演習
DC0064 保育キャリアデザイン A
DC0065 保育キャリアデザイン B
DC0066 保育の心理学
DC0067 子どもの理解と援助
DC0068 社会的養護 I
DC0069 社会的養護 II
DC0070 子ども家庭支援論
DC0071 子ども家庭支援の心理学
DC0072 子育て支援
DC0073 乳児保育 I
DC0074 乳児保育 II
DC0076 子どもの保健
DC0077 子どもの健康と安全
DC0078 子ども家庭福祉
DC0079 こどもと読書生活 (1 年生)
DC0079 こどもと読書生活 (2 年生)
DC0080 保育内容の指導法 (情報機器の活用を含む)
DC0081 保育内容の理解と方法 (教材の活用を含む)
DC0082 こどもの図画工作
DC0083 生活の基礎
DC0084 教育方法
DC0085 子育て支援実践演習
DC0086 キッズダンス (身体表現)
DC0087 保育イベントプランニング
DC0088 特別な支援を要する子どもの理解と支援 A
DC0089 特別な支援を要する子どもの理解と支援 B

一覽

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0001Q	日本国憲法	合原 理映	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 この講義では、日本国憲法の定める基本的人権を中心に解説を行う。日本国憲法に保障されるさまざまな基本的人権の性質、保障内容だけでなく、保障に至る歴史的な背景なども取り上げていきたい。それと同時に、権利をめぐる裁判や時事的問題についても学ぶことにより、日本国憲法が社会においてどのように具体化しているのかについても解説する。本講義のねらいは、日本国憲法の基本的な知識を習得すると同時に、日々の生活の中にも憲法に関連する問題が存在していることを気づく目を養うことである。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	日本国憲法の基礎知識を理解する	確認テスト	70	5	日本国憲法の基本的な内容について正確に理解している（4回行う確認テストの合計点が90点以上の成績）			
				4	日本国憲法の基本的な内容を概ね正確に理解している（4回行う確認テストの合計点が80点以上）			
				3	日本国憲法の基本的な内容を理解している（4回行う確認テストの合計点が70点以上）			
				2	日本国憲法の基本的な内容を最低限度で理解している（4回行う確認テストの合計点が60点以上）			
				1	日本国憲法の基本的な内容をほとんど理解していない（4回行う確認テストの合計点が60点未満）			
向上心・責任感	社会におけるさまざまな憲法上の問題に関心を持ち、積極的に意見を表示できる	受講態度	30	5	憲法問題に関心を持ち、積極的に意見を提示する。			
				4	憲法問題に関心を持ち、意見を提示する。			
				3	憲法問題に関心を持っているが、あまり意見を提示しない。			
				2	憲法問題にあまり関心を持たず、意見も提示しない。			
				1	憲法問題に全く関心を持たず、意見も全く提示しない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第7版）』有斐閣アルマ（2025） 参考書：								
【その他】 授業時間中に行う確認テストについては、返却時にフィードバックを行う。 幼稚園教諭2種免許状の必修科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 憲法とは何か	事前学習： 憲法の意味についてネットで調べてみる。 事後学習： 授業で説明された憲法の意味と自分が調べた内容との相違点を確認する。	4
2 基本的人権の保障(1) 基本的人権とは。誰に保障されるのか	事前学習： 教科書Theme 1を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
3 基本的人権の保障(2) 外国人の人権保障	事前学習： 教科書Theme 2を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
4 プライバシーの権利	事前学習： 教科書Theme 3を読む。確認テスト(1) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
5 自己決定権	事前学習： 教科書Theme 4を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
6 法の下での平等	事前学習： 教科書Theme5・6を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
7 信教の自由	事前学習： 教科書Theme 7を読む。確認テスト(2) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
8 表現の自由(1)	事前学習： 教科書Theme8を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
9 表現の自由(2)	事前学習： 教科書Theme 9を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
10 営業の自由	事前学習： 教科書Theme 10を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
11 生存権	事前学習： 教科書Theme 11を読む。確認テスト(3) 事後学習： kakunintesuto	4
12 教育を受ける権利	事前学習： 教科書Theme 12を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
13 被疑者・被告人の権利	事前学習： 教科書Theme 13を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
14 国会とはどのような機関か	事前学習： 教科書Theme 16・17を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
15 裁判所	事前学習： 教科書Theme 19・20を読む。確認テスト(4) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0003	心理学	白岩 等	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
一般に心理学というと、悩みを抱えている人を助けたり、コミュニケーションや犯罪捜査に役立ったりする印象があるが、それらは心理学の一部であり、実際にはもっと広がりのある学問である。これまでの心理学関係の専門科目などで、思っていたよりも心理学は面白くないと感じた人もいないかもしれない。本講義では、主に身近な現象や生活を心理学で読み解きながら、簡単な実験等を通して心理学の面白さに気づき、知識と考察を深めていくことをねらいとする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	心理学における基礎的な知識を持ち、社会生活の中で活用できる。	定期試験	70	5	定期試験の得点が8割以上			
				4	定期試験の得点が7割以上			
				3	定期試験の得点が6割以上			
				2	定期試験の得点が5割以上			
				1	定期試験の得点が5割未満			
コミュニケーション力	心理学に対し興味を持ち、より深く学ぼうとする。	受講態度	30	5	心理学に対して積極的に興味を持ち、深く学ぼうとする意欲がかなり高い。			
				4	心理学に対して積極的に興味を持ち、深く学ぼうとする意欲が高い。			
				3	心理学に対する興味を持ち、学ぶ意欲がある。			
				2	心理学に対する興味が低く、学ぶ意欲も低い。			
				1	心理学に興味がない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： サトウタツヤ・渡邊芳之『心理学入門』（有斐閣）								
参考書： 授業時に適宜紹介する								
【その他】								
・課題等についてフィードバックする。								
・実務家教員による授業。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 心理学とは何か エピソードから心理学を考える。	事前学習： シラバスを読み、心理学についての自分なりのイメージを持つ。 事後学習： 興味を持ったテーマについて調べる。	4
2 臨床心理学① カウンセリングの歴史と実際	事前学習： カウンセリングに対するイメージについて調べる。 事後学習： 臨床心理学がどのように社会で用いられているか復習する。	4
3 臨床心理学② さまざまな心理療法	事前学習： 心理的に治療について、自分なりにイメージする。 事後学習： 個々な側面からアプローチする心理療法について復習する。	4
4 性格と個人差の心理学 血液型性格判断はどこまで正しいか	事前学習： 性格は変わるものなのか、変わらないものなのか考える。 事後学習： 性格がどのようにとらえられているか復習する。	4
5 社会的行動の心理学① どうしたら相手を説得できるのか	事前学習： 相手をどのように説得しているかについて考える。 事後学習： 行動の原因や意図について復習する。	4
6 社会的行動の心理学② 人間に及ぼす集団の力	事前学習： どんなどきに人は攻撃したり、傷つけたりしやすいのか調べる。 事後学習： どのように集団が人間を変えることがあるのか復習する。	4
7 発達心理学① 発達とは何か	事前学習： 発達とは何か自分なりの意見をまとめておく。 事後学習： 授業で触れた発達の理論について復習する。	4
8 発達心理学② 人間の発達のありさま	事前学習： こどもがどのように育つのか思い出す。 事後学習： 自身がこれから先どのように発達していくのか復習する。	4
9 心理学的アセスメント 心をどのようにして測るのか	事前学習： 身近にある「〇〇力」はどのように測っているのか考える。 事後学習： 操作的定義、信憑性と妥当性について復習する。	4
10 知覚・認知・記憶の心理学① 人は環境をどのようにとらえているのか	事前学習： 環境をとらえるのは目なのか能なのかについて考える。 事後学習： 人が環境をどのようにとらえているかを復習する。	4
11 知覚・認知・記憶の心理学② 記憶の仕組みと認知バイアス	事前学習： 自分が持っている一番古い記憶を書き出す 事後学習： 記憶の仕組みと認知バイアスについて復習する	4
12 行動と学習の心理学 行動とは何か レスポンデント条件付け・オペラント条件付け	事前学習： 行動とは何か、学習とは何かについて、自分なりに考える。 事後学習： 行動と学習について復習する。	4
13 親密な関係における暴力 なぜ、DVやデートDVは起きるのか	事前学習： 親密な関係の中でなぜ暴力が起きるのかを考える。 事後学習： DVやデートDVについて復習する	4
14 心理学の歴史 心理学がどのように生まれ、批判され、発展してきたか	事前学習： 教科書の該当部分を読んでおく 事後学習： 心理学の歴史について復習する	4
15 まとめ	事前学習： これまでのプリントや教科書を読んでおく 事後学習： 新たに分かったこと、疑問点などをまとめる	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0005	日本語表現	生田 美秋	前期	選択	講義・実習	2	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】 保育者のための日本語表現力アップをめざす講座です。就職活動で園や企業が学生に求める資質の第一位はコミュニケーション能力です。話す力、伝える力、書く力、読む力をつけることによりコミュニケーション能力を高める授業を行います。園で作成する日誌類の書き方、絵本の基本図書を題材とした読解、日本語検定3級問題集（短大レベル）を、ディスカッション、実演、発表などアクティブラーニングの手法を取り入れて、楽しく園での実践役立つよう指導します。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	グローバル社会で活躍できる日本語の表現力を身につける。	受講態度	20	5	日本語検定3級問題集読解の受講態度が充分定着している。			
				4	日本語検定3級問題集読解の受講態度がおおむね定着している。			
				3	日本語検定3級問題集読解の受講態度が不十分ながら定着している。			
				2	日本語検定3級問題集読解の受講態度が定着していない。			
				1	日本語検定3級問題集読解の受講に対する意欲が認められない。			
専門的知識・技術	保育者としてめざす目標についてレポートを作成する。	レポート	20	5	学習内容を充分ふまえたレポートが作成できる。			
				4	学習内容を充分ふまえたレポートがおおむね作成できる。			
				3	学習内容をふまえたレポート作成が不十分ながらできていない。			
				2	レポートとして不十分などところがある。			
				1	レポートが作成できていない。			
コミュニケーション力	自己紹介の下書きを作成し、相手に自己アピールできる力をつける。	レポート	20	5	コミュニケーションツールとして正しい日本語を充分使いこなしている。			
				4	コミュニケーションツールとして正しい日本語をおおむね使いこなしている。			
				3	コミュニケーションツールとして不十分ながら正しい日本語を使いこなしている。			
				2	日本語によるコミュニケーションにやや課題がある。			
				1	日本語によるコミュニケーションに課題がある。			
実践力	理由と根拠を示して大学または授業の改善策を提案する。	レポート	20	5	理由と根拠を示して説得力のある提案になっている。			
				4	理由と根拠を示しておおむね説得力のある提案になっている。			
				3	理由と根拠が不十分で説得力がやや弱い提案になっている。			
				2	理由と根拠が不十分で説得力のある提案とはいえないところがある。			
				1	理由と根拠が希薄で提案に説得力がない。			
向上心・責任感	グループ学習において責任ある行動がとれる。	受講態度	20	5	充分責任ある行動がとれている。			
				4	おおむね責任ある行動がとれている。			
				3	不十分ながら責任ある行動がとれている。			
				2	あまり責任ある行動がとれていない。			
				1	責任ある行動や協調性が認められない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】 教科書： なし。適宜A4サイズのプリントを配布します。ファイルを購入してプリントを綴じておいてください。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介します。</p>								
<p>【その他】 提出していただいたレポートのフィードバックを行います。 毎回行う日本語検定3級問題集読解は結果（点数）ではなく学習内容の定着を目的としています。</p>								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション、話す力①挨拶	事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
2 話す力②自己紹介、ショートスピーチ レポートの提出「自己紹介文の下書き」	事前学習： レポート「自己紹介文の下書き」を作成する。事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	6
3 話す力③改まった話し方、プレゼンテーション	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
4 話す力④敬語の役割	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
5 話す力⑤敬語を使って話す	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
6 伝える力①話を聞く	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
7 伝える力②わかりやすく伝える	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
8 伝える力③説明する	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
9 伝える力④理由と根拠を示す レポート提出「大学または授業の改善提案」	事前学習： レポート「大学または授業の改善提案」を作成する。事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する	6
10 書く力①読みやすく書く基本	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
11 書く力②レポートを書く レポート提出「保育者としてめざす目標」	事前学習： レポート「保育者としてめざす目標」を作成する。事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する	6
12 書く力③書いた文を見直す	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
13 書く力④手紙、履歴書、エントリーシート	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
14 読む力①音読したい名作（韻文）	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する	3
15 まとめ、読む力②音読したい名作（散文）	事前学習： 事後学習： これまでの授業を振り返る	10

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DA0008	コンピュータ基礎演習A	阿久津 毅	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 IT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、IT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、マナーを習得することを図る。主にメールにおける文書作成法・マナー・メーカーの使い方、さらにインターネット社会に必要なセキュリティに関する知識を深め、安全に個人・組織の活動を安全に行う実践力を養う。またワードによる文書作成、特殊印刷、セキュリティに配慮した文書の保存方法などを中心に体験してもらうことによって、自ら応用していく力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールや基礎知識を身につける	確認テスト	40	5	確認テストにおいて90%以上の正答率			
				4	確認テストにおいて80%以上の正答率			
				3	確認テストにおいて70%以上の正答率			
				2	確認テストにおいて60%以上の正答率			
				1	確認テストにおいて59%以下の正答率			
実践力	インターネットセキュリティに関する知識を身につける。	確認テスト	15	5	授業で行われる小テストで90%以上をクリア。			
				4	授業で行われる小テストを80%以上のクリア。			
				3	授業で行われる小テストを70%以上のクリア。			
				2	授業で行われる小テストを60%以上のクリア。			
				1	授業で行われる小テストを59%以下のクリア。			
向上心・責任感	ICT機器を利用したドキュメントを作成できる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。			
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。			
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。			
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。			
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 利用せず 参考書： P C室のLANなどを利用して練習問題などを配布。授業内の実演は撮影は許可する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。 幼稚園教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 「コンピュータと社会～第4次産業革命 (Society 5.0、データ駆動型社会、AI、Iot)～」 オリエンテーション 確認テスト	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2 メーラーの利用方法 確認テスト	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3 メール文書の作成法 確認テスト	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4 セキュリティ (組織編) 確認テスト	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5 セキュリティ (個人編) 確認テスト	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6 ワード:ビジネス文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7 ワード:ビジネス文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第5, 6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8 ワード:アンケート文書の作成① 確認テスト	事前学習： 第5, 6, 7回の演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9 ワード:アンケート文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10 ワード:アンケート文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第8, 9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11 ワード:スタイルを利用した文書の作成① 確認テスト	事前学習： 第8, 9, 10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12 ワード:スタイルを利用した文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13 ワード:スタイルを利用した文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習 事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14 ワード:差し込みなど特殊印刷① 確認テスト	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DA0009	コンピュータ基礎演習B	阿久津 毅	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 IT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、IT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、社会人として必要なスキルを習得することを図る。また、エクセルの一般的な四則演算や関数を利用して代表値の計算、偏差などのデータ処理を行い、度数分布表作成し、ヒストグラムなどのグラフ化するなどアンケート調査の報告を例題にビジュアル的な要素を含めてドキュメントを作成する能力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	コンピュータに係る計算や基礎知識を有する	確認テスト	30	5	確認テストにおいて90%以上の正答率			
				4	確認テストにおいて80%以上の正答率			
				3	確認テストにおいて70%以上の正答率			
				2	確認テストにおいて60%以上の正答率			
				1	確認テストにおいて59%以下の正答率			
実践力	アプリの機能を利用して、データの処理やグラフを作成することができる。	作品	30	5	ドキュメント内の課題を90%以上のクリア。			
				4	ドキュメント内の課題を80%以上のクリア。			
				3	ドキュメント内の課題を70%以上のクリア。			
				2	ドキュメント内の課題を60%以上のクリア。			
				1	ドキュメント内の課題を59%以下のクリア。			
向上心・責任感	ICT機器を利用したデータ処理ができる	確認テスト	40	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。			
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。			
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。			
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。			
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 【履修条件】 コンピュータ基礎演習AにてGPA1.0以上を獲得していること 教科書： 利用せず 参考書： PC室のLANなどを利用して練習問題などを配布。授業内の実演の撮影は許可する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。 幼稚園教諭2種免許状の必修科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 エクセルの基本 確認テスト	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2 エクセルの基本の書式 確認テスト	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3 エクセルの四則演算 確認テスト	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4 エクセルの関数利用 LEVEL1 確認テスト	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5 エクセルの関数利用 LEVEL2 範囲指定 確認テスト	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6 エクセルの関数利用 LEVEL4 条件付き 確認テスト	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7 エクセルの関数利用 LEVEL5 複数条件付き 確認テスト	事前学習： 第4, 5, 6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8 エクセル 条件付き書式 確認テスト	事前学習： 前回までの演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9 エクセル 大量データの扱い ① 確認テスト	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10 エクセル 大量データの扱い ② 確認テスト	事前学習： 第9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11 エクセル グラフ作成 ① 確認テスト	事前学習： 第9, 10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12 エクセル グラフ作成 ② 確認テスト	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13 エクセル グラフ作成 ③ 確認テスト	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習 事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14 エクセルのセキュリティ 確認テスト	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DA0015	総合英語A	酒井 志麻	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 基本的な文法や語彙を復習しつつ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に上達させることを目指す。 日本語話者が間違えやすい表現などを重点的に学び、実践の場で役立つ英語の知識を獲得する。 ペアワークなどを通して、他者と英語で会話をする姿勢を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	学修した英文法や語彙を理解して身につけ、英文読解や英作文に活用することができる	確認テスト	45	5	学期中に学修した内容を十分に理解して身につけ、応用することができる。(1回実施)			
				4	学期中に学修した内容を理解して身につけ、ある程度応用することができる。(1回実施)			
				3	学期中に学修した内容をある程度理解し、身につけている。(1回実施)			
				2	学期中に学修した内容を理解しているが、身につけていない。(1回実施)			
				1	学期中に学修した内容を理解できていない。(1回実施)			
社会人基礎スキル	各単元で学んだ文法や語彙を理解し、身につけている	確認テスト	30	5	授業で学んだ英文法と語彙を完全に習得している。(6回実施)			
				4	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得している。(6回実施)			
				3	授業で学んだ英文法と語彙をある程度習得している。(6回実施)			
				2	授業で学んだ英文法と語彙を少し習得している。(6回実施)			
				1	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得していない。(6回実施)			
コミュニケーション力	授業の目標を達成するために、他者と協力して課題に取り組める	受講態度	25	5	授業の内容や講師の指示を正確に理解し、他者と協力して意欲的に課題に取り組めた。			
				4	授業の内容や講師の指示をほぼ理解し、他者と協力して課題に取り組めた。			
				3	授業の内容や講師の指示を聞き、ある程度は他者と協力して課題に取り組めた。			
				2	授業の内容や講師の指示への理解が不足し、他者と協力して課題に取り組むことが難しかった。			
				1	授業の内容や講師の指示を聞き取れず、他者と協働して課題に取り組むことができなかった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 森田彰、飯尾牧子、橋本健広、佐竹幸信、角田麻里、Taron Plaza『TARGET! intermediate 総合英語のターゲット演習【中級】』（金星堂） 参考書： 授業内で適宜提示する								
【その他】 単語や文法の確認テスト、学期末の確認テストは次回の授業でフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション、Unit1: Let's Clean Up! 英語で自己紹介、リスニング	事前学習: 英語で簡単な自己紹介ができるように準備しておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
2 Unit1: Let's Clean Up! 文法の確認と練習	事前学習: Unit1 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
3 Unit2: Human Society 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit1の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
4 Unit2: Human Society 文法の確認と練習	事前学習: Unit2 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
5 Unit3: Express Yourself with Emoji! 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit2の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
6 Unit3: Express Yourself with Emoji! 文法の確認と練習	事前学習: Unit3 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
7 Unit4: Good Sleep, Good Health 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit3の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
8 Unit4: Good Sleep, Good Health 文法の確認と練習	事前学習: Unit4 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
9 Unit5: Job Interview Success 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit4の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
10 Unit5: Job Interview Success 文法の確認と練習	事前学習: Unit5 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
11 Unit6: Dress Your Own Way 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit5の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
12 Unit6: Dress Your Own Way 文法の確認と練習	事前学習: Unit6 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
13 Unit7: New Ways to Travel 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit6の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
14 前期末確認テスト、Unit7: New Ways to Travel 文法の確認と練習	事前学習: 前期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 授業内容の復習をする	1
15 確認テストのフィードバック、前期の復習とまとめ	事前学習: 前期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 前期の授業内容、確認テストで間違えた箇所の復習をする	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0015	総合英語A	大山 健一	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 「学校文法論」を理論的にかつ実践的に習得することを目的とします。品詞と文法を焦点に当て、英語コミュニケーションに関連する英語4技能（5領域）向上を目指します。言語学的方法により、言語コミュニケーションスキルを学びます。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人としての教養・マナーを身につけ、自己理解の上で自己表現ができ、保育現場の発展に役立つことができる	レポート	50	5	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を十分に理解している			
				4	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解している			
				3	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をある程度理解している			
				2	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をほとんど理解していない			
				1	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解していない			
コミュニケーション力	こどもの心身の発達理解を下に、子どもや保護者の気持ちを理解し、他者を尊重し、協力して問題解決をすることができる	受講態度	50	5	指示を正確に聞き取り、他者と協力して、十分に協働学習に取り組んだ			
				4	指示をほぼ聞き取り、他者と協力して、協働学習に取り組んだ			
				3	指示を聞き取り、他者と協力して、ある程度は協働学習に取り組んだ			
				2	指示が十分に聞き取れず、他者との協働学習が不十分だった			
				1	指示が聞き取れず、他者との協働学習ができなかった			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 倉田誠・Smith, C. ・横山仁視・石川保茂・松田早恵『New Strategies for Stronger English Skills』（金星堂） 参考書： 授業時に随時実施								
【その他】 課題等のフィードバックは授業時に随時実施								

[授業の内容・スケジュール]		[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1	オリエンテーション 授業の進め方	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
2	事前指導 英語4技能と2能力	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
3	冠詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
4	冠詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
5	不可算名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
6	不可算名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
7	比較(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
8	比較(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
9	前置詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
10	前置詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
11	動名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
12	動名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
13	不定詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
14	不定詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
15	まとめ 総括	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0015	総合英語A	大塚 節生	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 1人1人が積極的に授業に参加し、楽しみながら学んでいく為に、ロール・プレイを中心に、双方向授業を展開していく。大学教養レベルの英語能力（読む・書く・話す・聴くの4技能）を身に付ける。また、単元ごとに関連する文法や英文も扱うことで、4技能をバランスよく向上させていく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	授業目標を達成するためにグループで協力し学習できる。	受講態度	10	5	講師からの指示を正確に聴き取り、他者と協力して、十分に協力学習 (Cooperative Learning) に取り組んだ。			
				4	講師からの指示をほぼ聴き取り、他者と協力して、協力学習に取り組んだ。			
				3	講師からの指示を聴き取り、他者と協力して、ある程度は協力学習に取り組んだ。			
				2	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習が不十分だった。			
				1	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習ができなかった。			
社会人基礎スキル	学習した英語句や文法を、確認テストに活用することができる。	確認テスト	40	5	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストが十分にできている。			
				4	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストができている。			
				3	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストがある程度できている。			
				2	既習内容（英文法、英語句）をある程度理解しているが、確認テストに活用できていない。			
				1	既習内容（英文法、英語句）の理解が不十分で、実践状況での応用もできていない。			
社会人基礎スキル	基礎英文法、語句の意味や使い方などを正確に理解し、実践的な状況での英語をライティングやリーディングに活用することができる。	確認テスト	50	5	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を十分に理解している。			
				4	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解している。			
				3	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）をある程度理解している。			
				2	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を殆ど理解していない。			
				1	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： Kadoyama, Teruhiko and Live ABC Editor 著(2021); Live Escalate Book 1: Base Camp; SEIBIDO 参考書： DK著; English for Everyone: Practice Book Level 1 Beginner								
【その他】 筆記試験のフィードバックを行う。また、毎回、授業中、担当教員との会話練習を通して、学生1人1人の会話力を評価していく（必要ならば、スピーキング・テストを実施する予定）。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス・アサインメント等の説明 Unit 1: Meeting New People (pp.10-15)	事前学習: テキストの内容 (p.13) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.13) を繰り返し音読をする!	1
2 Unit 1: Meeting New People (pp.16-19)	事前学習: テキストのリーディング (p.16) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.16) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
3 Unit 2: School Life (pp.20-25)	事前学習: テキストの内容 (p.23) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.23) を繰り返し音読をする!	1
4 Unit 2: School Life (pp.26-29)	事前学習: テキストのリーディング (p.26) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.26) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
5 Unit 3: Seeing A Doctor (pp.30-35)	事前学習: テキストの内容 (p.33) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.33) を繰り返し音読をする!	1
6 Unit 3: Seeing A Doctor (pp.36-39)	事前学習: テキストのリーディング (p.36) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.36) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
7 Unit 4: Expressing Yourself (pp.40-45)	事前学習: テキストの内容 (p.43) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.43) を繰り返し音読をする!	1
8 確認テスト	事前学習: テスト対策を十分しておく! 事後学習: 間違った部分や出来なかった部分を復習しておく!	1
9 Unit 4: Expressing Yourself (pp.46-49)	事前学習: テキストの内容 (p.46) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.46) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
10 Unit 5: Getting Around (pp.50-55)	事前学習: テキストの内容 (p.53) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.53) を繰り返し音読をする!	1
11 Unit 5: Getting Around (pp.56-59)	事前学習: テキストの内容 (p.56) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.56) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
12 Unit 6: Talking about the Time (pp.60-65)	事前学習: テキストの内容 (p.63) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.63) を繰り返し音読をする!	1
13 Unit 6: Talking about the Time (pp.66-69)	事前学習: テキストの内容 (p.66) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの単語 (p.66) を書ける様に練習する!	1
14 確認テスト	事前学習: Unit 1からUnit 6の英文を繰り返し読んでおく! 事後学習: 分からなかった問題を出来る様にしておく!	1
15 まとめと会話練習・必要なら講師アンケートを実施	事前学習: 前期で学習した項目の不明点を確認しておく。 事後学習: 授業中に確認した内容を復習しておく。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0016	総合英語B	酒井 志麻	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 基本的な文法や語彙を復習しつつ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に上達させることを目指す。 日本語話者が間違えやすい表現などを重点的に学び、実践の場で役立つ英語の知識を獲得する。 ペアワークなどを通して、他者と英語で会話をする姿勢を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎ス キル	学修した英文法や語彙を理解して身につけ、英作文やスピーキングに応用することができる	確認テスト	45	5	学期中に学修した内容を十分に理解して身につけ、応用することができる。(1回実施)			
				4	学期中に学修した内容を理解して身につけ、ある程度応用することができる。(1回実施)			
				3	学期中に学修した内容をある程度理解し、身につけている。(1回実施)			
				2	学期中に学修した内容を理解しているが、身につけていない。(1回実施)			
				1	学期中に学修した内容を理解できていない。(1回実施)			
社会人基礎ス キル	各単元で学んだ文法や語彙を理解し、身につけている	確認テスト	30	5	授業で学んだ英文法と語彙を完全に習得している。(6回実施)			
				4	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得している。(6回実施)			
				3	授業で学んだ英文法と語彙をある程度習得している。(6回実施)			
				2	授業で学んだ英文法と語彙を少し習得している。(6回実施)			
				1	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得していない。(6回実施)			
コミュニケー ション力	授業の目標を達成するために、他者と協力して課題に取り組める	受講態度	25	5	授業の内容や講師の指示を正確に理解し、他者と協力して意欲的に課題に取り組めた。			
				4	授業の内容や講師の指示をほぼ理解し、他者と協力して課題に取り組めた。			
				3	授業の内容や講師の指示を聞き、ある程度は他者と協力して課題に取り組めた。			
				2	授業の内容や講師の指示への理解が不足し、他者と協力して課題に取り組むことが難しかった。			
				1	授業の内容や講師の指示を聞き取れず、他者と協働して課題に取り組むことができなかった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 森田彰、飯尾牧子、橋本健広、佐竹幸信、角田麻里、Taron Plaza『TARGET! intermediate 総合英語のターゲット演習【中級】』（金星堂） 参考書： 授業寧で適宜提示する								
【その他】 単語や文法の確認テスト、学期末の確認テストは次回の授業でフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 Unit8: Sports Anytime, Anywhere 文法の確認と練習、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit8 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
2 Unit9: How Do You Enjoy Music? 文法の確認と練習、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit9 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
3 Unit10: Choose What Color to Paint 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit8, Unit9の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
4 Unit10: Choose What Color to Paint 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit10 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
5 Unit11: The Future of Food 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit10の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
6 Unit11: The Future of Food 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit11 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
7 Unit12: To Gain Experience in Business 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit11の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
8 Unit12: To Gain Experience in Business 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit12 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
9 Unit13: Science We Should Know 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit12の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
10 Unit13: Science We Should Know 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit13 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
11 Unit14: Apps That Change Your Life 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit13の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
12 Unit14: Apps That Change Your Life 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit14 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
13 Unit15: If We Did Nothing for the Environment… 単語と文法の確認テスト、文法の確認とスピーチ練習	事前学習: Unit14の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をして、後期末確認テストに備える	1
14 後期末確認テスト(文法、語彙、スピーチ)	事前学習: 後期の授業内容をすべて復習する。スピーチの練習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
15 確認テストのフィードバック、後期の復習とまとめ	事前学習: 後期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 後期の授業内容、確認テストで間違えた箇所の復習をする	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DA0016	総合英語B	大山 健一	後期	必修	演習	1	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】 「学校文法論」を理論的にかつ実践的に習得することを目的とします。品詞と文法を焦点に当て、英語コミュニケーションに関連する英語4技能（5領域）向上を目指します。言語学的方法により、言語コミュニケーションスキルを学びます。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人としての教養・マナーを身につけ、自己理解の上で自己表現ができ、保育現場の発展に役立つことができる	レポート	50	5	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を十分に理解している			
				4	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解している			
				3	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をある程度理解している			
				2	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をほとんど理解していない			
				1	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解していない			
コミュニケーション力	こどもの心身の発達理解を下に、子どもや保護者の気持ちを理解し、他者を尊重し、協力して問題解決をすることができる	受講態度	50	5	指示を正確に聞き取り、他者と協力して、十分に協働学習に取り組んだ			
				4	指示をほぼ聞き取り、他者と協力して、協働学習に取り組んだ			
				3	指示を聞き取り、他者と協力して、ある程度は協働学習に取り組んだ			
				2	指示が十分に聞き取れず、他者との協働学習が不十分だった			
				1	指示が聞き取れず、他者との協働学習ができなかった			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】 教科書： 倉田誠・Smith, C. ・横山仁視・石川保茂・松田早恵『New Strategies for Stronger English Skills』（金星堂） 参考書： 授業時に随時実施</p>								
<p>【その他】 課題等のフィードバックは授業時に随時実施</p>								

[授業の内容・スケジュール]		[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1	オリエンテーション 授業の進め方	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
2	事前指導 英語4技能と2能力	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
3	分詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
4	分詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
5	名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
6	名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
7	接続表現(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
8	接続表現(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
9	動詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
10	動詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
11	動詞(3) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
12	動詞(4) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
13	助動詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
14	助動詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
15	まとめ 総括	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0016	総合英語B	大塚 節生	後期	必修	演習	1	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>前期に学修した内容を受け、後期も1人1人が楽しみながらロール・プレイを中心とした双方向の授業に参加していく。大学教養レベルの英語能力（読む・書く・話す・聴くの4技能）を確実に身に付けていながら、テキストの單元ごとにある文法やパッセージも扱うことで、4技能をバランスよく向上させていく。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	授業目標を達成するためにグループで協力し学習できる。	受講態度	10	5	講師からの指示を正確に聴き取り、他者と協力して、十分に協力学習 (Cooperative Learning) に取り組んだ。			
				4	講師からの指示をほぼ聴き取り、他者と協力して、協力学習に取り組んだ。			
				3	講師からの指示を聴き取り、他者と協力して、ある程度は協力学習に取り組んだ。			
				2	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習が不十分だった。			
				1	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習ができなかった。			
社会人基礎スキル	学習した英語句や文法を、確認テストに活用することができる。	確認テスト	40	5	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストが十分にできている。			
				4	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストができている。			
				3	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストがある程度できている。			
				2	既習内容（英文法、英語句）をある程度理解しているが、確認テストに活用できていない。			
				1	既習内容（英文法、英語句）の理解が不十分で、実践状況での応用もできていない。			
社会人基礎スキル	基礎英文法、語句の意味や使い方などを正確に理解し、実践的な状況での英語をライティングやリーディングに応用することができる。	確認テスト	50	5	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を十分に理解している。			
				4	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解している。			
				3	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）をある程度理解している。			
				2	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を殆ど理解していない。			
				1	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： Kadoyama, Teruhiko and Live ABC Editor 著(2021); Live Escalate Book 1: Base Camp; SEIBIDO</p> <p>参考書： DK著; English for Everyone: Practice Book Level 1 Beginner</p>								
<p>【その他】</p> <p>筆記試験のフィードバックを行う。また、毎回、授業中、担当教員との会話練習を通して、学生1人1人の会話力を評価していく（必要ならば、スピーキング・テストを実施する予定）。</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス・アサインメント等の説明 Unit 7: Eating Out (pp.74-79)	事前学習: テキストの内容 (p.77) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.77) を繰り返し音読をする!	1
2 Unit 7: Eating Out (pp.80-83)	事前学習: テキストのリーディング (p.80) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.80) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
3 Unit 8: At the Supermarket (pp.84-89)	事前学習: テキストの内容 (p.87) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.87) を繰り返し音読をする!	1
4 Unit 8: At the Supermarket (pp.90-93)	事前学習: テキストのリーディング (p.90) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.90) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
5 Unit 9: Hobbies (pp.94-99)	事前学習: テキストの内容 (p.97) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.97) を繰り返し音読をする!	1
6 Unit 9: Hobbies (pp.100-103)	事前学習: テキストのリーディング (p.100) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.100) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
7 Unit 10: Shop Till You Drop (pp.104-109)	事前学習: テキストの内容 (p.107) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.107) を繰り返し音読をする!	1
8 確認テスト	事前学習: テスト対策を十分しておく。 事後学習: 間違った部分や出来なかった部分を復習しておく。	1
9 Unit 10: Shop Till You Drop (pp.110-113)	事前学習: テキストの内容 (p.110) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.110) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
10 Unit 11: Going on Vacation (pp.114-119)	事前学習: テキストの内容 (p.117) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.117) を繰り返し音読をする!	1
11 Unit 11: Going on Vacation (pp.120-123)	事前学習: テキストの内容 (p.120) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.120) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
12 Unit 12: Sports (pp.124-129)	事前学習: テキストの内容 (p.127) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.127) を繰り返し音読をする!	1
13 Unit 12: Sports (pp.130-133)	事前学習: テキストの内容 (p.130) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの単語 (p.130) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
14 確認テスト	事前学習: Unit 7からUnit 12の英文を繰り返し読んでおく。 事後学習: 分からなかった問題を出来る様にしておく。	1
15 まとめと会話練習・必要なら講師アンケートを実施	事前学習: 前期で学習した項目の不明点を確認しておく。 事後学習: 授業中に確認した内容を復習しておく。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0017	スポーツ理論・実技A	伊坪 有紀子	前期	必修	講義・実技	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>スポーツを通して社会人基礎力を育成し、健康的で文化的な生活を送るための主体的な身体への働きかけを身につけることを目指す。スポーツの基本的な知識と技能を学ぶ過程では、協調性やリーダーシップなどの能力が養われ、生涯にわたる学習へと発展していく。また、身体組成や体力の測定・分析方法を学ぶことで、健康の維持増進や自己管理の重要性を理解し、それらを日常生活で実践する力を身につける。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人基礎力を高めるための目標設定と振り返りによる実践確認ができる	レポート	50	5	社会人基礎力と結びついた具体的に実現可能な目標を設定し、深い振り返りを毎回提出して改善点と次の行動計画を明確に示している。			
				4	社会人基礎力との関連を踏まえた概ね具体的な目標を設定し、分析や改善点を含む振り返りをほぼ毎回提出して次の行動につなげている。			
				3	抽象的ながら目標を設定し、事実中心の振り返りを一定の頻度で提出しているが、改善点の提示が不十分である。			
				2	目標設定が不十分で社会人基礎力との関連が弱く、内容も表面的にとどまっているが、一定の頻度で振り返りの提出ができる。			
				1	目標設定や振り返りの内容は不十分であるものの、最低限の提出が行われており、学習への取り組みがcaろうじて確認できる。			
社会人基礎スキル	健康について知り将来について考え行動することができる	レポート	10	5	運動の効果を科学的に理解し、自分の健康状態や将来を踏まえて高度に適切な運動処方方を自立的に作成できる。			
				4	運動の効果を十分に理解し、自分に合った運動処方方を適切に作成できる。			
				3	運動の効果を基本的に理解し、支援を受けながら自分に合った運動処方方を作成できる。			
				2	運動の効果を部分的に理解しているが、運動処方方の作成には多くの支援を必要とする。			
				1	運動の効果の理解が不十分で、運動処方方を作成することができない。			
コミュニケーション力	スポーツの基本技術を知り、周りの人たちとコミュニケーションをとり実践することができる	確認テスト	30	5	スポーツのルールを十分に理解し、基本技術を高い精度で実践するとともに、毎回の活動で他者に分かりやすく指導・説明できている。			
				4	スポーツのルールと基本技術を概ね理解し、ほぼ毎回の活動で適切に実践しながら、他者への説明もおおむね分かりやすく行えている。			
				3	スポーツのルールと基本技術を一定程度理解し、実践もできているが、他者への説明は不十分で、伝え方に改善の余地がある。			
				2	スポーツのルールや基本技術の理解が不十分で、実践や他者への説明も安定せず、活動への参加も散発的である。			
				1	スポーツのルールや基本技術の理解は限定的だが、最低限の実践参加と、他者に伝えようとする姿勢がcaろうじて確認できる。			
コミュニケーション力	スポーツの準備・実践・片付けを他者との関わりの中で行うことができ、チームの中の役割を発見できる	受講態度	10	5	準備・実践・片付けのすべてに毎回積極的に参加し、他者と協力しながらチーム内での役割を自ら発見し遂行している。			
				4	準備・実践・片付けにほぼ毎回参加し、他者との協力を通してチーム内での役割を概ね理解し行動している。			
				3	準備・実践・片付けに一定の頻度で参加し、他者との関わりの中で役割を意識しているが、行動としては不十分な場面がある。			
				2	準備・実践・片付けへの参加が散発的で、他者との協力や役割理解が表面的にとどまり、チームへの貢献が限定的である。			
				1	準備・実践・片付けへの参加は最低限にとどまるものの、他者との関わりの中で役割を理解しようとする姿勢がcaろうじて確認できる。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書：								
参考書： 『運動処方の実際』（大修館書店）								
【その他】 レポートのフィードバックを行う。								
幼稚園教諭2種免許状の必修科目								
実技では安全のため運動に適した服装・態度を求める。見学は原則認めない。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 ガイダンス 講義 レポート提出	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業の振り返りを行う	4時間
2 体力・身体組成 測定 プレ レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
3 バasketボール 歴史・基本トレーニング レポート提出	事前学習: バasketボールについて調べる 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
4 バasketボール ルール レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
5 スポーツの実践と観戦 レポート提出	事前学習: 自分の課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
6 バasketボール ゲーム 実技テスト レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
7 バドミントン 基本 ルール レポート提出	事前学習: バドミントンについて調べる 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
8 バドミントン シングルス レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
9 バドミントン ダブルス① レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
10 バドミントン ダブルス② レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
11 バドミントン テスト ゲーム 実技・ルールテスト レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
12 体力・身体組成 測定 ポスト レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
13 体力変化の考察 講義 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	4時間
14 トレーニングの科学 講義 レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 学んだことを生活の中で確認する	4時間
15 運動処方 講義 レポート提出	事前学習: これまで学んだ基礎知識を確認しておく 事後学習: 学んだことを実践する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0018	スポーツ理論・実技B	伊坪 有紀子	前期	必修	講義・実技	1	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>健康的で文化的な生活を送るための身体への積極的な働きかけとしてスポーツを通じて社会人基礎力を養う。様々なスポーツの基本的な知識と技能を学習する中で協調性やリーダーシップを身に付け、生涯学習へとつなげていく。身体組成の測定・分析する方法の学習を通して、健康の維持増進・自己管理の重要性を理解・実践する力が身につく。</p>								
<p>【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人基礎力を高めるための目標設定と振り返りによる実践確認ができる	レポート	60	5	社会人基礎力と結びついた具体的で実現可能な目標を設定し、深い振り返りを毎回提出して改善点と次の行動計画を明確に示している。			
				4	社会人基礎力との関連を踏まえた概ね具体的な目標を設定し、分析や改善点を含む振り返りをほぼ毎回提出して次の行動につなげている。			
				3	抽象的ながら目標を設定し、事実中心の振り返りを一定の頻度で提出しているが、改善点の提示が不十分である。			
				2	目標設定が不十分で社会人基礎力との関連が弱く、内容も表面的にとどまっているが、一定の頻度で振り返りの提出ができる。			
				1	目標設定や振り返りの内容は不十分であるものの、最低限の提出が行われており、学習への取り組みがcaろうじて確認できる。			
コミュニケーション力	スポーツの準備・実践・片付けを他者との関わりの中で行うことができ、チームの中の役割を発見できる	受講態度	20	5	授業に意欲的に取り組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる。			
				4	授業に意欲的に取り組み、上達するために行動し、他者と積極的に関わることができる。			
				3	授業に取り組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる。			
				2	授業に取り組み、上達するために行動し、他者と関わることができる。			
				1	授業に取り組み、他者と関わることができる。			
コミュニケーション力	健康について知りよりよい将来について考え、責任をもって行動することができる	レポート	10	5	身体組成と体力の変化から心身の状態を深く理解し、よりよい将来を見据えて主体的に判断し、役割の責任を十分に果たすことができる。			
				4	身体組成と体力の変化から心身ともに自分を知り、役割の責任を主体的に果たすことができる。			
				3	身体組成や体力の変化に気づき、健康について考えながら行動し、役割の責任をおおむね果たすことができる。			
				2	身体組成や体力の変化を理解しようとする姿勢はあり、必要に応じて行動しようとするが、役割の責任を部分的に果たすことができる。			
				1	身体組成や体力の変化について最低限の理解を示し、指示や支援があれば健康的な行動や役割の責任を果たすことができる。			
コミュニケーション力	スポーツの基本技術・ルールを知り、向上心を持って実践することができる	確認テスト	10	5	ニュースポーツの知識と技術を十分に修得し、向上心をもって実践することができる。			
				4	ニュースポーツの知識と技術をおおむね修得し、向上心をもって実践することができる。			
				3	ニュースポーツの知識と技術をある程度修得し、おおむね向上心をもって実践することができる。			
				2	ニュースポーツの知識と技術にやや不足はあるが、向上心をもって実践しようとしている。			
				1	ニュースポーツの知識と技術が不足しており、主体的に実践することが十分にできていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： 参考書： 授業内で適時配布</p>								
<p>【その他】 レポートのフィードバックを行う。 幼稚園教諭2種免許状の必修科目 実技では安全のため運動に適した服装・態度を求める。見学は原則認めない。</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 世界のスポーツ 姿勢教育 身体組成計測 講義 レポート提出	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	4時間
2 ボールストレッチャ レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
3 ソフトバレーボール レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
4 インディアカ レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
5 スポーツの実践と運営 レポート提出	事前学習: 事前課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
6 ドッチビー・アルティメット レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
7 フットサル レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
8 ユニホック レポート提出	事前学習: 振り返りを覚えてくる 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
9 スポーツはユニバーサル 講義 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	4時間
10 アダプテッドスポーツ 講義 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	4時間
11 バスケットボール レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
12 ボッチャ レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
13 ニュースポーツ① レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 学んだことを生活の中で確認する	1時間
14 ニュースポーツ② レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 自分の身体について考察する	1時間
15 自分を知る 身体組成計測 講義 レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 自己について考察する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0020	キャリアデザイン論	伊坪 有紀子	集中	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 キャリアデザインとは自分自身がどのような将来を歩んでいくのかを設計すること。自分自身への理解を深め、社会や仕事に関して基礎的な知識や考え方を学びながら、保育者として仕事に就くために必要となる能力や働き方、仕事について知り、自分らしい生き方を考えていく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人としての教養・マナーを身につける	レポート	30	5	社会人として必要な教養とマナーを十分に身につけ、状況に応じて適切に判断し、主体的に実践することができる。			
				4	社会人としての教養とマナーをおおむね身につけ、場面に応じて適切に行動することができる。			
				3	社会人としての教養とマナーをある程度理解し、基本的な場面で実践することができる。			
				2	社会人としての教養とマナーにやや不足はあるが、必要に応じて実践しようとするすることができる。			
				1	社会人としての教養とマナーについて最低限の理解を示し、指示や助言があれば実践することができる。			
社会人基礎スキル	自己理解を深め、自己を他者に理解してもらうための表現を身につける	受講態度	20	5	自分の性格や特徴を十分に理解し、他者に理解してもらうことができる。			
				4	自分の性格や特徴をおおよそ理解し、他者に理解してもらうことができる。			
				3	自分の性格や特徴をある程度理解し、他者に理解してもらうことができる。			
				2	自分の性格や特徴への理解がやや不足し、他者に理解してもらうことが困難である。			
				1	自分の性格や特徴への理解が不足し、他者に理解してもらうことが困難である。			
向上心・責任感	保育者としての具体的なキャリアをイメージし、今後の課題を見出すことができる	レポート	30	5	求められる内容を十分理解し、すべての課題レポートが作成できる。			
				4	求められる内容をやや理解し、すべての課題レポートが作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、9割以上の課題レポートが作成できる。			
				2	求められる内容を理解し、7割以上の課題レポートが作成できる。			
				1	求められる内容を多少理解し、5割以上の課題レポートが作成できる。			
向上心・責任感	キャリア探求を多角的な視点で捉え、意識して行動することができる	受講態度	20	5	授業内での課題に積極的に取り組み、常に行動することができる。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、時々行動することができる。			
				3	授業内での課題に取り組み、行動することができる。			
				2	授業内での課題に取り組み、時々行動することができる。			
				1	授業内での課題への取り組みが不足している。			
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 『7つの習慣』 編集部『13歳から分かる! 7つの習慣 自分を変えるレッスン』 日本図書センター								
【その他】 課題へのフィードバックを行う。 後半は不定期開催となるので、スケジュールをしっかりと管理して必ず出席すること。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 講義概要 キャリアデザインを考える	事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 学習内容を理解する	4時間
2 自己分析1 コミュニケーションスキル	事前学習： キーワードの概念を調べる 事後学習： レポート作成	4時間
3 ストレスマネジメント	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： レポート作成	4時間
4 私の人生	事前学習： キーワードの概念を調べる 事後学習： 学習内容を理解する	4時間
5 保育職とは	事前学習： 保育関連の施設を調べる 事後学習： 学習内容を深める	4時間
6 仕事と価値	事前学習： 発表準備 事後学習： レポート作成	4時間
7 社会で活躍する先輩に学ぶ ゲストスピーカーによる学び	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： レポート作成	4時間
8 就職活動とは	事前学習： キーワードの概念を調べる 事後学習： 学習内容を理解する	4時間
9 自己分析2 分析ツールを使って	事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： 学習内容を理解する	4時間
10 社会に求められる能力とは	事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： 学習内容を理解する	4時間
11 客観的な評価	事前学習： データを読んでおく 事後学習： 学習内容を深める	4時間
12 リテラシーとコンピテンシー	事前学習： キーワードの概念を調べる 事後学習： 学習内容を深める	4時間
13 自己キャリアデザイン	事前学習： 自分の考えをまとめる 事後学習： レポート作成	4時間
14 社会人としてのマナー	事前学習： キーワードの概念を調べる 事後学習： 課題に取り組む	4時間
15 グループディスカッション	事前学習： キーワードの概念を調べる 事後学習： 学習内容を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DA0021	ボランティア社会学（実習を含む）	片桐 恵子	前期	選択	講義・実習	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 身近な地域社会に対する問題意識を持ち、ボランティア精神（社会的な課題解決の為、個人の自発的な意思に基づき、原則無報酬で公益を求める態度や姿勢）を身に付けることをねらいとする。このため、授業内では学生個々の問題意識を育むために、ボランティア活動計画を作成しその上で、地域で活動・活躍しているボランティア団体で実習を行う。また、関心の持ちやすいテーマ（子ども、子育て家庭、社会的養護など）については、ボランティアで実習での振り返りやDVD視聴を踏まえ、グループディスカッションを通し学生個々の問題意識を発展させる力を養う。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ボランティアの意義・目的を理解し、社会に貢献できる態度を身に付ける	レポート	30	5	講義内容の理解を問うレポートが極めて適切に作成されていて、提出期限が守られている。			
				4	講義内容の理解を問うレポートが適切に作成されていて、提出期限が守られている。			
				3	講義内容の理解を問うレポートがいくつか作成されていて、提出期限が守られている。			
				2	講義内容の理解を問うレポートが適切に作成されておらず、提出期限が守られていない。			
				1	講義内容の理解を問うほとんどのレポートが作成されておらず、提出期限が守られていない。			
コミュニケーション力	他者を尊重し、協力的な態度で問題の発見、解決ができる	受講態度	20	5	グループワークに積極的に参加し、他者の話を尊重し、自分の言葉で考察、発表することができる。			
				4	グループワークに参加し、他者の話を尊重し、自分の言葉で考察、発表することができる。			
				3	グループワークに参加し、他者の話を尊重し、発表することができる。			
				2	グループワークに参加しているものの、消極的である。			
				1	グループワークに参加せず、発表することができていない。			
向上心・責任感	ボランティア活動計画に基づき、向上心・責任感のあるボランティア活動を実践できる	受講態度	50	5	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の3つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				4	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の2つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				3	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の1つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				2	ボランティア活動を行い、活動報告を行うことができる。			
				1	ボランティア活動を行うことができる。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 適宜レジュメ、資料配布 参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】 活動報告のフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 本科目の意義と目的	事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
2 ボランティアの歴史と課題	事前学習： 地域社会の問題を発見し、課題を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
3 地域課題の共有とボランティア活動計画	事前学習： 地域社会の身近な問題や課題を発見する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
4 ボランティア活動の範囲と地域共生社会	事前学習： 身近なボランティア活動を支える制度や公共機関を調べる 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
5 グループで計画したボランティア活動	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
6 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
7 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
8 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
9 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
10 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
11 個人で計画したボランティア活動	事前学習： 個人で計画したボランティア活動の実施準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
12 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
13 ボランティア活動の報告会の準備	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
14 ボランティア活動の報告会(グループ)	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
15 ボランティア活動の報告会(個人)	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0028	情報処理（演習を含む）	阿久津 毅	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
現代社会においては、フィンテックに代表されるようにICT技術が各分野で活用されている。本授業では、人工知能やロボティクスなど各分野で利用されている事例を紹介しながら授業を進めていく。またニュースなどで取り上げられている事例も適宜取り上げていく。そのうえで、事例の理解に必要なアルゴリズムなどプログラムに関する基礎知識、セキュリティに関する最新情報を学び、今後の社会生活に必要な社会人としての思考力を養っていくことを目的とする。また、授業にはICT機器を利用した参加型授業を行うことがある。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ICT社会に必要な基礎知識を身につけ自分の意見を論じることが出来る。	レポート	20	5	自分の意見を論理的に正しい文章表現にて表現することが出来る。			
				4	自分の意見を論理的または正しい文章表現にて表現することが出来る。			
				3	自分の意見を表現することが出来る。			
				2	自分の意見を表現することが出来ない。			
				1	自分の意見をもたない。			
向上心・責任感	メディアを活用し、最新の情報を取得し、授業内容を深めることが出来る。	受講態度	80	5	授業の内容を理解し、新たな情報を加え情報を持つことが出来る。			
				4	授業の内容を理解し、情報を持つことが出来る。			
				3	授業以外の情報を自ら積極的に持つことが出来る。			
				2	授業以外の情報を持つことが出来る。			
				1	情報をもたない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 利用せず								
参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可								
【その他】								
授業内容について、Microsoft365を利用したFormsなどによる意見・感想を出してもらい、そのデータをもとに、次回授業においてフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 インターネット通信について	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
2 IOT (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
3 IOT (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
4 AIでなくなる仕事、残る仕事 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
5 AIでなくなる仕事、残る仕事 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
6 AIでなくなる仕事、残る仕事 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
7 AIでなくなる仕事、残る仕事 (5)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
8 AIでなくなる仕事、残る仕事 (6)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
9 ロボットとは (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
10 ロボットとは (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
11 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
12 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
13 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
14 コンピュータセキュリティ	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
15 まとめ PCを利用したレポート作成	事前学習： 1-4回までの授業の復習 事後学習： まとめの内容を確認する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0029	現代社会の課題A	加藤 智樹	集中	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 大学コンソーシアム市川の5大学連携科目。かつて下総国の国府が置かれた歴史のある町である一方、東京近郊に位置するため現代社会のさまざまな課題が見えてくるのが市川市である。現代社会の抱える諸問題を市川市の実情に照らして考察していく。現代社会の課題Aでは「市川学Ⅰ」を開講する。いずれかの科目15時間を履修し単位を修得することで、本学「現代社会の課題A」に読み替える。講師及び講座内容が決定後、大学コンソーシアム市川としてシラバスを公開する。 なお、昨年度に開講された市川学Bについても同様とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	課題をまとめる。	受講態度	50	5	各講師の要求レベルを完全に満たす。			
				4	各講師の要求レベルをおおむね満たす。			
				3	各講師の要求レベルに達する。			
				2	各講師の要求レベルにやや届かない。			
				1	各講師の要求レベルに届かない。			
社会人基礎スキル	地域社会におけるさまざまな課題を理解する。	レポート	50	5	学習内容を充分にふまえたレポートを作成する。			
				4	学習内容をおおむねふまえたレポートを作成する。			
				3	学習内容をふまえたレポートを作成する。			
				2	学習内容を充分にふまえたレポートではない。			
				1	レポートが作成できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 担当講師がそれぞれ指示する。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 提出物のフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
2 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
3 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
4 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
5 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
6 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
7 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
8 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
9 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
10 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
11 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
12 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
13 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
14 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
15 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NA0030	現代社会の課題B	加藤 智樹	集中	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 大学コンソーシアム市川の5大学連携科目。かつて下総国の国府が置かれた歴史のある町である一方、東京近郊に位置するため現代社会のさまざまな課題が見えてくるのが市川市である。大学コンソーシアム市川では、現代社会の抱える諸問題を市川市の実情に照らして考察していく。現代社会の課題Bでは「市川学Ⅱ」を開講する。15時間を履修し単位を修得することで、本学「現代社会の課題B」に読み替える。講師及び講座内容が決定後、大学コンソーシアム市川としてシラバスを公開する。 なお、昨年度に開講された市川学Aについても同様とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	課題をまとめる。	受講態度	50	5	各講師の要求レベルを完全に満たす。			
				4	各講師の要求レベルをおおむね満たす。			
				3	各講師の要求レベルに達する。			
				2	各講師の要求レベルにやや届かない。			
				1	各講師の要求レベルに届かない。			
社会人基礎スキル	地域社会におけるさまざまな課題を理解する。	レポート	50	5	学習内容を充分にふまえたレポートを作成する。			
				4	学習内容をおおむねふまえたレポートを作成する。			
				3	学習内容をふまえたレポートを作成する。			
				2	学習内容を充分にふまえたレポートではない。			
				1	レポートが作成できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 担当講師がそれぞれ指示する。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 提出物のフィードバックを行う。								

ヘルスケア栄養学科 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
2 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
3 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
4 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
5 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
6 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
7 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
8 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
9 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
10 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
11 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
12 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
13 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
14 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
15 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0031Q	こどもとプログラミング	菅沼恵子	集中	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学）教育で、探求と創造のサイクルを生み出す分野横断的な学びを体験することによって、実践的な問題に対処する総合的な視野を身につけることができます。あわせて、AI時代に必要なプログラミング的思考の基本を理解します。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	グループ学習においてチームで働く力、前向きに踏み出す力が身につく	受講態度	60	5	積極的に参加し、90%以上の成果が出る			
				4	積極的に参加し、80%以上の成果が出る			
				3	参加し、70%以上の成果が出る			
				2	やや消極的な参加ではあるが、60%以上の成果が出る			
				1	消極的な参加で、成果が出ない			
実践力	簡単なプログラムでアート作品やゲームを作る過程で総合的な視点をもつ実践力が身につく	作品	20	5	作品の完成度が90%以上			
				4	作品の完成度が80%以上			
				3	作品の完成度が70%以上			
				2	作品の完成度が60%程度			
				1	作品の完成度が60%未満			
向上心・責任感	グループワークにおける自己の役割を理解し、責任を果たす力が身につく	レポート	20	5	レポートとしての完成度が90%以上			
				4	レポートとしての完成度が80%以上			
				3	レポートとしての完成度が70%以上			
				2	レポートとしての完成度が60%程度			
				1	レポートとしての完成度が60%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用せず								
参考書： 配布資料								
【その他】								
制作物について発表、講評を行う。レポートのフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 プログラミングって何?	事前学習: プログラミングの意味、イメージについて考える 事後学習: 順番のある活動についてまとめる	4
2 アンブラグドプログラミング	事前学習: マス目迷路案を考える 事後学習: 失敗とやり直しから改善点をまとめる	4
3 Pythonを使ったお絵かきの基本	事前学習: Pythonの特徴について調べる 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
4 Pythonを使ったお絵かきの応用	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
5 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ1	事前学習: Scratchについて調べる 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
6 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ2	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
7 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ3	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
8 ゲームの完成と発表	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 自己評価をする	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DB0005	生活学	白岩 等	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>幼児期から児童期は「人間形成の基礎」を育成する重要な時期である。発達段階では、子ども達は生活の中の直接的な人とのかかわり、もののかかわりを通して、より抽象的な概念を認識していくので、生活学では子どもの主体的な「気づき」を大切に考える。本授業では、身の回りの自然、社会、人などを対象に学生自身が改めて注意を向け、自ら発見や疑問などの気づきを通して、生活学の体験学習の内容と方法を理解する。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	自己の気づきを的確に表現することができる	レポート	50	5	自らの気づきを具体例を示して分かりやすく工夫して表現できる。			
				4	自らの気づきを分かりやすく工夫して表現できる。			
				3	自らの気づきを分かりやすく表現できる。			
				2	自らの気づきが聞き取りにくく、間や抑揚に工夫がない。			
				1	保育の基本や遊びの特徴を理解できていない。			
思考力	身の回りの出来事に疑問を持ち、探求できる	レポート	50	5	社会の幅広い観点から疑問を持ち、根拠を示して探求できる。			
				4	社会の観点から疑問を持ち、一部根拠を示して探求できる。			
				3	身の回りの出来事に疑問を持ち、探求できる。			
				2	身の回りの出来事に疑問を持てるが、探求ができない。			
				1	身の回りの出来事に疑問を持ったり探求することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜レジュメ、資料配布								
参考書： 文部科学省『小学校学習指導要領解説生活編』								
【その他】 課題とレポートのフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 生活科の目標と内容の理解	事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
2 「生活学」と「生活科授業」 生活リズムDVD レポート提出	事前学習： 自らの生活科の体験を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
3 幼児教育機関と小学校の連携 幼小連携のあり方 レポート提出	事前学習： 幼児教育と小学校教育の共通点を考える 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
4 生活学における「気づき」① わたしのまち：課題設定と情報収集、指導内容を考える	事前学習： 自分の住む地域の良い所や改善点を書き出す 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
5 生活学における「気づき」② わたしのまち：情報分析整理と新たな課題設定、活動方法を考える	事前学習： 自分の住む地域をより良くする具体的方法を考える 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
6 生活学における「気づき」③ 自然とのふれあい レポート提出	事前学習： 自然の不思議さや美しさについて調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
7 生活学における「気づき」④ 季節の変化と生活 レポート提出	事前学習： 年中行事を調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
8 生活学における「気づき」⑤ 飼育栽培 レポート提出	事前学習： 身近な小動物の飼育方法について調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
9 生活学における「気づき」⑥ 季節の変化と生活	事前学習： 年中行事を調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
10 生活学における「気づき」⑦ 発表	事前学習： 発表準備をする 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
11 生活学における「気づき」⑧ 身の回りの物を活用した遊び 作品・レポート提出	事前学習： 授業内容を整理する 事後学習： 動く玩具の制作についてまとめる	4時間
12 生活学における「気づき」⑨ 身の回りの物を活用した遊び 作品・レポート提出	事前学習： 廃材の活用方法について調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
13 生活学における「気づき」⑩ 野菜栽培、飼育の理解 レポート提出	事前学習： 野菜栽培、腐葉土や肥料について調べる 事後学習： 業内容を整理する	4時間
14 生活科と理科・社会化の関連 子どもの成長 レポート提出	事前学習： 自らの体験をまとめておく 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
15 事前学習： 事後学習：	事前学習： これまでの授業内容を復習する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DB0006	食生活論	佐藤 美紀	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
生活における食が健康面に果たす役割は大きく、私たちの日常活動の様々な面と関連している。現代社会の中で健康を維持し豊かな生活を営むためには、食にまつわる膨大な情報を科学的な根拠に基づいて取捨選択し、ライフステージごとに適した食習慣を身につける必要がある。本授業では、各ライフステージの特性を考慮した食事や現代の食を取り巻く問題、日本と世界の食文化等に目をむけ、心身の健康維持・増進を目指した望ましい食生活の実践について考える力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食と栄養の基本的な知識を知り、食生活の現状と課題を見ることができる。科学的根拠に基づいた食にまつわる情報を取捨選択し、食生活に反映できる	レポート	30	5	課題を十分に理解し、自分の意見を述べ、問題意識を持つことができる。適切な表現を用いて期限内に提出できる			
				4	課題を十分に理解し、自分の意見を述べることができる。期限内に提出できる			
				3	課題を理解した内容である。期限内に提出できる			
				2	課題の理解が不十分であっても、自分の意見を述べることができる。期限内に提出できる			
				1	内容が不十分である。期限内に提出できない			
社会人基礎ス キル	情報を収集し、広く公平な視野を持って検討することができる	受講態度	20	5	食に関する様々な情報を精査し、課題や問題点を見つけ、科学的根拠や文献等をもとに自分の意見を述べることができる			
				4	食に関する様々な情報を精査し、課題や問題点を見つけ、意見を述べることができる			
				3	食に関する情報を収集し、意見を述べることができる			
				2	食に関する情報を収集することができる			
				1	情報収集ができない			
思考力	各ライフステージに適した生活の質と食生活の関連を理解し、食環境の問題点及び世界と日本の食について考察できる	作品	30	5	課題を十分に理解し、他者との意見交換のうえ、考察をまとめて発表ができる			
				4	課題を十分に理解し、自分の意見をふまえた発表ができる			
				3	課題を理解し、情報をまとめた発表ができる			
				2	課題の理解に一部の不足があるが、情報をまとめた発表ができる			
				1	課題の理解に不足がある。発表ができない			
コミュニケー ション力	他者と協力して情報を収集分析し、発表にむけて成果物を完成させることができる	受講態度	20	5	他者と積極的に協力したうえで意見交換を十分に行い、問題提起と改善案について、自分の意見を述べることができる			
				4	他者と積極的に協力したうえで、問題提起、自分の意見を述べることができる			
				3	他者と協力したうえで、問題提起、自分の意見を述べることができる			
				2	他者の意見を聞き、自分の考えを述べることができる			
				1	自分の考えを述べることができない。発表に消極的もしくは不参加である			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 吉沢みなみ他著『大学で学ぶ食生活と健康のきほん』（化学同人）『基本マスター フード&クッキング』（実教出版）								
参考書： 栄養科学シリーズNEXT『食文化論/食育・食生活論』（講談社）								
【その他】								
レポートのフィードバックを行う								

人間生活学科 こども発達専攻 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 食生活論の概念 私たちの食生活と健康	事前学習: 自分の食事内容を振り返る。教科書の該当部分を読む(p.1-6) 事後学習: 授業の進め方、注意事項を確認し理解する。	4時間
2 食品と栄養素の働きⅠ エネルギー産生栄養素	事前学習: 教科書の該当部分を読む(p.7-30) 事後学習: 授業の内容をまとめ、レポート作成準備をする	4時間
3 食品と栄養素の働きⅡ ビタミン・ミネラル	事前学習: 教科書の該当部分を読む(p.31-40) 事後学習: レポート①を作成する	4時間
4 美味しさと健康のための調理	事前学習: 教科書の該当部分を読む(p.41-52) 事後学習: 授業の内容をまとめ、レポート作成準備をする	4時間
5 食品の機能性・健康づくりと食生活	事前学習: 教科書の該当部分を読む(p.53-68, p.105-115) 事後学習: レポート②を作成する	4時間
6 日本の伝統的食文化についてⅠ グループワーク・ディスカッション	事前学習: 教科書の該当部分を読み(p.133-142)、情報を収集する 事後学習: 内容をまとめ、発表資料を作成する	4時間
7 日本の伝統的食文化についてⅡ 発表	事前学習: 資料を作成し、発表の準備をする 事後学習: 発表内容の評価を作成する	4時間
8 海外の食文化についてⅠ グループワーク・ディスカッション	事前学習: プリントを読み、情報を収集する 事後学習: 内容をまとめ、発表資料を作成する	4時間
9 海外の食文化についてⅡ 発表	事前学習: 資料を作成し、発表の準備をする 事後学習: 発表内容の評価を作成する	4時間
10 ライフステージ別食生活と健康Ⅰ 妊娠期～学童期	事前学習: 教科書の該当部分を読む(p.69-89) 事後学習: 授業の内容をまとめ、レポート作成準備をする	4時間
11 ライフステージ別食生活と健康Ⅱ 思春期～高齢期	事前学習: 教科書の該当部分を読む(p.90-103) 事後学習: レポート③を作成する	4時間
12 食の安全性	事前学習: 教科書の該当部分を読む(p.117-132) 事後学習: 授業内容をまとめ、理解を深める	4時間
13 食の安全性と環境問題Ⅰ グループワーク・ディスカッション	事前学習: 食の安全性に関わる情報を収集する 事後学習: 内容をまとめ、発表資料を作成する	4時間
14 食の安全性と環境問題Ⅱ 発表	事前学習: 資料を作成し、発表の準備をする 事後学習: 発表内容の評価を作成する	4時間
15 食生活の評価・改善 まとめ	事前学習: 自分の食事内容を記録する 事後学習: 自分の食事を客観的に評価する。授業の復習をし、質問事項をまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DB0007	衣生活論	菅沼、川田	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>衣服は人間が健康で快適に生きていくために必要不可欠なものです。現代の衣生活は、アパレル産業やファッションビジネスの発達と先端技術、IT等の進展によって、衣服素材や美的表現の多様化が進んでいます。そのような中で、主体的に衣生活を営むことができるように、衣服の機能 と社会的な側面を学ぶことによって、その基礎的な能力が身につくことを目指します。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	衣生活に関する基本を理解する	定期試験	60	5	定期試験の点数が90%以上			
				4	定期試験の点数が80%以上			
				3	定期試験の点数が70%以上			
				2	定期試験の点数が60%程度			
				1	定期試験の点数が60%未満			
専門的知識・ 技術	衣生活を主体的に実践する基礎力が身につく	作品	20	5	基礎的な技術力が90%以上			
				4	基礎的な技術力が80%以上			
				3	基礎的な技術力が70%以上			
				2	基礎的な技術力が60%程度			
				1	基礎的な技術力が60%未満			
思考力	衣生活の現代的な課題について話し合い、自分なりの考えを発表する能力が身につく	レポート	20	5	レポートとしての完成度が90%以上			
				4	レポートとしての完成度が80%以上			
				3	レポートとしての完成度が70%以上			
				2	レポートとしての完成度が60%程度			
				1	レポートとしての完成度が60%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用せず								
参考書： 配布資料								
【その他】								
制作物について発表、講評を行う。レポートのフィードバックを行う。								
中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ヒトはなぜ装うのか	事前学習： 各自なぜ服を着ているか考えてくる 事後学習： 興味を持った理由についてまとめる	4
2 着装とライフステージ	事前学習： ヒトの年齢と服装について調べてくる 事後学習： アルバムから自分や家族の年齢と服装を確認する	4
3 ライフシーンと装い	事前学習： 日常のTPOと装いについて考える 事後学習： マナーと装いについてまとめる	4
4 衣服の素材と加工	事前学習： 知っている素材と加工の名前をあげる 事後学習： 重要な素材と加工についてまとめる	4
5 染色と染の文化	事前学習： 染に関わる日常の体験をまとめる 事後学習： 実際に興味を持った染色についてインターネットまたは実際に見学する	4
6 ファッションとマーケティング	事前学習： 興味のあるお店、ブランド、流行について考える 事後学習： 成長する企業とはどのような企業か考える	4
7 衣服の製造とアパレル産業	事前学習： 興味のあるアパレル企業について調べる 事後学習： 新たな発見があったアパレルのお店に行ってみる	4
8 衣服の品質	事前学習： 身近な品質表示を調べる 事後学習： 重要な品質性能についてまとめる	4
9 衣服の取り扱いと環境	事前学習： 日常の洗濯をまとめる 事後学習： 重要な取り扱い絵表示について確認する	4
10 衣服のデザイン	事前学習： 好きなデザイナー、キャラクターについて考える 事後学習： 授業をまとめて簡単なデザイン画を描いてみる	4
11 衣服の造形	事前学習： 衣服が布からどのようにできているのか考える 事後学習： 事前学習と比較して不足を補ってまとめる	4
12 現代衣生活の課題	事前学習： 現代衣生活の課題テーマについて調べ、レポートを書く 事後学習： 発表した内容について自己評価を行う	4
13 衣服造形の基礎 手縫い、ミシン縫い	事前学習： 小中高家庭科で制作した作品を思い出しまとめる 事後学習： 授業時間内で終了しなかったところを仕上げる	4
14 布地を用いた小物制作（リバーシブル巾着） ①布地選び、裁断、しるしつけ	事前学習： 使用する布地の種類、特性について調べる 事後学習： 授業時間内で終了しなかったところを仕上げる	4
15 布地を用いた小物制作（リバーシブル巾着） ②本縫い、仕上げ、発表	事前学習： 授業で習得した技術を復習する 事後学習： 完成した作品について自己評価する	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DB0008	住生活論	野間 香奈子	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 住生活に関する知識を、基礎から専門用語に至るまで幅広く学ぶ。 住生活を形づくる住宅の間取りや家具配置等に目を向け、現在の住まいの利便性や問題点を考える。 また、スケッチや間取り図を描く技術を身につけ、プレゼンテーション力の習得も図る。 インテリアコーディネーターとしての実務経験を活かし、最終的には自身で住宅のリフォーム及び新築のプランを考え図案化できるよう指導を行い、実生活に応用できるようにする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	住生活に関する専門的知識を身につける。	確認テスト	50	5	確認テスト1,2の合計(100点満点)が90点以上・出席状況も加味する			
				4	確認テスト1,2の合計(100点満点)が80～89点・出席状況も加味する			
				3	確認テスト1,2の合計(100点満点)が70～79点・出席状況も加味する			
				2	確認テスト1,2の合計(100点満点)が60～69点・出席状況も加味する			
				1	確認テスト1,2の合計(100点満点)が59点以下・出席状況も加味する			
思考力	現在の住まいの長所短所を考察し、心地良い住まいづくりのための住宅設計を考える。	作品	50	5	提出課題の合計評価(20点満点)が18点以上・授業態度等も加味する			
				4	提出課題の合計評価(20点満点)が16～17点・授業態度等も加味する			
				3	提出課題の合計評価(20点満点)が14～15点・授業態度等も加味する			
				2	提出課題の合計評価(20点満点)が12～13点・授業態度等も加味する			
				1	提出課題の合計評価(20点満点)が11点以下・授業態度等も加味する			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず。プリント配布。 参考書：								
【その他】 実務家教員による授業。確認テストや提出課題のフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 住宅の間取り・図面に使用される略語 レポート：間取りの長所短所の考察	事前学習：自身の住生活に興味を持ち、間取りに目を向ける。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
2 図面の種類・テーブルと椅子の名称、構造 レポート：デザイナーズチェア（名作椅子）の名称	事前学習：自身の生活空間に興味を持ち、家具に目を向ける。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
3 家具のスケッチ・アクソメ、アイソメの描き方 課題：アクソメ・アイソメスケッチ	事前学習：家具のスケッチ練習をする。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
4 家具のスケッチ・1消点、2消点パースの描き方 課題：パーススケッチ	事前学習：家具のスケッチ練習をする。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
5 建具の名称と記号・間取りの問題点の考察・不動産用語 レポート：インテリア（家具）の歴史	事前学習：自身の住まいの建具の形状を確認し、操作性や利便性を考える。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
6 確認テスト1・解答解説	事前学習：1～5回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習：プリントの整理をし、確認テストの復習をする。	4時間
7 キッチン部材名称、レイアウトの名称と特徴 課題：キッチンレイアウトプランニング	事前学習：キッチンの配置や作業動線等に目を向け、作業効率の良し悪しを考察する。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
8 ウィンドウトリートメントの種類・照明器具の種類 課題：カーテン・照明プランニング	事前学習：自宅のウィンドウトリートメント及び照明器具を観察する。 事後学習：講義内容を整理し、自宅の照明器具の種類や個数を観察する。	4時間
9 課題：カーテン・照明プランニング	事前学習：自宅のウィンドウトリートメントの種類や開閉方式、開閉方向を確認する。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
10 人体寸法・家具寸法・設計寸法・畳の寸法 レポート：人体寸法の実測	事前学習：自身の身体的尺度を把握し、住空間のあらゆるサイズを計測する。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
11 課題：平面図作図練習・家具配置の検討	事前学習：人体寸法や家具寸法等を頭に入れ、図面に反映できるようにする。家具配置による動線の良し悪しを考える。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
12 近未来型住宅の提案 課題：マンションリフォームプランニング	事前学習：近未来の住まいの間取りを考える。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
13 確認テスト2・解答解説	事前学習：7～12回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習：プリントの整理をし、確認テストの復習をする。	4時間
14 これからの住生活-高度情報化 レポート：住まいの現状、戸建と集合住宅の特徴	事前学習：自身の住空間の現状を把握し、問題点を見つける。住宅の広告等に載っている間取りを見て、特徴を読み取る。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
15 これからの住生活-高度情報化 課題：新築戸建住宅プランニング	事前学習：将来のマイホームを想定して間取りを考え、計画を立てる。 事後学習：学んだ事を実生活に応用し、快適な住空間をつくる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0001	教育の心理学	白岩 等	後期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
教育の心理学の主たる領域である成長と発達、学習、人格、適応、評価などに関する基本的な知識や考え方について、実務家教員の視点から解説する。乳幼児期や児童期の発達や学習過程等に関する基礎的な知識を獲得することで、保育活動の中で教育心理学的な視点から、子どもや子どもを取り巻く諸問題に対応する力を身に付ける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育の心理学に関する基礎的な知識や考え方を習得することで、子どもや保護者の支援に役立てることができる。	定期試験	50	5	定期試験の得点が8割以上			
				4	定期試験の得点が7割以上			
				3	定期試験の得点が6割以上			
				2	定期試験の得点が5割以上			
				1	定期試験の得点が5割未満			
コミュニケーション力	教育心理学の視点から、子どもや保護者などと円滑なコミュニケーションを図る力を身に付ける。	受講態度	20	5	グループワーク等に協力的に取り組み、自分の考えを十分にまとめながら授業に参加できる。			
				4	グループワーク等に協力的に取り組み、積極的に授業に参加できるが、自分の意見を十分にまとめられない。			
				3	グループワーク等に取り組み、授業に参加できるが、自分の意見を十分にまとめられない。			
				2	グループワーク等には参加するが、授業に対する積極性が低い。			
				1	グループワーク等に取り組めない。			
実践力	子どもや子どもを取り巻く諸問題を解決するために、専門的な知識や理論を実践的に活用することができる。	レポート	30	5	専門的な知識や理論に基づき、保育の現場と関連付けながら、問題解決に向けた課題や問題点等を考えることができる。			
				4	専門的な知識や理論に基づき、問題解決に向けた課題や問題点等を考えることができる。			
				3	専門的な知識や理論はあるが問題解決に向けた課題や問題点等を十分に考えることができない。			
				2	基本的な知識や理論が不十分であり、問題解決に向けた課題や問題点等を考えることができない。			
				1	基本的な知識や理論がない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 伊藤健次郎編 「保育に生かす教育心理学」(みらい)								
参考書： 「保育所保育指針解説」「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型子ども園・保育要領解説」(いずれもフレーベル館)								
・レポート等をついとバックする。								
・幼稚園教諭二種免許状の必修科目 保育士課程の選択必修科目 実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション	事前学習： 教育の心理学とは何か、自分なりにイメージする。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
2 乳幼児の発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
3 自己の発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
4 認知発達と言語発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
5 学習行動の基礎	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
6 学びの動機付け	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
7 知的能力の発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
8 創造性	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
9 パーソナリティーの発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
10 教育の評価	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
11 社会性の発達と集団行動	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
12 小学校の接続に向けた教育的な関わり	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
13 子どもをめぐる教育上の諸問題	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
14 子どもの学びに対する支援(教授法)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
15 全授業のまとめ	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0005	幼児理解(カウンセリングを含む)	本蔵 達矢	後期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 保育を行なうときには、一人ひとりのこどもがどのように発達しているのかなどを見取っていかねばならない。そもそもなぜ見取りが必要なのか、より良い保育をしていくためにはどうしたらいいのか。幼児理解(カウンセリングを含む)では、そうしたこどもの見取り方についての考え方や技術について学ぶ。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	こどもの行動への理論的理解力を高める	定期試験	60	5	定期試験の該当箇所の得点率が80%以上			
				4	定期試験の該当箇所の得点率が60%以上80%未満			
				3	定期試験の該当箇所の得点率が50%以上60%未満			
				2	定期試験の該当箇所の得点率が40%以上50%未満			
				1	定期試験の該当箇所の得点率が50%未満			
思考力	保育体験を次の実践に活かすために振り返る能力を養う	確認テスト	10	5	ワークの評価が75%以上			
				4	ワークの評価が60%以上75%未満			
				3	ワークの評価が50%以上60%未満			
				2	ワークの評価が40%以上50%未満			
				1	ワークの評価が50%未満			
コミュニケーション力	こどもの行動について周りと意見を交わすことができる	受講態度	30	5	毎回の講義および演習に積極的に参加し、課題に取り組んでいる			
				4	毎回の講義および演習に参加し、課題に取り組んでいる			
				3	毎回の演習に参加し、課題に取り組んでいる			
				2	毎回の講義に参加しているものの、課題に対して消極的である			
				1	毎回の講義に参加せず、課題にも取り組んでいない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 高嶋景子・砂上史子(編)『新しい保育講座3 子ども理解と援助』(ミネルヴァ書房) 参考書： 文部科学省『幼稚園教育要領解説』 プリントなど随時指示								
【その他】 ワークは次回の授業の最初に返却し、ディスカッションを行う。 幼稚園教諭2種免許状・保育士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 保育における「こども理解」とは	事前学習： シラバスを読み、授業の見直しをもつ 事後学習： こども理解の意義について復習する	4時間
2 子どもを取り巻く環境の理解	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 自身を取り巻く環境の作用に気付く	4時間
3 子ども理解における発達の観点	事前学習： 教科書の事例を読む 事後学習： 自身がもっていた発達観に気付く	4時間
4 子ども理解における保育者の姿勢とカウンセリングマインド	事前学習： 倉橋惣三『育ての心』を読み直す 事後学習： カウンセリングマインドについて復習する	4時間
5 保育における観察と記録の実際① 観察にはどのような種類があり、どのように行うか	事前学習： 「観察する」とはどのようなことか考える 事後学習： 人間学的なこども理解について復習する	4時間
6 保育における観察と記録の実際② 保育記録の書き方の実際	事前学習： 実習日誌を振り返り、どのように記録を書いていたか確認する 事後学習： 講義内容をふまえて実習日誌を振り返り、改善点を考える	4時間
7 保育における観察と記録の実際③ マップ型記録について	事前学習： マップ型記録について調べる 事後学習： 授業内のビデオについて感想を書く	4時間
8 記録にもとづく保育カンファレンス① 保育カンファレンスとは何か	事前学習： 保育者が行う研修について調べる 事後学習： 保育カンファレンスについて復習する	4時間
9 記録にもとづく保育カンファレンス② 具体的な事例と専門機関との連携	事前学習： 保育カンファレンスに用いる事例を準備する 事後学習： カンファレンス内で作成した資料を完成させる	4時間
10 保育における個と集団の関係の理解と援助	事前学習： 個と集団の違いについて調べる 事後学習： 保育における個と集団の関係の理解と援助について復習する	4時間
11 一人一人の子どもの特別なニーズの理解と援助 障がいのあるこども理解と具体的な援助	事前学習： 自閉症スペクトラム、ADHDについて調べる 事後学習： 障がいをもつこどもにどのような援助ができるか復習する	4時間
12 グローバル社会におけるこども理解 多様なこどもたちへの教育相談	事前学習： 外国籍のこどもと保護者にどのような対応ができるか考える 事後学習： 配布する課題を行う	4時間
13 保護者理解と援助の基本① カウンセリングとはどのような行為か	事前学習： カウンセリングとはどのような行為か自分なりに考える 事後学習： 保育カウンセラーの仕事について復習する	4時間
14 保護者理解と援助の基本② 地域の子育て支援の実際	事前学習： 教科書の事例を読む 事後学習： 子育て支援について復習する	4時間
15 「こども理解」を深めるための保育共同体	事前学習： 「語り合う」とはどのようなことか考える 事後学習： 期末試験に向けて復習する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0006	保育原理	片桐 恵子	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
この授業では、保育所保育指針における保育の基本、保育の内容と方法、保育に関する知識のもとに保育者の役割、我が国の保育制度、保育の歴史や思想について学習する。内容に応じてアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ個人ワーク、グループワーク等を通して共有化する。保育の現状と問題点、子どもの心身の成長と発達について考察する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育の意義、保育内容等、保育所保育指針における保育の基礎事項について理解している。	定期試験	60	5	基礎知識を問う定期試験で9割以上正解している。			
				4	基礎知識を問う定期試験で8割以上9割未満正解している。			
				3	基礎知識を問う定期試験で6割以上8割未満正解している。			
				2	基礎知識を問う定期試験で4割以上6割未満正解している。			
				1	基礎知識を問う定期試験で4割未満の成績である。			
向上心・責任 感	保育所、幼稚園、認定こども園における保育の意義や目的、保育の内容とその方法、環境、計画、歴史、更に現状と課題について等、保育をする上での基本的事項を理解し、自分のなりたい保育者像をイメージできるようにする自ら進んで学びを深めている。	レポート	20	5	現代社会にあった子どもにとってより良い育ちとは何かを理解した上で援助の意味や保育者の役割を説明することができる。			
				4	子どもにとってより良い育ちとは何か、保育者の役割を説明できる。			
				3	子どもにとってより良い育ちとは何か、自分の考えを述べられる。			
				2	子どもにとってより良い育ちとは何か、理解はしているが具体性がなく説明することができない。			
				1	子どもにとってより良い育ちとは何か、理解していない。			
向上心・責任 感	保育所、幼稚園、認定こども園における保育の意義や目的、保育の内容とその方法、環境、計画、歴史、更に現状と課題について等、保育をする上での基本的事項を理解し、自分のなりたい保育者像をイメージできるようにする自ら進んで学びを深めている。	受講態度	20	5	プリントへの記述に漏れがなく、よく整理されており、事前事後学習に良く取り組んでいる。			
				4	プリントへの記述にほぼ漏れがなく整理されており、事前事後学習に良く取り組んでいる。			
				3	プリントへの記述にほぼ漏れがなく整理されており、事前事後学習に6割以上取り組んでいる。			
				2	プリントへの記述にほぼ漏れがなく整理されており、事前事後学習に4割程度取り組んでいる。			
				1	プリントへの記述が乏しく、事前事後学習に取り組んでいない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 岡田耕一 編著『保育原理 子どもの保育の基本理論の理解』（萌文書林）、適宜レジュメ、資料配布								
参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】								
確認テスト、レポートのフィードバックを行う。								
保育士課程の必須科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 保育とは何か	事前学習：教科書第1章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
2 子どもと保育に関する法令	事前学習：教科書第2章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
3 保育の歴史	事前学習：教科書第11章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
4 保育の基本① 環境を通して行う保育	事前学習：教科書第6章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
5 保育の基本② 養護と教育の一体性	事前学習：教科書第3章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
6 保育の基本③ 遊びの中での学び	事前学習：教科書第4章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
7 保育の原理① 子どもの発達と多様化する保育形態	事前学習：教科書第5章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
8 保育の原理② 子育て家庭支援の必要性 ～3法令同時改訂とその背景～	事前学習：今昔の子育て家庭支援について調べる 事後学習：授業内容を整理する	4時間
9 保育の原理③ 子どもの最善の利益とは	事前学習：子どもの人権を考え、何が一番大切なのか自分の考えをまとめる 事後学習：授業内容を整理する	4時間
10 保育者に求められる資質と専門性	事前学習：教科書第8章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
11 保育の計画と評価	事前学習：教科書第7章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
12 地域社会で行う子育て支援	事前学習：教科書第9章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
13 特別な配慮・障害児を受け入れる保育	事前学習：教科書第10章通読する 事後学習：レポート課題に取り組む	4時間
14 日本の保育の現状	事前学習：教科書第12章通読する 事後学習：授業内容を整理する	4時間
15 これからの保育に向けての保育者のあり方	事前学習：これまでの授業内容を復習する 事後学習：授業内容を整理する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0007	教師・保育者論	白岩 等	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>教師・保育者の仕事は多岐にわたる。こどもを保育するだけでなく、保護者支援や地域との連携などを行う必要がある。また、保育をしていく中でも、知っておくべき法的なことがらなどがある。本授業では、教師・保育者として仕事をする上で必要なきまりを学修し、どこまでが保育者の仕事で、どこからが保育者の仕事ではないのか理解することをねらい及び身につく能力とする。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	教師・保育者の職務内容を理解する	定期試験	30	5	定期試験の該当部分正解率90%以上			
				4	定期試験の該当部分正解率80%以上			
				3	定期試験の該当部分正解率70%以上			
				2	定期試験の該当部分正解率60%以上			
				1	定期試験の該当部分正解率60%未満			
専門的知識・技術	教師・保育者の職務に関わる専門的知識を身につける	定期試験	40	5	定期試験の該当部分正解率90%以上			
				4	定期試験の該当部分正解率80%以上			
				3	定期試験の該当部分正解率70%以上			
				2	定期試験の該当部分正解率60%以上			
				1	定期試験の該当部分正解率60%未満			
向上心・責任感	教育への熱意と教師・保育者としての使命感をもつ	受講態度	30	5	毎回の講義および演習に積極的に参加し、課題に取り組んでいる			
				4	毎回の講義および演習に参加し、課題に取り組んでいる			
				3	毎回の演習に参加し、課題に取り組んでいる			
				2	毎回の講義に参加しているものの、課題に対して消極的である			
				1	毎回の講義に参加しているものの、課題に取り組んでいない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 児童育成協会（監修）・矢藤誠慈郎・天野珠路（編）『基本保育シリーズ 保育者論』（中央法規）</p> <p>参考書： 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領</p>								
【その他】								
<p>レポートのフィードバックを行う。</p> <p>幼稚園教諭2種免許状・保育士課程の必修科目</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 教師・保育者の役割・職務内容	事前学習： シラバスを読み、授業の見直しをもつ 事後学習： 教師・保育者の役割・職務内容について復習する	4
2 教師・保育者の倫理	事前学習： 全国保育士倫理綱領を読む 事後学習： 教師・保育者の倫理について復習する	4
3 教師・保育者の資格と責務	事前学習： 保育士・幼稚園教諭の欠格条項を確認する 事後学習： 保育者の資格と責務について復習する	4
4 教師・保育者の資質・能力	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 教師・保育者の資質と能力について復習する	4
5 養護および教育の一体的展開	事前学習： 保育所保育指針・幼稚園教育要領の総則を読む 事後学習： 養護および教育の一体的展開について復習する	4
6 家庭の支援と保護者に対する支援	事前学習： 少子化と核家族化がなぜ起きているのか調べておく 事後学習： 家庭の支援と保護者に対する支援について復習する	4
7 計画に基づく保育の実践と省察・評価	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 計画に基づく保育の実践と省察・評価について復習する	4
8 保育の質の向上	事前学習： 教科書の実践事例を読む 事後学習： 保育の質の向上について復習する	4
9 保育における職員間の連携・協働	事前学習： 保育所・幼稚園でどのような人が働いているか調べる 事後学習： 保育における職員間の連携・協働について復習する	4
10 専門職間および専門機関との連携・協働	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 専門職間および専門機関との連携について復習する	4
11 地域社会との連携・協働	事前学習： 教科書の実践事例を読む 事後学習： 地域社会との連携・協働について復習する	4
12 関係機関との連携	事前学習： 家庭的保育について調べる 事後学習： 関係機関との連携・協働について復習する	4
13 資質向上に関する組織的取組	事前学習： 保育所・幼稚園でどのような研修があるか調べる 事後学習： 資質向上に関する組織的取組について復習する	4
14 教師・保育者の専門性の発達とキャリア形成の意義	事前学習： 10年後にどんな保育者になりたいか考える 事後学習： 教師・保育者の専門性の発達について復習する	4
15 保育におけるリーダーシップ	事前学習： これまで出会った教師・保育者を思い出す 事後学習： 期末試験に向けて復習する	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0008	幼児教育課程論	片桐 恵子	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
保育内容の変遷と教育課程の関係、さらに保育内容としての領域の意味について学んだ上で、教育課程の変遷や評価に関して理解を深める。また、これらを踏まえた上で、長期・短期の指導計画について具体的に学ぶとともに、保育・教育課程の編成と指導計画作成の意義を様々な角度から学び理解する。理論を具体的な実践に移す方法を学び、指導計画の作成を試みながら、保育におけるPDCA(計画・実践・評価・改善)のサイクルの過程を理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育における計画の意義や考え方について理解できる	定期試験	60	5	教育課程の役割・機能・意義や仕組みを深く理解し、説明できる。			
				4	教育課程の役割・機能・意義や仕組みを理解し、説明できる。			
				3	教育課程の役割・意義を理解し、説明できる。			
				2	教育課程の役割・意義を理解しているが説明できない。			
				1	教育課程の役割・意義を理解できない。			
コミュニケーション力	保育者が協働して保育を構想するイメージを持つ	受講態度	20	5	積極的にコミュニケーションを取り授業に前向きな姿勢が見受けられる。			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる。			
				3	授業に前向きな姿勢が見受けられる。			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる。			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない。			
実践力	子どもの実態に即した指導計画の作成について理解する	レポート	20	5	子どもの実態を把握し、問題を予測して指導計画を作成できる。			
				4	子どもの実態を把握し、指導計画を作成できる。			
				3	指導計画の作り方の基本を理解して、作成できる。			
				2	指導計画の作り方を理解しているが、作成できない。			
				1	指導計画の作り方が理解できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜レジュメ、資料配布								
参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】								
レポートのフィードバックを行う。								
保育士課程、幼稚園教諭2種免許状の必須科目								

人間生活学科 こども発達専攻 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 保育における計画と評価の意義	事前学習： PDCAサイクルについて調べる 事後学習： 保育における計画と評価の意義についてまとめる	4時間
2 保育・教育課程編成の基本原則、及び指導計画作成の目的	事前学習： 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園・保育要領を通読する 事後学習： 指針等で遵守しなくてはならないものをまとめる	4時間
3 指導計画の書き方	事前学習： 指導計画の意味について調べる 事後学習： 指導計画の種類と意味についてまとめる	4時間
4 長期計画とは	事前学習： 年間指導計画の構成(項目)に関する資料を読む 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
5 短期計画及び指導案	事前学習： 週案や日案の構成を確認する 事後学習： 計画の立案について復習する	4時間
6 乳幼児保育のカリキュラム	事前学習： 乳幼児保育のカリキュラムに関する資料を通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
7 幼児理解に基づく指導計画の実際①	事前学習： 指針等の全体的な計画について通読する 事後学習： 保育所・認定こども園の保育・教育課程の特徴をまとめる	4時間
8 幼児理解に基づく指導計画の実際②	事前学習： 指針等の全体的な計画について通読する 事後学習： 保育所・認定こども園の保育・教育課程の特徴をまとめる	4時間
9 乳幼児の特徴と指導計画の実際①	事前学習： 子どもの発達や特性を調べる 事後学習： 幼稚園の指導計画で注意する点をまとめる	4時間
10 乳幼児の特徴と指導計画の実際②	事前学習： 乳幼児の発達や特性を調べる 事後学習： 保育所の指導計画で注意する点をまとめる	4時間
11 乳幼児の特徴と指導計画の実際③	事前学習： 乳幼児の発達や特性を調べる 事後学習： 認定こども園の指導計画で注意する点をまとめる	4時間
12 保育の記録と評価	事前学習： ドキュメンテーションやラーニングストーリーについて調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
13 子どもの育ちをつなげる要録	事前学習： 事例に対して自分の考えをまとめる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
14 小学校との接続について	事前学習： 保育所児童保育要録について調べる 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
15 まとめ	事前学習： 定期試験に向けて復習する 事後学習： 授業で学び理解したことをまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0012	教育原理	白岩 等	前期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 「教育」という言葉の意味を端緒として、教育に関する思想や制度を辿り、教育の意義・あり方などを考察する。そして、人間にとって教育はなぜ必要なのかという視点を常に持って、教育の必要性を考察する。教育に関する用語や制度・法令などを理解するとともに、それらの知識をふまえて考察する力を身につける。用語などを単に知識として吸収するだけではなく、自らの教育観を確立する手立てとしたい。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育史・教育思想・教育制度 などを理解できる。	定期試験	40	5	該当内容について9割以上理解している。			
				4	該当内容について8割以上理解している。			
				3	該当内容について7割以上理解している。			
				2	該当内容について6割以上理解している。			
				1	該当内容についての理解が6割未満である。			
専門的知識・ 技術	教育史・教育思想・教育制度 などを理解できる。	受講態度	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
思考力	学習内容をふまえて、自分な りの教育観を深めることがで きる。	定期試験	20	5	該当内容について8割以上理解している。			
				4	該当内容について7割以上理解している。			
				3	該当内容について6割以上理解している。			
				2	該当内容について5割以上理解している。			
				1	該当内容についての理解が5割未満である。			
思考力	学習内容をふまえて、自分な りの教育観を深めることがで きる。	受講態度	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 教育の原理 深谷 潤／広岡 義之 編著（ミネルヴァ書房） 参考書： 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、その他テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 提出物のフィードバックを行う。 保育士課程の必修科目、幼稚園教諭2種免許状の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 「教育」とは何か	事前学習： シラバスの記述内容を理解する。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、指定図書を読む。	4
2 人間と教育、それを取り巻く文化と社会	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
3 子どもと家庭	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
4 古代から中性にかけての教育	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
5 近代公教育制度の誕生	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
6 現代教育の分析	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
7 西洋教育思想の潮流	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
8 教育思想の転換の始まり	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
9 啓蒙主義・新人文主義時代の教育思想	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 課題に取り組む。	4
10 教育思想の展開	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
11 学校と社会	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
12 学校と学習	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
13 学校と子ども・教師（1）	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
14 学校と子ども・教師（2）	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
15 まとめ	事前学習： これまでの学習内容を振り返る。 事後学習： 学習内容をまとめ、定期試験に臨む。	8

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0023	子どもの食と栄養A	佐藤 陽子	前期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
栄養素の種類や体内での働きといった基礎的な知識を理解する。さらに乳児期や妊娠期などのライフステージ別の特徴を踏まえ、各時期に応じた適切な栄養管理や食事のあり方を理解し、子どもや保護者に対して適切に指導できる能力を養う。また、グループワークや調理実習を適宜取り入れることで、学んだ知識を活用できる力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	健康な食生活の意義や栄養に関する基礎知識が身についている	確認テスト	10	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		レポート	20	5	授業内容を理解していることが伺え、自分自身の考えを理論的に関連付けて述べている			
				4	授業内容を理解していることが伺え、自分自身の考えを述べている			
				3	授業内容を理解していることが伺える			
				2	授業内容をあまり理解できていない			
				1	授業内容を全く理解できていない			
		定期試験	50	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
コミュニケーション力	子どもの発育・発達と食生活について他者に説明することができる	受講態度	20	5	授業内容を十分に活用して課題に積極的に取り組んでいる			
				4	授業内容を活用して課題に積極的に取り組んでいる			
				3	授業内容を活用して課題に取り組んでいる			
				2	授業内容の理解が不十分で課題への取り組みが消極的である			
				1	授業内容の理解が不十分で課題がほとんどできていない			
【教科書・参考書】								
教科書： 森脇千夏、他／著 『イラスト 子どもの食と栄養』（東京教学社）								
参考書：								
【その他】								
確認テストおよびレポート提出後にフィードバックを行う								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 子どもの心身の健康と食生活の意義	事前学習： 子どもの食生活の意義について考えておく 事後学習： 授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間
2 子どもの食生活の現状と課題 子どもの発育・発達と食生活	事前学習： 子どもの食生活にどんな問題があるか調べておく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
3 栄養素・栄養整理・代謝に関する基本的知識① 食品の分類・炭水化物	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
4 栄養素・栄養整理・代謝に関する基本的知識② 脂質・たんぱく質	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
5 栄養素・栄養整理・代謝に関する基本的知識③ ビタミン・ミネラル	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
6 調理の基本・食中毒の種類	事前学習： 食中毒の種類を調べておく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
7 乳児期の特徴と食生活	事前学習： 乳児期の身体的特徴を確認しておく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
8 乳汁栄養の特徴	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
9 乳汁栄養の実習(人工乳)	事前学習： 実習における身支度や器具を確認しておく 事後学習： レポートにまとめる	4時間
10 母乳と食生活・嗜好品について	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
11 離乳食の特徴	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
12 離乳食の調理実習①(初期・中期)	事前学習： 使用する器具や食材の扱い方などを確認しておく 事後学習： レポートにまとめる	4時間
13 離乳食の調理実習②(後期・完了期)	事前学習： 使用する器具や食材の扱い方などを確認しておく 事後学習： レポートにまとめる	4時間
14 妊産婦の食生活(胎児期)・合併症について	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる	4時間
15 日本人の食事摂取基準 バランスガイドについて	事前学習： 教科書の該当ページを読んでおく 事後学習： 授業内容をまとめる(ワークシート)	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0024	子どもの食と栄養B	佐藤 美紀	後期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
子どもの健やかな心身の発達のためには、日々の生活と食の関わり、栄養に関する基本的知識を理解することが必要である。本授業では、栄養学、食品学の知識および幼児期以降の子どもの身体発育・発達・食支援について学び、調理実習を通して子どもの発達に応じた供食内容と基本的な調理技術を獲得することを目的とする。さらに、特別な配慮を要する子どもの栄養・食支援について理解を深め、対応できる知識と技術を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	子どもの食環境、食習慣の改善に取り組む重要性を説明できる	定期試験	30	5	定期試験の得点が90%以上			
				4	定期試験の得点が75%以上90%未満			
				3	定期試験の得点が60%以上75%未満			
				2	定期試験の得点が50%以上60%未満			
				1	定期試験の得点が50%未満			
専門的知識・ 技術	子どもの食と栄養に関する基本的知識を理解している。	定期試験	30	5	定期試験の得点が90%以上			
				4	定期試験の得点が75%以上90%未満			
				3	定期試験の得点が60%以上75%未満			
				2	定期試験の得点が50%以上60%未満			
				1	定期試験の得点が50%未満			
思考力	グループワークを通じて、子どもの発達に適した献立を検討することができる。栄養学的な食育の知識・技術を活用し、実現可能な食事計画から献立を考え、評価することができる。	作品	20	5	子どもの食と栄養について理解を深め、実践的な食支援を行う考え方が身についている。課題の目的を理解し、調理の作品評価ができる			
				4	子どもの食と栄養について、食支援を行う考え方が身についている。課題の目的を理解し、調理の作品評価ができる			
				3	子どもの食と栄養についての知識から課題を理解し、情報をまとめた評価ができる			
				2	課題の理解に不足があるが、情報をまとめた評価ができる			
				1	課題の理解に不足がある。評価ができない			
実践力	グループワーク・調理実習を通して、食と栄養についての理解を深め、実践的食支援についての方法を獲得できている	受講態度	20	5	協力して積極的に実習を行い、作成した献立を客観的に評価し、その内容を整合性をもって多角的に考察できる			
				4	円滑に実習を行い、作成した献立を客観的に評価し、ほぼ整合性をもって考察できる			
				3	実習を円滑に行い、作成した献立を評価し、自分の考察を述べることができる			
				2	実習を行い、作成した献立を評価し、結果を示すことができる			
				1	実習に不参加である。献立作成、評価に到達していない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 森脇千夏他著『イラスト 子どもの食と栄養』（東京教学社）								
参考書： 食品成分表（女子栄養大学出版部） 日本人の食事摂取基準2025年版（第一出版）								
【その他】								
課題等のフィードバックを行う								
保育士課程の必修科目 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス・ライフステージ別の栄養と食生活 幼児期・学童期	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
2 ライフステージ別の栄養と食生活 思春期・生涯発達と食生活	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
3 調理実習① 幼児期の食事とおやつ 献立作成	事前学習: 調理実習の目的および調理実習の概要を把握する 事後学習: 献立を完成させ、調理の目的および手順を理解する	3時間
4 調理実習① 幼児期の食事とおやつ 調理・評価	事前学習: 調理実習の手順、作業分担を確認する 事後学習: 調理レポートを作成、完成させる	3時間
5 食育の基本と内容 I 食育の内容と計画および評価	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
6 食育の基本と内容 II 食を通じた保護者への支援	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
7 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 家庭における食事と栄養	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
8 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 II 児童福祉施設における食事と栄養	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
9 調理実習②バランスのよい朝ご飯 献立作成	事前学習: 調理実習の目的および調理実習の概要を把握する 事後学習: 献立を完成させ、調理の目的および手順を理解する	3時間
10 調理実習②バランスのよい朝ご飯 調理・評価	事前学習: 調理実習の手順、作業分担を確認する 事後学習: 調理レポートを作成、完成させる	3時間
11 災害時の栄養・食生活支援体制	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
12 特別な配慮を要する子どもの食と栄養	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
13 食物アレルギーの基本的知識と対応 I 発達段階別食物アレルギーの基本的知識	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
14 食物アレルギーの基本的知識と対応 II アレルギーのある子どもへの対応	事前学習: 教科書を読み、質問事項や考えをまとめる 事後学習: 教科書および配布プリントにて授業内容をまとめる	3時間
15 まとめ	事前学習: 前期からの授業全体の内容を確認する 事後学習: 保育者としての食支援について、自分の考えをまとめる	3時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0026	社会福祉	巢立佳宏	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 社会や人々のライフスタイルの変化に伴う社会問題や課題に対して、解決に向けて働きかける制度や仕組み、援助技術を学び、社会福祉の理念に基づく考え方や援助の姿勢を身につけることをねらいとする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	社会福祉の基礎的な知識を身につける。	定期試験	70	5	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が9割以上である。			
				4	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が8割以上である。			
				3	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が7割以上である。			
				2	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割以上である。			
				1	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割未満である。			
思考力	社会福祉に関わる取り組みが求められる背景を理解し、福祉的な考え方を身につける。	受講態度	30	5	講義内容を理解し、講義に関心をもち、積極的に参加し、他者に学んだ内容を伝えている。			
				4	講義内容を理解し、講義に関心をもち、ほとんど積極的に参加している。			
				3	講義内容を理解し、講義に関心をもち、だいたい参加している。			
				2	講義内容を理解し、講義に関心をもち、あまり参加していない。			
				1	講義内容を理解し、講義に関心をもち、全然参加していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 志濃原亜美・編集『社会福祉』（みらい） 参考書： 適宜資料を配布する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 リアクションペーパーなどを用いて授業に関するフィードバックを行う 保育士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 社会福祉とは	事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
2 現代社会の動向と社会福祉	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
3 社会福祉の歴史	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
4 社会福祉法制	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
5 社会福祉の実地体系	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
6 社会福祉の施設と専門職	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
7 社会保障制度	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
8 子ども家庭福祉の方と制度	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
9 高齢者福祉の法と制度	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
10 障害者福祉の法と制度	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
11 社会福祉とソーシャルワーク1	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
12 社会福祉とソーシャルワーク2	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
13 福祉サービスの利用支援と権利擁護	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
14 福祉サービスの利用と権利保障	事前学習： 前回の授業内容を確認し、予習をして授業に参加する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
15 まとめ	事前学習： 授業全体を振り返る 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0038	幼児体育	伊坪 有紀子	後期	選択	演習	1	○	3
〔授業のねらい及び身につく能力〕 幼児期の運動は、体の発達のみならず脳や心の発達にとっても極めて重要である。幼児期における運動あそびの重要性と発達段階に応じた指導法について学び、安全性を配慮しながらこどもの年齢に合わせた多様な動きによる遊び方を、環境・状況に応じて自ら実践し学習する。幼児期の身体あそびに関する知識と指導法が身につく。また、グローバル化する保育の現場で使える体育教育に関する英語表現についても学ぶ。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	幼児期における運動あそびを理解し、他者の実践を自己の学びに結ぶつけて、保育者としての視点を持って安全に取り組む力を身につける	レポート	40	5	毎時ノート記録による授業の振り返りができ、他者の実践から多くの学びをフィードバックできる			
				4	毎時ノート記録による授業の振り返りができ、他者の実践から学びをフィードバックできる			
				3	時々ノート記録による授業の振り返りができ、他者の実践をフィードバックできる			
				2	ノート記録による授業の振り返りが不十分で、他者の実践からのフィードバックが不足している			
				1	ノート記録による授業の振り返りが不十分で、他者の実践からフィードバックができない			
専門的知識・ 技術	学習を基に発達と安全管理に配慮した指導案を作成できる	作品	20	5	授業内容を理解し、学びを活かした構成が素晴らしい指導案を作成できる			
				4	授業内容を理解し、学びを活かした指導案を作成できる			
				3	授業内容を理解し、指導案を作成できる			
				2	授業内容を理解が少し不足しているが、指導案を作成できる			
				1	授業内容を理解が不足し、指導案の作成が不十分である			
実践力	こどもにわかりやすく指示しながら、お手本として体操・運動あそびを指導することができる	作品	20	5	担当回で十分な準備をし、十分な実践をし、園児役としても積極的に取り組むことができる			
				4	担当回で準備・実践し、園児役として素直に取り組むことができる			
				3	担当回で準備に不足があったが実践することができ、園児役として参加することができる			
				2	担当回での準備が不足し、実践が滞る			
				1	担当回の責任を果たせない			
向上心・責任 感	集団における責任を果たすことができる	受講態度	20	5	指導案に基づき現場の状況に合わせて適時指示を出し指導できる			
				4	指導案に基づき指示をだし実践することができる			
				3	指導案通りではないが指示することができる			
				2	指導案通りではなく、指示が不適切である			
				1	実践できない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
〔教科書・参考書〕 教科書： 授業内で資料配布 参考書： 『0～5歳児の運動あそび指導百科』（ひかりのくに） 『幼稚園教育要領』 『保育所保育指針』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレバー館）								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックを行う。 保育士課程の選択必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 授業の目的と授業展開説明 身体部位に関する英語表現の学習	事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
2 用具を使用しないあそび じゃんけんあそび	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
3 用具を使用しないあそび かけっこ、リレー	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
4 用具を使用しないあそび おにごっこ	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
5 手具を使用するあそび 大きいボール	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
6 手具を使用するあそび 小さいボール	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
7 手具を使用するあそび なわ	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
8 大型用具を使用するあそび パラバルーン	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
9 大型用具を使用するあそび マット 指導案の作成	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する 指導案の作成	1時間
10 大型用具を使用するあそび 平均台、フープ 指導案の見直し	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する 指導案の修正	1時間
11 身近なものを使用するあそび 新聞紙、うちわ	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 指導案提出	1時間
12 身近なものを使用するあそび タオル、ふうせん 幼児の体操・運動あそび 実践1	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
13 幼児の体操・運動あそび 実践2	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
14 幼児の体操・運動あそび 実践3	事前学習： 模擬授業の準備 事後学習： 授業内容をノートに記録する	1時間
15 まとめと振り返り こどもの運動あそび ノート提出	事前学習： これまでの授業の振り返りをしておく 事後学習： 授業内容をノートにまとめる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0039	保育基礎演習	本蔵 達矢・片桐 恵子	前期	選択	演習	1	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>幼稚園教育における基礎的な知識、技術を身につけることをねらいとする。幼稚園における生活をビデオなどで見ながら記録の書き方について学んだり、簡単な手遊びやピアノの弾きうたい、絵本の読み聞かせの発表などを行ったりする。本授業では保育者としての基礎的な事柄を身につける。</p>								
<p>【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・技術	ビデオなどを通して幼児の発達や園生活を知る	受講態度	20	5	毎回の講義および演習に積極的に参加し、課題に取り組んでいる			
				4	毎回の講義および演習に参加し、課題に取り組んでいる			
				3	毎回の演習に参加し、課題に取り組んでいる			
				2	毎回の講義に参加しているものの、課題に対して消極的である			
				1	毎回の講義に参加しているものの、課題に取り組めていない			
実践力	簡単な弾き歌いや手遊び、絵本の読み聞かせなどができる	確認テスト	30	5	それぞれの発表に向けて十分な準備のもと実践を行えた			
				4	それぞれの発表に向けてある程度の準備のもと実践を行えた			
				3	発表によって準備が不十分な点があるものの、実践が行えた			
				2	準備が不十分なまま、実践を行った			
				1	準備が不十分であり、求められた実践が行えていない			
向上心・責任感	幼児の発達や援助の記録をとることができる	レポート	50	5	全てのレポートが極めて適切に作成されていて、提出期限が守られている			
				4	全てのレポートが適切に作成されていて、提出期限が守られている			
				3	いくつかのレポートが適切に作成されていて、提出期限が守られている			
				2	いくつかのレポートが適切に作成されておらず、提出期限が守られていない			
				1	ほとんどのレポートが適切に作成されておらず、提出期限が守られていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： 田中亨胤（監修）・山本淳子（編）『実習の記録と指導案』（ひかりのくに）</p> <p>参考書： 文部科学省『幼稚園教育要領解説』</p>								
<p>【その他】</p> <p>レポートは添削を行い授業内で返却する 確認テストは3回行う</p> <p>保育士課程の必修科目、幼稚園教諭二種免許状の必修科目、認定絵本士の必修科目</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 オリエンテーション	事前学習： 自分のグループとシラバスを確認する 事後学習： この授業の意義と目的を確認する	1時間
2 幼稚園の役割と保育者としての心構え	事前学習： 幼稚園における服装や身だしなみについて確認する 事後学習： 授業内容の復習をする	1時間
3 絵本を活用した表現 【認定絵本主義成講座該当回】	事前学習： 参考書の指示された部分を読んでおくこと 事後学習： 授業内容の復習をする	1時間
4 手遊びの基本	事前学習： 事前配付資料を読んでおくこと 事後学習： 授業内容の復習をする	1時間
5 保育記録の書き方について	事前学習： 教科書の指示された部分を読んでおくこと 事後学習： 授業内容の復習をする	1時間
6 保育記録を実際に書いてみよう	事前学習： 観察記録の仕方を確認しておく 事後学習： レポートを作成する	1時間
7 保育記録のふりかえり	事前学習： 前回のレポートをもとに、省察を行う 事後学習： 前回のレポートを見直す	1時間
8 絵本の読み聞かせをやってみよう	事前学習： 演習の準備を行う 事後学習： レポートを作成する	1時間
9 絵本の読み聞かせのふりかえり	事前学習： 履修者のレポートをもとに、反省を行う 事後学習： グループの反省から自身の演習に活かせる部分を見つける	1時間
10 手遊びをやってみよう	事前学習： 演習の準備を行う 事後学習： レポートを作成する	1時間
11 手遊びのふりかえり	事前学習： 履修者のレポートをもとに、反省を行う 事後学習： グループの反省から自身の演習に活かせる部分を見つける	1時間
12 ピアノの弾き歌いをやってみよう	事前学習： 演習の準備を行う 事後学習： レポートを作成する	1時間
13 ピアノの弾き歌いのふりかえり	事前学習： 履修者のレポートをもとに、反省を行う 事後学習： グループの反省から自身の演習に活かせる部分を見つける	1時間
14 これまでの演習のふりかえり	事前学習： 自身の演習について反省点をあげる 事後学習： レポートを作成する	1時間
15 まとめ	事前学習： これまでの記録を見直しておく 事後学習： 実習に向けての課題をもつ	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0041	保育内容総論	片桐 恵子	後期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい資質や能力」と「保育の内容」の関連を理解する。保育者としての自覚と責任感を持ち、自分の保育観や子ども観、発達観を考え、子どもの実態の把握と子どもの発達の姿を見る目を身に付ける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	園生活全体を通して総合的に指導するという保育・教育における指導の考え方について学び、子どもの興味や関心、発達の実情等に応じた具体的な指導のあり方を理解する。	定期試験	50	5	保育の現状と課題をデータから読み解くことができ、さらに自分の考察を述べることができる。			
				4	保育の現状と課題をデータから読み解いて説明することができる。			
				3	保育の現状に関するデータを読むことができる。			
				2	保育に関するデータを読もうとするが、部分的にしか説明できない。			
				1	保育に関するデータを理解していない。			
実践力	子どもの発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面で保育を構想する方法を身に付け、記録することができる。	レポート	30	5	各年齢に合った子どもの発達を考慮した上で、遊びと生活を自らで考え論理的にまとめることができる。			
				4	各年齢に合った子どもの発達を考慮した上で、遊びと生活を論理的にまとめることができる。			
				3	各年齢に合った子どもの発達における遊びと生活を一定程度まとめることができる。			
				2	子どもの発達は理解してはいるが遊びと生活を最低限にしかまとめることができない。			
				1	子どもの発達の理解に乏しく遊びと生活をまとめることができない。			
向上心・責任 感	ディスカッションを通して多様な保育者像、環境、考え方を習得し自分なりの保育者像・環境イメージを持知理解を深める。	受講態度	20	5	他科目の内容と関連付けながら、グループワーク等で積極的に意見を述べることができる。			
				4	他科目の内容と関連付けながら、グループワーク等で意見を述べるができる。			
				3	グループワーク等で意見を述べるができる。			
				2	他科目の内容と関連付けることはできるが、グループワーク等で意見を述べるができない。			
				1	他科目の内容と関連付けることができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 井上孝之・山崎敦子編『子どもと共に学びあう演習・保育内容総論（第2版）』（みらい）、適宜レジュメ、資料配布 参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】 課題やレポート等のフィードバックを行う。 保育士課程、幼稚園教諭2種免許状の必須科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 幼児教育・保育の基本	事前学習： 教科書第1章通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
2 幼児教育・保育の保育内容	事前学習： 教科書第2章通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
3 保育の1日の流れと保育内容 -遊びを中心とした生活-	事前学習： 教科書第3章通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
4 子どもの育ちと保育内容	事前学習： 教科書第4章通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
5 保育内容の展開	事前学習： 教科書第5章通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
6 0歳児の保育内容	事前学習： 教科書第6章通読する 事後学習： エピソード記録の課題に取り組む	4時間
7 1歳児の保育内容	事前学習： 教科書第7章通読する 事後学習： エピソード記録の課題に取り組む	4時間
8 2歳児の保育内容	事前学習： 教科書第8章通読する 事後学習： エピソード記録の課題に取り組む	4時間
9 3歳児の保育内容	事前学習： 教科書第9章通読する 事後学習： エピソード記録の課題に取り組む	4時間
10 4歳児の保育内容	事前学習： 教科書第10章通読する 事後学習： エピソード記録の課題に取り組む	4時間
11 5歳児の保育内容	事前学習： 教科書第11章通読する 事後学習： エピソード記録の課題に取り組む	4時間
12 保育の計画と観察・記録と評価	事前学習： 教科書第12章通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
13 保育内容の歴史の変遷	事前学習： 教科書第13章通読する 事後学習： 授業内容を整理する	4時間
14 21世紀の幼児教育に対応した新しい指導内容① プログラミングの実際 1	事前学習： 教科書第14章通読、プログラミングの具体的な手順について課題を理解しておく 事後学習： 手順や見直しや課題についてまとめておく	4時間
15 21世紀の幼児教育に対応した新しい指導内容② プログラミングの実際 2	事前学習： 教科書第15章通読プログラミングと子どもの関わりについて課題を理解しておく 事後学習： 気づいた課題についてまとめておく	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0042	保育内容：健康	伊坪 有紀子	後期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
こどもがこどもらしい健やかな生活をおくるためには、健康的な習慣や態度を身につけることが望ましい。乳幼児における健康の基礎知識を学ぶとともに、保育者はどのようにこどもの健康をとらえ、援助していくことができるのかを現在の自分をふまえて学び、子供が健やかに育つため保育の現場で実践できる知識や考え方を会得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	こどもの成長・発達など健康を支える基本的知識が理解でき、授業内での議論に積極的に参加できる	定期試験	56	5	発達段階をふまえて、こどもの健康的な生活や社会とのかかわりについて理解でき、他者の意見を聞き、自分の意見を発言できる			
				4	発達段階をふまえて、こどもの健康的な生活や社会とのかかわりについて理解でき、自分の意見を発言できる			
				3	発達段階がわかり、こどもの健康的な生活や社会とのかかわりについても理解でき、他者の意見を聞くことができる			
		受講態度	15	2	発達段階がわかり、こどもの健康的な生活についても理解できる			
				1	こどもの健康的な生活について理解できる			
思考力	保育者としてこどもが健やかに生活し運動するための手助けについて考えることができる	定期試験	14	5	社会的状況を踏まえたうえで、こどもの健康にたいする現代的問題を説明し取り組むことができる			
				4	こどもの健康に対する現代的問題を説明し取り組むことができる			
				3	こどもの健康に対する問題に取り組むことができる			
		レポート	15	2	健康に関する問題に取り組むことができる			
				1	健康に関する問題に興味を持つことができる			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 猪狩芳子『演習 保育内容 健康』（萌文書林）								
参考書： 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレパール館）								
【その他】								
課題や制作物のフィードバックを行う。								
保育士課程の必修科目、幼稚園教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 こどもの健康な育ち 健康とは	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 配布プリントの復習	1時間
2 こどもの発達	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
3 こどもの健康課題 レポート提出	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
4 生活リズムの獲得	事前学習: テキスト課題の事前取組み 事後学習: レポート作成	1時間
5 恒温の獲得	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: レポート作成	1時間
6 五感の育み レポート提出	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
7 こどもの発達と援助の視点	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
8 こどもの運動発達と体力	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
9 脳の発達と概念	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
10 基本的な生活習慣	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
11 安全管理・安全教育	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
12 安全への配慮	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
13 こどもの遊びと生活 レポート提出	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
14 健康を支える協働	事前学習: テキストの学習箇所を読んでおく 事後学習: 学んだ内容の復習	1時間
15 保育者の役割 まとめ	事前学習: これまで学習した内容を復習しておく 事後学習: これまでの学習内容をまとめる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0043	保育内容：言葉	本蔵 達矢	後期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 保育内容「言葉」は、保育の5領域の1つである。この授業では、こどもの言葉に対する感覚や言葉で表現する力を育むために、専門家として必要な知識と技術について学ぶ。具体的には、こどもの言葉の発達や、それぞれの発達段階についての保育者の援助技術などについて学ぶ。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	領域に関するねらいと内容を理解する	定期試験	60	5	学期末試験の該当分野が8割以上理解できている。			
				4	学期末試験の該当分野が7割以上理解できている。			
				3	学期末試験の該当分野が6割以上理解できている。			
				2	学期末試験の該当分野が5割以上理解できている。			
				1	学期末試験の該当分野が5割未満である。			
実践力	自ら計画した言葉の領域に関する実践の計画をすることができる	作品	30	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題の取り組みが8割未満である。			
向上心・責任感	児童文化財を活用できる	受講態度	10	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題の取り組みが8割未満である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 赤羽根有里子・鈴木穂波編『新時代の保育双書 保育内容ことば(第3版)』(みらい) 参考書： 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」								
【その他】 課題へのフィードバックを行う。 保育士課程の必修科目、幼稚園教諭2種免許状の必修科目、認定給本士の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 保育内容「言葉」とはどのようなものか	事前学習： シラバスを読み、授業の見直しをもつ 事後学習： 授業の復習を行い、今後の見直しをもつ	1時間
2 こどもの発達と言葉はどのように関連しているか	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： ことばと発達との関連を復習する	1時間
3 こどものことばの発達	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 幼児期までの言葉の発達を復習する	1時間
4 こどものことばの発達と絵本	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： ことばと絵本との関連について復習する	1時間
5 ことばの発達をうながす援助をどう考えるか	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 言葉の発達をうながす保育者のことばかけについて復習する	1時間
6 3歳児以上の文字環境と小学校「国語」への連携	事前学習： 小学校学習指導要領の第2章第1節国語を読む 事後学習： 保育内容「言葉」と小学校「国語」の連続性について復習する	1時間
7 ことばの発達についてどのような課題があるか	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： ことばの発達における課題について復習する	1時間
8 保育者はこどもにどう働きかけていくか	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 言葉の発達をうながす保育者のことばかけについて復習する	1時間
9 指導案の作成について	事前学習： これまでの授業内容について復習する 事後学習： 想定をもとにこどもに読み聞かせたい絵本を探す	1時間
10 指導案を作成しよう	事前学習： 指導案の下書きを作成する 事後学習： 指導案を完成させる	1時間
11 ブックスタート活動 【認定絵本士養成講座該当回】	事前学習： 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習： 課題に取り組む。	1時間
12 保育現場での絵本 【認定絵本士養成講座該当回】	事前学習： 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習： 課題に取り組む。	1時間
13 絵本の読み聞かせをやってみよう	事前学習： 演習の準備をする 事後学習： 演習の反省をして、実習に向けての課題をもつ	1時間
14 紙芝居をやってみよう	事前学習： 演習の準備をする 事後学習： 演習の反省をして、実習に向けての課題をもつ	1時間
15 言葉遊びをやってみよう	事前学習： 演習の準備をする 事後学習： 演習の反省をして、実習に向けての課題をもつ	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0044	保育内容：人間関係	巢立佳宏	後期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 子どもにとって人間関係の構築は、将来の社会性や対人関係の発展に大きな影響を与える。領域「人間関係」の指導の基盤となる、乳幼児期の人とかわる力の育ちに関する専門的な知識や考え方を身につける。乳幼児を取り巻く人間関係に関する現代的な課題を理解するとともに、人間関係の発達について、身近な大人、遊び、集団、地域領域の中で支える視点から学ぶ。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、保育の現場の中で具体的な指導について考えることができる。	レポート	40	5	保育の現場と関連づけながら課題や問題点等を考えることができる。			
				4	ある程度、保育の現場と関連づけながら課題や問題点等を考えることができる。			
				3	課題や問題点等を考えることができる。			
				2	課題や問題点等、共に一部は考えることができる。			
				1	課題や問題点等を考えることができない。			
専門的知識・ 技術	領域「人間関係」のねらいと内容を総合的に理解し、保育の現場の中で具体的な指導について考えることができる。	レポート	40	5	期末レポートにおいて、授業で学んだ内容を十分に反映できている。			
				4	期末レポートにおいて、授業で学んだ内容を反映できている。			
				3	期末レポートにおいて、授業で学んだ内容をある程度反映できている。			
				2	期末レポートにおいて、授業で学んだ内容の一部を反映できている。			
				1	期末レポートにおいて、授業で学んだ内容が反映されていない。			
コミュニケーション力	保育者として、子どもや保護者の関係発展に関わることができる。	受講態度	20	5	グループワークに対して積極的に取り組み、グループの意見も踏まえ、明確な問題意識を持って考えることができる。			
				4	グループワークに対して積極的に取り組み、グループの意見も踏まえ、問題意識を持って考えることができる。			
				3	グループワークに対して取り組むが、グループの意見も踏まえて考えることができない。			
				2	グループワークに対して積極的に参加できないまたは参加しようとする			
				1	グループワークに対して参加できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 『事例で学ぶ保育内容人間関係』無藤隆 編（萌文書林） 参考書： 「保育所保育指導解説書」、「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（いずれもフレーベル館）								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 リアクションペーパーなどを用いて授業に関するフィードバックを行う 保育士課程の必修科目 ・ 幼稚園教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 幼児教育の基本①	事前学習： 保育所保育士指針など参考書を読み込んでおく 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
2 幼児教育の基本②	事前学習： 幼児教育の目的、内容について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
3 乳幼児期の発達と領域「人間関係」	事前学習： 愛着の形成について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
4 子どもと保育者の関わり①	事前学習： 子どもの気持ちを受け止める方法について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
5 子どもと保育者の関わり②	事前学習： 子どもの自立、安全基地について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
6 遊びのなかの人との関わり①	事前学習： 遊びの役割について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
7 遊びのなかの人との関わり②	事前学習： 異年齢交流について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
8 生活を通して育つ人との関わり①	事前学習： きょうだい、祖父母との子どもの関わりについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
9 生活を通して育つ人との関わり②	事前学習： 生活の中で子どもが身に着けるべきマナーやルールについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
10 個と集団の育ち	事前学習： 子ども同士の友達関係の変容について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
11 グループワークを通じた理解（ごっこ遊び）①	事前学習： 子ども同士の集団での遊びについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
12 グループワークを通じた理解（ごっこ遊び）②	事前学習： 協同性について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
13 グループワークを通じた理解（発表会などを通して）	事前学習： 園での行事について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
14 人とのかかわりを見る視点	事前学習： 道徳性・規範意識について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
15 現代の保育の課題と領域「人間関係」	事前学習： これまでの授業全体を振り返る 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0045	保育内容：環境	馬場 千晶	前期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>保育所保育指針・幼稚園教育指導要領に記されている、領域「環境」のねらいと内容について理解を深める。図書館の子どもスペースや保育施設等の環境を観察し、環境の持つ意味や発達に応じた環境の工夫を学ぶ。また、身近な自然に触れる大切さや環境から引き出される遊びについて、フィールドワーク等の体験を通して学ぶ。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育所保育指針・幼稚園教育指導要領に記されている、領域「環境」のねらいと内容について理解することができる	受講態度	25	5	保育所保育指針・幼稚園教育指導要領の該当部分を、深く理解している			
				4	保育所保育指針・幼稚園教育指導要領の該当部分を、およそ理解している			
				3	保育所保育指針・幼稚園教育指導要領の該当部分を、まあまあ理解している			
				2	保育所保育指針・幼稚園教育指導要領の該当部分を、あまり理解していない			
				1	保育所保育指針・幼稚園教育指導要領の該当部分を、ほとんど理解していない			
思考力	自然・動植物をテーマとした調査活動で、自ら探求することができる	レポート	50	5	多くの情報を参照し自ら探求し、他者に良く伝わる記述ができる			
				4	自ら探求し、記述することができる			
				3	自ら探求し、記述することができる課題とできていない課題がある			
				2	自ら探求し、記述することができていない課題が多い			
				1	多くの課題で取り組みが乏しい			
向上心・責任感	環境構成図を適切に書くことができる	レポート	25	5	保育室等の環境を観察し、丁寧に分かりやすく事実即して書くことができる			
				4	保育室などの環境を観察し、分かりやすくおおよそ事実即して書くことができる			
				3	保育の環境への気づきが乏しいか丁寧に欠ける			
				2	保育の環境への気づきが乏しく、かつ丁寧に欠ける			
				1	意欲的に取り組むことができていない			
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 宮里暁美監修『子どもの「やりたい」が発揮される保育環境』（学研）</p> <p>参考書： 汐見稔幸監修『保育所保育指針ハンドブック』（学研） 鮫島良一・馬場千晶 著『かく・つくる・あそぶ こどものアートブック』（日本文教出版）『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレバール館）</p>								
【その他】								
<p>課題やレポートのフィードバックを授業の中で行う（特に必要な場合は個別のフィードバックを行う）。</p> <p>幼稚園教諭2種免許状・保育士課程・認定絵本士の必修科目</p>								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
保育内容：環境の授業のオリエンテーション 1 「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」における保育室の規定・実習希望園の保育環境を調べる	事前学習： シラバスに目を通す。 事後学習： 配布資料を読み直す	1時間
2 保育所保育指針・幼稚園教育要領 0～5歳の保育環境について	事前学習： 保育所保育指針・幼稚園教育要領に第2章に目を通す 事後学習： 配布資料を読み直す	1時間
3 動植物に触れる① 植物の栽培について調べ計画する	事前学習： 春に種まきする植物について調べる 事後学習： 保育所や幼稚園での栽培についてノートにまとめる	1時間
4 身近な自然に気づく① 自然現象に気づきフィールドビンゴを作成する	事前学習： フィールドワークに適した服装準備 事後学習： 見つけた自然現象をメモにとり整理する	1時間
5 子どもを取り巻く物的環境（自然科学の絵本） 【認定絵本士養成講座該当回】	事前学習： 図書館に行き、子どもの科学絵本を調べる 事後学習： 科学絵本の面白さなど、学修したことをノートにまとめる	1時間
6 身近な自然に気づく② キャンパス周辺の生態系調べ	事前学習： 教科書の該当箇所を予習する 事後学習： 自分が調べたことをまとめる	1時間
7 身近な自然に気づく③ フィールドマップを作る1	事前学習： 教科書の該当箇所を予習する 事後学習： 自分が調べたことをグループ内で持ち寄り共有する	1時間
8 身近な自然に気づく④ フィールドマップを作る2	事前学習： 教科書の該当箇所を予習する 事後学習： キャンパス内で発見したことをグループでマップにする	1時間
9 動植物に触れる② 身近な生き物の飼いを調べる	事前学習： 教科書の該当箇所を予習する 事後学習： 課題（身近な生き物の飼いや方）をまとめる	1時間
10 絵本のある空間 保育室・園環境・美術館など絵本のある空間を学ぶ	事前学習： 図書館に行き、子どもスペースの環境について調べる 事後学習： 図書館の環境についてまとめる	1時間
11 ルースパーツと可動遊具①屋外環境 園庭環境・砂場環境を考える	事前学習： 様々な施設の例を調べる 事後学習： 保育施設の環境についてまとめる	1時間
12 ルースパーツと可動遊具②屋内環境 室内や広い空間で活躍するルースパーツを考える	事前学習： 様々な施設の例を調べる 事後学習： 保育施設の環境についてまとめる	1時間
13 子どもを取り巻く児童文化財 子どもの発達とおもちゃを考える	事前学習： 教科書の該当箇所を予習する 事後学習： 授業で学んだことをノートにまとめる	1時間
14 海外の教育環境から学ぶ（イエナプラン、レッジョ・エミリア、ティファリキなど） 多様性を前提とした教育・地域社会と環境	事前学習： 教科書の該当箇所を予習する 事後学習： 授業で学んだことをノートにまとめる	1時間
15 保育環境の調査・授業のまとめ 環境構成図を書く	事前学習： 配布資料に目を通す 事後学習： 授業で学んだことをノートにまとめる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0046	保育内容：表現（音楽）	宇杉 美絵子	後期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 表現領域のねらいと内容を理解し、乳幼児の発達に応じた表現活動の可能性を理解する。 保育現場において、さまざまな他者とのかかわりがあることを理解して、表現力や社会力、受容力を身につける。 子どもの発達プロセスを理解し、手遊び・音遊びをはじめとした音楽表現の実践を通して、適切な指導法を知り、実践的指導力を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	子どもの発達や、表現領域について理解し、さまざまな遊びのねらいや可能性に基づいた指導力をつける	確認テスト	40	5	1回実施する確認テストにおいて、大変優れた回答をしている			
				4	1回実施する確認テストにおいて、優れた回答をしている			
				3	1回実施する確認テストにおいて、適切な回答をしている			
				2	1回実施する確認テストにおいて、回答があまり適切でない			
				1	1回実施する確認テストにおいて、回答がほとんどできていない			
コミュニケーション力	演習や発表での諸活動を、プロセスを通して積極的に行う	受講態度	30	5	演習に対して、大変意欲的に、他者と強調して取り組んでいる			
				4	演習に対して、意欲的に、他者と強調して取り組んでいる			
				3	演習に対して、適切に参加している			
				2	演習に対して、あまり意欲的に取り組んでいない			
				1	演習に対して、意欲的に取り組んでいない			
実践力	模擬授業や作品発表を通して、知識・技術を活用する能力が身につく	作品	30	5	発表の内容、態度ともに極めて優秀で、振り返る力・考察する力も大変優れている			
				4	発表の内容、態度ともに優秀で、振り返る力・考察する力も優れている			
				3	発表の内容、態度ともに適切である、振り返る力・考察する力も優れている			
				2	発表の内容、態度ともにあまり適切でなく、振り返りや考察もあまりできていない			
				1	発表の内容、態度ともに適切でなく、振り返りや考察もできていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 駒久美子・味府美香編著『コンパス音楽表現』（建帛社）、小林美実編著『こどものうた200』『続こどものうた200』（チャイルド本社） 参考書： 適宜配布								
【その他】 課題や発表についてのフィードバック、講評を行う。 幼稚園教諭2種免許状、保育士課程の必修科目。認定絵本士の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 領域「表現」とは	事前学習: 保育の5領域を知る 事後学習: 保育の5領域を理解する	1
2 音楽的表現とは	事前学習: 教科書の予習 事後学習: 保育におけるさまざまな音楽実践を事例から考察する	1
3 声でかかわる(発声、童謡の歌唱)	事前学習: 保育現場でのさまざまな発声について意識する 事後学習: 実践の復習	1
4 声でかかわる(発表)	事前学習: 発表準備 事後学習: 実践の復習	1
5 音あそび、音楽あそびと環境構成 (手遊び、わらべうた)	事前学習: 手遊び・わらべうたの調査 事後学習: 実践の復習	1
6 音あそび、音楽あそびと環境構成 (リトミック)	事前学習: 身体と音楽のかかわりについての調査 事後学習: 実践の復習	1
7 音あそび、音楽あそびと環境構成 (リズム)	事前学習: 音楽における「リズム」の重要性について考える 事後学習: 実践の復習	1
8 音あそび、音楽あそびと環境構成 (絵本の中からきこえてくる音探し)【認定絵本士養成講座該当回】	事前学習: 絵本の中で音がどのように描かれているかを調べる 事後学習: 実践の復習と活用の模索	1
9 再び、領域「表現」とは	事前学習: 第1回、第2回の復習 事後学習: 保育所保育指針、幼稚園教育要領についての理解を深化	1
10 保育指導法: 模擬保育と劇遊び①	事前学習: 実践的な指導法の調査 事後学習: 発表準備	1
11 保育指導法: 模擬保育と劇遊び②	事前学習: 題材探し 事後学習: 発表準備	1
12 保育指導法: 模擬保育と劇遊び③	事前学習: 発表準備 事後学習: 発表準備	1
13 保育指導法: 模擬保育と劇遊び④	事前学習: 発表準備 事後学習: 発表準備	1
14 保育指導法: 模擬保育と劇遊び⑤ 発表	事前学習: 発表準備 事後学習: 振り返り	1
15 確認テスト、振り返り	事前学習: 学修内容の復習 事後学習: 各演習や学修内容の振り返り	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0047	保育内容：表現（造形）	馬場 千晶	前期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
造形遊びや、様々な材料を用いた制作など、幼児に適した造形表現を実際に行い、幼児を対象に造形表現を行うときの配慮事項を学ぶ。領域「表現」、子どもの描画や表現の発達について講義を通し学ぶ。園生活に根付いた子ども本来の遊びを学び、造形的な視点を持って自ら体験し、豊かな保育の力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	基本的な造形表現技法を習得し、実践できる。	作品	50	5	作品がすべてそろっており、丁寧に仕上げられている。かつ、発想の面白さや工夫が感じられる。			
				4	作品がすべてそろっており、丁寧に仕上げられている。			
				3	作品7割以上が完成している。丁寧さや工夫に欠ける。			
				2	作品のおよそ半数が完成していない。丁寧さに欠ける			
				1	作品の多くが完成していない。作品が雑である。			
専門的知識・ 技術	幼児を対象として「つくる」「描く」活動を行う際の、保育者としての配慮(安全・環境等)を理解している。授業内容をファイル(配布プリントをファイリングしたもの)に分かりやすくまとめ、実習等で活用できる。	レポート	25	5	授業を通して学んだ配慮事項等を、ファイルに分かりやすく整理することができる。作品や資料等を適切に管理できている。			
				4	授業を通して学んだ配慮事項等が、ファイルにおおむねまとめられている。作品や資料等を適切に管理できている。			
				3	ファイルに上記の事項がまとめられているところとそうではないところがある。資料等が適切に管理されていないところがある。			
				2	ファイルに上記の事項がまとめられていないところが多くある。資料等が半数以上揃っていない。			
				1	ファイルに上記の事項がまとめられていない。また作品や資料の多くが揃っていない			
向上心・責任感	持ち物・服装(指示があったときのみ)等必要な準備をして授業に臨むことができる。授業活動へ集中し、グループ内で協力できる活動終了後は教室床の紙屑等を拾い、教室をきれいな状態に保つことができる	受講態度	25	5	必要な準備をして授業に臨むことができる。グループ内で積極的に協力して活動できる。教室の美化に率先して努める。			
				4	必要な準備をして授業に臨むことがほぼできる。グループ内で協力して活動できる。教室の美化に努める。			
				3	必要な準備をして授業に臨むことが半分ほどできる。グループにおいて協力にやや欠ける。教室の美化に努めていないところがある。			
				2	忘れ物が多い。グループにおいて協力に欠ける。活動で自らが出したごみや汚れの始末がほぼできていない。			
				1	準備、活動、片付けのいずれにおいても参加意欲に欠ける			
【教科書・参考書】								
教科書： 鮫島良一・馬場千晶 著 『かく・つくる・あそぶ こどものアートブック』 (日本文教出版)								
参考書： 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(フレバー館)								
【その他】								
作品やレポートのフィードバックを行う。								
幼稚園教諭2種免許状・保育士課程・認定絵本士の必修科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 領域「表現」のねらい及び内容 乳幼児の生活全体と関連した表現する姿を理解する	事前学習: シラバスに目を通す。幼稚園教育要領の領域「表現」を読んでおく。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
2 素材に触れる① 「紙」との楽しい出会いと展開 新聞紙あそび (P34-35)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
3 素材に触れる② 「クレヨン」との楽しい出会いと展開 クレヨンをあそぶ・かざぐるま作り (P129)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
4 素材に触れる③ 「絵の具」との楽しい出会いと展開 絵の具でぬりたくり (P54-55)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
5 道具に出会う① 「はさみ」との楽しい出会いと展開 はじめてのはさみ (P38-39)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
6 素材に触れる④ 「粘土」との楽しい出会いと展開 小麦粉粘土 (P36-37)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
7 道具に出会う② 「ホチキス」との楽しい出会いと展開 ホチキスで紙立体 (P70-73)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
8 道具に出会う③ 「技法遊び」との楽しい出会いと展開 様々な技法を使った造形表現 (P96-97)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、制作物・学習内容を整理する。	1時間
9 道具に出会う④ 「のり」との楽しい出会いと展開 コラージュで絵本【認定絵本士養成講座該当回】	事前学習: エリック・カール、レオ・レオニ、柳原良平等の絵本を鑑賞しておく。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、学習内容を整理する。	1時間
10 乳幼児の工作考① きっかけや見立てを工夫した4歳児の工作 (P84-85)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、制作物・学習内容を整理する。	1時間
11 乳幼児の工作考② 構造や仕組みを意識した5歳児の工作 (P130-133)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、制作物・学習内容を整理する。	1時間
12 表現をあそぶ① 「立体工作」とその展開 カメラ作り (P118-119)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す・リサイクル素材を集めておく。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、制作物・学習内容を整理する。	1時間
13 表現をあそぶ② 自分で作ったものであそぶ体験 カメラで撮影する (P120)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 身の回りのものを撮影し、撮影した「写真」を整理する。	1時間
14 表現をあそぶ③ 自分なりに表現を楽しむ 撮影した写真を元に制作する (P121)	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 配布プリントをファイリングし、作品鑑賞のレポート作成。	1時間
15 表現を遊ぶ④ 授業のまとめ 作品発表・授業のふりかえり	事前学習: 教科書の該当箇所に目を通す。 事後学習: 作品鑑賞レポートと全授業の振り返りをまとめてファイルを提出。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0053	教職実践演習(幼稚園)	片桐 恵子	後期	選択	演習	2	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 将来の保育士・幼稚園教諭の資格・免許の取得を志す学生を対象とする。教育・保育に携わる心構えや技能を修得していく。これまでの実習を省察し、保育士・幼稚園教諭としての自覚を高め、実践する力を養う。制作や発表の準備、模擬授業の準備等、時間外の学習が多く要求される。また他学生に対しての評価を誠実にを行うとともに、他学生からの評価を真摯に受け止め、更なる改善を目指す姿勢が強く求められる。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・要領を総合的に理解できる	受講態度	30	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容を理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
コミュニケーション力	他者の考えを受け止めて自分なりに省察できる	受講態度	20	5	他者の評価を客観的に受け止め、自らの見解を的確に述べられる。			
				4	自らの見解を的確に述べられる。			
				3	他者の評価を客観的に受け止められる。			
				2	他者の評価を客観的に受け止められない。			
				1	自らの見解が述べられない。			
コミュニケーション力	保育構想を立てて、他者に伝えることができる	受講態度	30	5	年齢・発達を十分に理解した保育構想ができ、適切な指導案を作れる。			
				4	年齢・発達をそれなりに理解した保育構想ができ、適切な指導案を作れる。			
				3	年齢・発達の理解が足りないが形式の整った指導案を作れる。			
				2	年齢・発達をそれなりに理解しているが、十分な指導案を作れない。			
				1	年齢・発達の理解が足りず、十分な指導案が作れない。			
実践力	保育活動についての的確な援助ができる	レポート	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容を理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】 課題やレポート等のフィードバックを行う。 保育士課程、幼稚園教諭2種免許状の必須科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 幼稚園実習を振り返る	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 他学生の報告を踏まえ、自らの実習のを省察する	4時間
2 指導力を高める	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む	4時間
3 保育環境を考える	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む	4時間
4 紙皿シアター制作	事前学習： 紙皿シアター制作の準備をする 事後学習： 作品を完成させる	4時間
5 うちわシアター制作	事前学習： 手袋シアター制作の準備をする 事後学習： 作品を完成させる	4時間
6 手袋シアター制作	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 振り返りの記録	4時間
7 保育実践①	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 振り返りの記録	4時間
8 保育実践②	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 振り返りの記録	4時間
9 保育実践③	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 振り返りの記録	4時間
10 グループ討議	事前学習： 第7回～9回の記録を確認する 事後学習： 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む	4時間
11 適切な環境① ゲストスピーカー	事前学習： 活動のねらいを明らかにしておく 事後学習： 本時の学習内容を理解する	4時間
12 適切な環境② ゲストスピーカー	事前学習： 保育活動の流れを明らかにしておく 事後学習： 学期末レポートの準備を行う	4時間
13 適切な環境③	事前学習： 保育現場で気になる子どもの対応について整理しておく 事後学習： 本時の学習内容を理解する	4時間
14 適切な環境④	事前学習： 「寄り添う」「向き合う」という言葉について整理しておく 事後学習： 本時の学習内容を理解する	4時間
15 まとめ	事前学習： これまでの学習を振り返り、整理しておく 事後学習： 学期末レポートに取り組む	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0054	幼稚園実習指導	片桐 恵子	集中	選択	演習	1	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
幼稚園で行う教育実習は、大学において習得した知識・技術を総合的に実践する力の育成を目的としている。本授業では、昨年度の実習の反省・評価を基に自己課題を明確化し、2年間の実習に向けて意欲を高めていくものである。また、保育の組み立て方や反省の仕方、指導案及び日誌の作成、教材研究など、幼稚園教諭として必要な知識・技術について学び、実習への準備を自ら考え進めていく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	幼稚園教育要領を理解し、総合的に子どもの日々の活動を捉え、指導計画を立てることができる	レポート	60	5	子どもの実態や様々な問題を想定して指導計画を立てることができる。			
				4	子どもの実態を想定して指導計画を立てることができる。			
				3	実習に向けて指導計画を立てることができる。			
				2	教育内容は理解しているが、指導計画を完成することができない。			
				1	指導計画を立てることができない。			
思考力	保育を構想し指導案を構築することができる	確認テスト	20	5	多面的に保育の要素を構想した指導案を構築し、分かりやすく説明できる。			
				4	多面的に保育の要素を構想した指導案を構築し、説明できる。			
				3	保育に必要な要素を構想した指導案を構築し、説明できる。			
				2	保育の要素を構想した指導案を構築できるが説明できない。			
				1	指導案について保育に必要な要素を構想できない。			
コミュニケーション力	1年次の学びを基に幼稚園での教育活動に必要な知識・技術を身に付け、協体制を考えながら問題解決しようとする	受講態度	20	5	積極的にコミュニケーションを取り、子どもの様子を判断しながら、部分実習ができる。			
				4	コミュニケーションを取り、子どもの様子を判断しながら、部分実習ができる。			
				3	コミュニケーションを取り、部分実習ができる。			
				2	コミュニケーションが消極的で、部分実習では指示が伝わらない。			
				1	コミュニケーションを取ることができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 田中享胤（監修）・山本淳子（編）『実習の記録と指導案』（ひかりのくに）、実習の手引き、適宜レジュメ、資料配布								
参考書： 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館）、実習日誌								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う。								
幼稚園教諭2種免許状、認定給本土の必須科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 実習の意義と目的 (1年)	事前学習： 1実習に向けて手引きを読み持参する 事後学習： 実習に向けて意義を理解し、課題をまとめる	4時間
2 幼稚園で使用する保育教材を制作する① (1年)	事前学習： 保育教材を作成する準備をする 事後学習： 保育教材の使い方をまとめる	4時間
3 幼稚園で使用する保育教材を制作する② (1年)	事前学習： 保育教材を作成する準備をする 事後学習： 保育教材の使い方をまとめる	4時間
4 幼稚園の1日の流れ 保育を学ぶ (1年)	事前学習： 幼児理解について調べたことをまとめる 事後学習： 学んだ保育についてまとめる	4時間
5 実習に向けて 教育実習生の保育 (1年)	事前学習： 実習生と子どもとのかかわりをまとめる 事後学習： 実習生としての子どもとのかかわりをまとめる	4時間
6 エピソードや考察を深める実習日誌の書き方について 保育用語の確認 (1年)	事前学習： 保育基礎演習で学んだことをまとめておく 事後学習： 1年次の実習の自己課題をまとめる	4時間
7 1年次の実習 事後指導 (1年)	事前学習： 実習をふりかえり、次の実習への課題をまとめる 事後学習： 2年次の実習の自己課題をまとめる	4時間
8 教材研究① 物語の絵本 【認定絵本土養成講座該当科目】 (1年)	事前学習： 授業における学びをもとに教材研究のプランを練っておく 事後学習： 教材研究の具体的方法についてノートに整理する	4時間
9 教材研究② 昔話の絵本 【認定絵本土養成講座該当科目】 (1年)	事前学習： 授業における学びをもとに教材研究のプランを練っておく 事後学習： 教材研究の具体的方法についてノートに整理する	4時間
10 教材研究③ (1年) 手遊び、パネルシアター、エプロンシアター	事前学習： 授業における学びをもとに教材研究のプランを練っておく 事後学習： 教材研究の具体的方法についてノートに整理する	4時間
11 実習指導案の作成① 実態の捉え方やねらいと内容 (2年)	事前学習： 活動内容を考えておく 事後学習： 授業時に作成した指導案の続きを仕上げておく	4時間
12 実習指導案の作成② 援助と留意事項 幼稚園での演習①(部分実習) (2年)	事前学習： 実施する部分実習での役割を確認し、教材を完成させる 事後学習： 授業時に作成した指導案の続きを仕上げておく	4時間
13 実習指導案の作成③ 幼児理解に基づいた評価と反省	事前学習： 指導計画を見直し、グループで指導計画の流れを確認する 事後学習： 授業時に作成した指導案の続きを仕上げ、提出する	4時間
14 幼稚園での部分実習の実際 グループ発表 (2年)	事前学習： 作成した資料から自己課題を見出す 事後学習： 自己課題を整理し、「私の実習課題」を整理する	4時間
15 実習指導案の見直しと実習に向けた課題のまとめ (2年)	事前学習： 実施した部分実習の反省と課題をまとめる 事後学習： 実習に向けて (まとめ)	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0055	幼稚園実習	片桐 恵子	集中	選択	実習	-4	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
短大における理論学習を踏まえて、幼稚園長・教諭の指導を受けながら、「部分実習」「全日実習」を行い、実践力を身に付ける。環境構成や幼児理解、教材研究、教師の役割や援助などを実践的に学び、幼稚園教諭としての職務を実践的に学ぶ。また、保護者への対応や幼稚園における子育ての支援などについても知る。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	実習生として適切な態度で実習に取り組む	レポート	30	5	実習時の様子を適切にまとめ、学んだことが分かりやすく説明できる。			
				4	実習時の様子をまとめ、学んだことが分かりやすく説明できる。			
				3	実習時の様子や学んだことをまとめ、説明することができる。			
				2	実習時の様子や学んだことをまとめることはできるが、説明ができない。			
				1	実習時の様子や学んだことをまとめることができない。			
専門的知識・技術	幼稚園における保育の流れと教師の役割について理解する	レポート	30	5	実習日誌が、保育の流れや教師の援助が充分であり、考察が適切である。			
				4	実習日誌が、保育の流れや教師の援助が記載され、考察が適切である。			
				3	実習日誌が、保育の流れや教師の援助、考察の記載があった。			
				2	実習日誌が、保育の流れや教師の援助、考察などの、記載が一部しかない。			
				1	実習日誌が、保育の流れや教師の援助、考察の記載がない。			
実践力	積極的に保育に参加する。	受講態度	40	5	実習園の所見に基づき、自らの課題を複数把握することができる。			
				4	実習園の所見に基づき、自らの課題を把握することができる。			
				3	実習園の所見に基づき、課題を把握することができる。			
				2	実習園の所見の説明を受けないと、課題を把握することができない。			
				1	実習園の所見が理解できず、課題を把握することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 実習の手引き								
参考書： 実習日誌								
【その他】								
課題やレポート等のフィードバックを行う。								
幼稚園教諭2種免許状の必須科目。1年次実習と2年次実習を含めて4単位とする。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 実習オリエンテーション 実習概要、事前準備について	事前学習： 事前に実習園にあいさつをする 事後学習： 実習の手引きを読み、実習の概要を理解する	6時間
2 幼稚園実習（期間3週間） (1) 実習園におけるオリエンテーション	事前学習： 実習園に連絡し、オリエンテーションの日程を決める 事後学習： オリエンテーションの記録を作成する	6時間
(2) 参加実習：保育に参加しながら、 園生活や教師の援助について学ぶ	事前学習： 実習計画を作成し、日々のねらいを明確にして保育に参加する 事後学習： オリエンテーションの記録を作成する	6時間
(3) 部分実習：指導案を作成し、部分実習を行う	事前学習： 指導案を作成し、教材準備を行い、事前に指導を受ける 事後学習： 保育日誌を作成し、実習園に提出する	6時間
(4) 全日実習：指導案を立案し、担任に代わり 責任をもって1日の保育を行う	事前学習： 参加実習にあたり、自己のねらいを明らかにし、日誌に記入する 事後学習： 保育日誌を作成し、実習園に提出する	6時間
実習のまとめ	事前学習： 実習終了日には、すべての日誌を園に提出して指導を受ける 事後学習： 実習園から日誌が返却されたら、日誌とレポートを学校に提出する	6時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0056	保育実習指導Ⅰ（施設）	篠沢 薫 巢立 佳宏	集中	選択	演習	(2)	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
保育実習Ⅰ（施設）に向けて、実習先施設の概要、実習の計画・実践、記録、評価方法・内容等について理解し、自分自身の実習の課題を明確にする。また、実習先施設の利用児（者）への援助に関する基本的な知識と技術を習得する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎ス キル	社会人として求められる保育 現場に不可欠な基本的スキル と態度を身につける	受講態度	30	5	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが、非常によくできる。			
				4	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが、よくできる。			
				3	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることができる。			
				2	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが部分的にできる。			
				1	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図るように努めている。			
		レポート	10	5	各種提出書類について、期限内に提出することが非常によくできる。			
				4	各種提出書類について、期限内に提出することがよくできる。			
				3	各種提出書類について、期限内に提出することができる。			
				2	各種提出書類について、期限内に提出することが部分的にできる。			
				1	各種提出書類について、期限内に提出するように努めている。			
専門的知識・ 技術	福祉施設の種類や概要、施設 利用児（者）の特徴や支援の 内容を習得する。	受講態度	30	5	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントが非常によく含まれている。			
				4	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントがよく含まれている。			
				3	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントが含まれている。			
				2	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントが部分的に含まれている。			
				1	報告会に参加している。			
向上心・責任 感	施設保育者に求められる基本 的な理解や態度をもって、実 習先施設の職員と協働し、利 用児（者）を支援することが できる。	レポート	30	5	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿って非常によくまとめている。			
				4	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿ってよくまとめている。			
				3	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿ってまとめている。			
				2	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿って部分的にまとめている。			
				1	施設実習で得られた成果と課題をまとめている。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 山崎喜代子・古野愛子著「保育実習ガイドブック」（ミネルヴァ書房）、適宜資料を配布する。								
参考書： 適宜資料を配布する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
課題やレポートのフィードバックを行う。								
保育士課程の必修科目。保育実習指導Ⅰ（保育所）と合わせて2単位取得。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 施設実習の概要① (1年前期)	事前学習： シラバスの内容を確認して授業に参加する。 事後学習： 自分が希望する実習施設について考える。	1時間
2 施設実習の概要② 実習希望先の決定手続き (1年前期)	事前学習： 報告会で聞いた内容を自分なりに整理し、まとめる。 事後学習： 希望する施設での実習に向けて、手続きを開始する。	1時間
3 保育実習Ⅰ（施設） 2年生の報告会への参加① (1年前期)	事前学習： 聞きたい内容をまとめ、報告会に参加する。 事後学習： 報告会で聞いた内容を自分なりに整理し、まとめる。	1時間
4 保育実習Ⅰ（施設） 2年生の報告会への参加② (1年前期)	事前学習： 聞きたい内容をまとめ、報告会に参加する。 事後学習： 報告会で聞いた内容を自分なりに整理し、まとめる。	1時間
5 実習直前指導③ 実習に際しての留意事項 (1年後期) 実習の留意点、障害者支援施設の様子	事前学習： 施設実習に向けた準備事項を整理する。 事後学習： 施設実習に向けた準備を万全にする。	1時間
6 実習直前指導④ 施設実習の段階的な学び (1年後期) 実習生の心構え、児童養護施設の様子	事前学習： 施設実習に向けた準備事項を整理する。 事後学習： 施設実習に向けた準備を万全にする。	1時間
7 実習施設の決定と今後の具体的な進め方 (1年後期) 施設の概要理解、実習先を調べる	事前学習： 保育士が福祉施設で実習する意味を考える。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたことを整理する。	1時間
8 実習の内容と課題の明確化 (1年後期) 課題の明確化、自己課題の作成	事前学習： 自分の実習先施設の概要、支援内容を調べる。 事後学習： 調べた内容を踏まえた自己課題と対策を検討する。	1時間
9 実習直前指導② 実習の計画と記録 (2年前期)利用者理解、日誌とエピソード記録の書き方	事前学習： 施設実習に向けた準備事項を整理する。 事後学習： 施設実習に向けた準備を万全にする。	1時間
10 福祉施設における保育士の役割① (2年前期) 事前評価、具体的な関わり方を学ぶ演習	事前学習： 福祉施設の保育士の仕事を自分なりにイメージする。 事後学習： 調べた内容を踏まえた自己課題と対策を検討する。	1時間
11 福祉施設における保育士の役割② (2年前期) ゲストスピーカー（障害系施設職員）	事前学習： 福祉施設の保育士の仕事を自分なりにイメージする。 事後学習： 調べた内容を踏まえた自己課題と対策を検討する。	1時間
12 実習後指導① 実習の振り返りと課題の明確化 (2年前期)振り返りと共有・自己評価入力・報告会の概要	事前学習： 施設実習で得られた成果や課題を振り返る。 事後学習： テーマに沿って各自調べ学習を行う。	1時間
13 実習後指導② 報告会準備 (2年前期) 報告会資料の作成	事前学習： 施設実習で得られた成果や課題、調べ学習のまとめ方を検討する。 事後学習： グループごとに発表準備を行う。	1時間
14 実習後指導③ 実習報告会① 全体報告 (2年前期)	事前学習： 具体的な発表方法を検討する。 事後学習： 他の実習生の成果や課題を共有し、保育者としての自己課題と対策を検討する。	1時間
15 実習後指導③ 実習報告会② 個別報告 (2年前期)	事前学習： 実習を通して新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。 事後学習： 次の実習に向けた準備を行う。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0056	保育実習指導Ⅰ（施設）	篠沢 薫 梶立 佳宏	集中	選択	演習	(2)	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
保育実習Ⅰ（施設）に向けて、実習先施設の概要、実習の計画・実践、記録、評価方法・内容等について理解し、自分自身の実習の課題を明確にする。また、実習先施設の利用児（者）への援助に関する基本的な知識と技術を習得する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価		評価観点		
社会人基礎ス キル	社会人として求められる保育 現場に不可欠な基本的スキル と態度を身につける	受講態度	30	5	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが、非常によくできる。			
				4	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが、よくできる。			
				3	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることができる。			
				2	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが部分的にできる。			
				1	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図るように努めている。			
		レポート	10	5	各種提出書類について、期限内に提出することが非常によくできる。			
				4	各種提出書類について、期限内に提出することがよくできる。			
				3	各種提出書類について、期限内に提出することができる。			
				2	各種提出書類について、期限内に提出することが部分的にできる。			
				1	各種提出書類について、期限内に提出するように努めている。			
専門的知識・ 技術	福祉施設の種類や概要、施設 利用児（者）の特徴や支援の 内容を習得する。	受講態度	30	5	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントが非常によく含まれている。			
				4	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントがよく含まれている。			
				3	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントが含まれている。			
				2	報告会の発表内容に、指定された評価のポイントが部分的に含まれている。			
				1	報告会に参加している。			
向上心・責任 感	施設保育者に求められる基本 的な理解や態度をもって、実 習先施設の職員と協働し、利 用児（者）を支援することが できる。	レポート	30	5	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿って非常によくまとめている。			
				4	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿ってよくまとめている。			
				3	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿ってまとめている。			
				2	施設実習で得られた成果と課題を指定された評価のポイントに沿って部分的にまとめている。			
				1	施設実習で得られた成果と課題をまとめている。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 山崎喜代子・古野愛子著「保育実習ガイドブック」（ミネルヴァ書房）、適宜資料を配布する。								
参考書： 適宜資料を配布する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
課題やレポートのフィードバックを行う。								
保育士課程の必修科目。保育実習指導Ⅰ（保育所）と合わせて2単位取得。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 施設実習の概要① (1年前期)	事前学習： シラバスの内容を確認して授業に参加する。 事後学習： 自分が希望する実習施設について考える。	1時間
2 施設実習の概要② 実習希望先の決定手続き (1年前期)	事前学習： 報告会で聞いた内容を自分なりに整理し、まとめる。 事後学習： 希望する施設での実習に向けて、手続きを開始する。	1時間
3 保育実習Ⅰ（施設） 2年生の報告会への参加① (1年前期)	事前学習： 聞きたい内容をまとめ、報告会に参加する。 事後学習： 報告会で聞いた内容を自分なりに整理し、まとめる。	1時間
4 保育実習Ⅰ（施設） 2年生の報告会への参加② (1年前期)	事前学習： 聞きたい内容をまとめ、報告会に参加する。 事後学習： 報告会で聞いた内容を自分なりに整理し、まとめる。	1時間
5 実習直前指導③ 実習に際しての留意事項 (1年後期) 実習の留意点、障害者支援施設の様子	事前学習： 施設実習に向けた準備事項を整理する。 事後学習： 施設実習に向けた準備を万全にする。	1時間
6 実習直前指導④ 施設実習の段階的な学び (1年後期) 実習生の心構え、児童養護施設の様子	事前学習： 施設実習に向けた準備事項を整理する。 事後学習： 施設実習に向けた準備を万全にする。	1時間
7 実習施設の決定と今後の具体的な進め方 (1年後期) 施設の概要理解、実習先を調べる	事前学習： 保育士が福祉施設で実習する意味を考える。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたことを整理する。	1時間
8 実習の内容と課題の明確化 (1年後期) 課題の明確化、自己課題の作成	事前学習： 自分の実習先施設の概要、支援内容を調べる。 事後学習： 調べた内容を踏まえた自己課題と対策を検討する。	1時間
9 実習直前指導② 実習の計画と記録 (2年前期)利用者理解、日誌とエピソード記録の書き方	事前学習： 施設実習に向けた準備事項を整理する。 事後学習： 施設実習に向けた準備を万全にする。	1時間
10 福祉施設における保育士の役割① (2年前期) 事前評価、具体的な関わり方を学ぶ演習	事前学習： 福祉施設の保育士の仕事を自分なりにイメージする。 事後学習： 調べた内容を踏まえた自己課題と対策を検討する。	1時間
11 福祉施設における保育士の役割② (2年前期) ゲストスピーカー（障害系施設職員）	事前学習： 福祉施設の保育士の仕事を自分なりにイメージする。 事後学習： 調べた内容を踏まえた自己課題と対策を検討する。	1時間
12 実習後指導① 実習の振り返りと課題の明確化 (2年前期)振り返りと共有・自己評価入力・報告会の概要	事前学習： 施設実習で得られた成果や課題を振り返る。 事後学習： テーマに沿って各自調べ学習を行う。	1時間
13 実習後指導② 報告会準備 (2年前期) 報告会資料の作成	事前学習： 施設実習で得られた成果や課題、調べ学習のまとめ方を検討する。 事後学習： グループごとに発表準備を行う。	1時間
14 実習後指導③ 実習報告会① 全体報告 (2年前期)	事前学習： 具体的な発表方法を検討する。 事後学習： 他の実習生の成果や課題を共有し、保育者としての自己課題と対策を検討する。	1時間
15 実習後指導③ 実習報告会② 個別報告 (2年前期)	事前学習： 実習を通して新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。 事後学習： 次の実習に向けた準備を行う。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0056	保育実習指導Ⅰ（保育所）	本蔵 達矢・ 馬場 千晶	集中	選択	演習	(2)	○	4
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>保育所における実習の目的と具体的な実習内容について理解する。実習日誌及び部分実習の指導案の書き方を身につける。子どもの発達を理解し、発達過程に応じた簡単な遊びを紹介することができる。実習における手続きを行う。実習を行うにあたっての心構えやマナー、個人情報保護について理解する。実習後は、実習体験を通しての学びを整理する。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	実習に必要な書類が適切に作成できる。計画的に書類を作成し、締め切りを守って提出できる。	レポート	30	5	丁寧で適切な内容の書類（その他の提出物）を、すべて期日を守って提出ができる。			
				4	丁寧でおおむね適切な内容の書類（その他の提出物）を、すべて期日を守って提出ができる。			
				3	提出物は期日までにすべてそろっているが、内容に不足がある、または丁寧さに欠ける。			
				2	提出物が期日までにそろわなかったものがあり、かつ内容に不足がある、または丁寧さに欠ける。			
				1	事前に連絡なく提出物が提出されない。または、提出物の内容が不適切。			
専門的知識・技術	実習に向けた活動の準備ができています	受講態度	30	5	よく準備をして実践に臨んでいる。対象年齢を意識し表現の工夫が感じられる。			
				4	準備をして実践している。対象年齢を意識し工夫が感じられる。			
				3	やや準備不足で実践している。対象年齢を意識している。			
				2	準備不足で実践している。対象年齢への意識が不十分。			
				1	実践に対する意欲がみられない。			
向上心・責任感	実習を振り返り、実習後の報告レポートを適切に提出できる	レポート	40	5	実習を振り返り深く省察している。次の保育実習Ⅱに向けての課題が明確になっている。			
				4	実習を振り返り深く省察している。次の保育実習Ⅱに向けての課題が明確になっている。			
				3	実習の振り返りがやや浅い。次の保育実習Ⅱに向けての課題がやや不明確。			
				2	実習の振り返りができていない。次の保育実習Ⅱに向けての課題がやや不明確。			
				1	実習を否定的にとらえており、意欲がない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： 小櫃智子他『幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』（わかば社）、『実習の手引き』</p> <p>参考書： 『保育所保育指針解説』（フレーベル館）、幼少年教育研究所編『遊びの指導』（同文書院）</p>								
<p>【その他】</p> <p>課題へのフィードバックを行う。</p> <p>保育士課程の必修科目</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 【4月初旬】保育所実習Ⅰ（保育所）の流れと意義【本蔵】 保育所への電話のかけ方	事前学習： シラバスに目を通す 事後学習： 授業内容、実習までのスケジュールを確認する	1時間
2 【6月頃】保育実習Ⅰ（保育所） 回答書を配付【本蔵】 実習施設の確認	事前学習： テキストの該当ページを読んでおく 事後学習： 回答書を確認する	1時間
3 【7月下旬】保育所とは何か【本蔵】	事前学習： 実習の手引きを読んでおく 事後学習： テキストの該当ページを復習する	1時間
4 後期の授業の流れの確認（日誌配付）【本蔵】 保育実習の目的の確認、個人票や自己課題の書き方、誓約書の意味	事前学習： 実習の手引きを読んでおく 事後学習： 個人票・自己課題・誓約書を書く	1時間
5 日誌の全体的な書き方（流れの練習を含む）【本蔵】	事前学習： 自己課題を書く 事後学習： 日誌の書き方を整理する	1時間
6 実習園へのオリエンテーションの電話 オリエンテーションに向けての諸注意と確認事項【本蔵】	事前学習： 回答書を確認する 事後学習： オリエンテーションの電話をする	1時間
7 乳幼児向けの絵本と紙芝居【本蔵】	事前学習： 乳幼児向けの絵本を調べる 事後学習： 子どもと読みたい絵本を選ぶ	1時間
8 乳幼児期の発達の様子①【馬場】 造形的特徴について	事前学習： テキストの該当ページを読んでおく 事後学習： 乳幼児期の造形についてノートにまとめる	1時間
9 乳幼児期の発達の様子②【馬場】 表現欲求について	事前学習： テキストの該当ページを読んでおく 事後学習： 表現欲求について考えをノートにまとめる	1時間
10 指導案の書き方を理解する（2年生との交流に向けて）【本蔵】 用意した活動を指導案に記入	事前学習： テキストの該当ページを読んでおく 事後学習： 指導案を見直す	1時間
11 2年生との交流【実習報告会】【馬場】 2年生の保育実習報告会を聞く・質問する	事前学習： 質問を考える 事後学習： 2年生からの学びを記録する	1時間
12 2年生との交流【実習報告会】【馬場】	事前学習： 手遊び・絵本準備 事後学習： フィードバックに基づき指導案を見直す	1時間
13 実習直前指導（持ち物・服装・身だしなみ・個人情報）【本蔵・馬場】 お礼状の書き方	事前学習： 実習に行くに当たり不備がないか、再度確認する 事後学習： 実習後に行うことを確認する	1時間
14 【実習後】実習の振り返り①【馬場】 保育所の環境や子どもの姿、実習課題の達成状況の振り返り	事前学習： 実習での学び・反省・疑問・課題の達成状況について整理する 事後学習： グループディスカッションの内容を整理する	1時間
15 【実習後】実習の振り返り②（発表）【馬場】	事前学習： グループディスカッションの内容をまとめ、発表の準備をする 事後学習： 自分達の発表を振り返り、他者の発表からの学びを整理する	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0057	保育実習指導Ⅱ	本蔵 達矢・ 馬場 千晶	後期	選択	演習	1	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
保育実習Ⅰでの学びを踏まえ、保育の理論と実践の関係を理解する。事前指導では、実習の目的を理解し、指導計画の立て方を身につける。事後指導では、実習の総括と自己評価を行い今の課題を明確にするとともに、自分の学びを1年生に具体的に伝え、保育士として必要なコミュニケーションスキルを身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	保育実習Ⅰの振り返りを踏まえた実習課題を立てることができる 責任実習に向けて、実習施設の状況を踏まえて具体的な立案をすることができる	レポート	40	5	実習経験を生かし、具体的で明確な実習課題と指導案を記すことができる			
				4	実習経験を生かし、おおむね具体的で明確な実習課題と指導案を記すことができる			
				3	実習経験があまり生かされておらず、課題や指導案の内容が明確ではない部分がある			
				2	実習経験が生かされておらず、課題や指導案の内容が抽象的である。			
				1	実習経験が生かされておらず、課題や指導案の内容が抽象的かつ不十分である			
コミュニケーション力	保育実習で学んだ事項と課題を伝え合い、他者の体験から学ぶことができる	レポート	30	5	グループワークでの話し合いをもとに、テーマに沿って充実した内容の記述ができる			
				4	グループワークでの話し合いをもとに、テーマに沿った内容の記述ができる			
				3	グループワークでの話し合いをもとに記述ができるが、内容が不十分なところがある			
				2	グループワークでの話し合いをもとに記述ができず、内容が不十分なところがある			
				1	他者の体験から何も学べていない様子がみられる			
実践力	実習報告会と責任実習発表で他者に実習での体験や学びが伝わるよう発表できる	受講態度	30	5	他者に実習での体験や学びが伝わるよう具体的で質の高い発表ができる			
				4	他者に実習での体験や学びが伝わるよう具体的な発表ができる			
				3	他者に実習での体験や学びがままあ伝わる発表ができる			
				2	発表への姿勢が消極的である			
				1	発表に非協力的である			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 小櫃智子他『幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』（わかば社）、『実習の手引き』								
参考書： 『保育所保育指針』（フレーベル館）、幼少年教育研究所編『遊びの指導』（同文書院）								
【その他】								
課題へのフィードバックを行う。								
保育士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 保育実習Ⅱの意義・目的と内容の理解 実習オリエンテーション・実習課題について	事前学習： 保育実習Ⅰを振り返る 事後学習： 保育実習Ⅱの意義・目的と内容を確認する	1時間
2 保育士資格について	事前学習： テキストで予習する 事後学習： 保育士登録の申請書を完成させる	1時間
3 実習の心構え	事前学習： テキストで予習する 事後学習： 実習課題を作成する	1時間
4 責任実習指導案の書き方	事前学習： 指導案の書き方を確認する 事後学習： 日誌の内容について確認する	1時間
5 0・1・2歳児を中心とした活動 乳児期の遊びについて	事前学習： テキストで予習する 事後学習： 0・1・2歳児の遊びの特徴をノートにまとめる	1時間
6 実習直前指導 持ち物・守秘義務・実習中の計画などを見直す	事前学習： 実習の手引きを熟読する 事後学習： 実習にむけて持ちものを準備する	1時間
7 【実習後】実習の自己評価と振り返り	事前学習： 実習日誌をまとめる 事後学習： 実習日誌を見て個別に振り返る	1時間
8 実習の振り返り グループ内で体験を分かち合う。発表する対象年齢を決める	事前学習： 実習した年齢別にグループを作る準備をする 事後学習： 発表するテーマを考える	1時間
9 実習報告会準備①（並行して施設評価に基づく個別指導） 年齢別にテーマに沿って内容を深める	事前学習： 体験した事例について整理する 事後学習： 自分の分担箇所をまとめる	1時間
10 実習報告会準備②（並行して施設評価に基づく個別指導） 責任実習の具体例を提示できるようにする	事前学習： 責任実習で作ったものなど、展示するものを用意する 事後学習： 自分の分担箇所をまとめる	1時間
11 実習報告会準備③（並行して施設評価に基づく個別指導） 実習内容が相手に伝わるように発表内容を工夫する	事前学習： 報告会に向けて資料を用意・発表の手順を整理する 事後学習： 分担部分を仕上げる	1時間
12 実習報告会リハーサル	事前学習： 発表内容を整理する 事後学習： 実習報告会に向け発表内容の修正を行う	1時間
13 実習報告会①1年生を対象に発表する 分かりやすく、活動と実習内の説明をする。簡単な実演発表も交える	事前学習： 報告会に向けて資料を用意・発表の練習をする 事後学習： 1年生が安心して質問できる工夫をしたかなど、自らの発表を振り返る	1時間
14 実習報告会②部分実習体験 1年生の絵本の部分実習を見てアドバイスする。2年生もお手本を示す。	事前学習： 部分実習の発表の準備をする 事後学習： 他の学生の発表を聞き、自らの実践を振り返る	1時間
15 保育士になるにあたって こどものエピソードについて	事前学習： 日誌の内容を振り返る 事後学習： こどものエピソードについてレポートにまとめる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0058	保育実習 I	篠沢 薫 梶立 佳宏	集中	選択	実習	(4)	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 これまでに習得してきた教科全体の知識・技能を総合的に実践するための応用力を身につける。施設利用児（者）への支援や施設職員との協働に関し、保育の理論と実践との関連を実習を通じて体験的に習得することをねらいとする。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人として求められる保育現場に不可欠な基本的スキルと態度を身につける。	受講態度	30	5	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが、非常によくできる。			
				4	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い自発的に問題の予防・解決を図ることが、よくできる。			
				3	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることができる。			
				2	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図ることが概ねできる。			
				1	施設実習を受けるにあたって、関係者への報告・連絡・相談等を円滑に行い、自発的に問題の予防・解決を図るように努めている。			
		レポート	10	5	各種提出書類について、期限内に提出することが非常によくできる。			
				4	各種提出書類について、期限内に提出することがよくできる。			
				3	各種提出書類について、期限内に提出することができる。			
				2	各種提出書類について、期限内に提出することが概ねできる。			
				1	各種提出書類について、期限内に提出するように努めている。			
専門的知識・技術	保育や支援に関する知識や技能を活用し、施設利用児（者）に対して有効な支援ができる。また、示唆に富んだ実習の振り返りができる。	受講態度	30	5	施設からの実習評価の中で、施設利用児（者）に対する有効な支援、実習の基礎となる知識や技能の活用、示唆に富んだ実習日誌の作成が、非常によくできている。			
				4	施設からの実習評価の中で、施設利用児（者）に対する有効な支援、実習の基礎となる知識や技能の活用、示唆に富んだ実習日誌の作成が、できている。			
				3	施設からの実習評価の中で、施設利用児（者）に対する有効な支援、実習の基礎となる知識や技能の活用、示唆に富んだ実習日誌の作成が、概ねできている。			
				2	施設からの実習評価の中で、施設利用児（者）に対する有効な支援、実習の基礎となる知識や技能の活用、示唆に富んだ実習日誌の作成が、概ねできている。			
				1	施設からの実習評価の中で、施設利用児（者）に対する有効な支援、実習の基礎となる知識や技能の活用、示唆に富んだ実習日誌の作成に努めている。			
向上心・責任感	施設保育者に求められる基本的な理解や態度をもって、実習先施設の利用児（者）への支援や職員との協働を果たすことができる。	レポート	30	5	施設からの実習評価の中で、実習生としての立場を自覚しながら、保育士としての役割を自覚し、向上心と責任感をもって、非常によく実習に臨んでいた。			
				4	施設からの実習評価の中で、実習生としての立場を自覚しながら、保育士としての役割を自覚し、向上心と責任感をもって、よく実習に臨んでいた。			
				3	施設からの実習評価の中で、実習生としての立場を自覚しながら、保育士としての役割を自覚し、向上心と責任感をもって、実習に臨んでいた。			
				2	施設からの実習評価の中で、実習生としての立場を自覚しながら、保育士としての役割を自覚し、向上心と責任感をもって、概ね実習に臨んでいた。			
				1	施設からの実習評価の中で、実習生としての立場を自覚しながら、保育士としての役割を自覚し、向上心と責任感をもって、実習に臨むように努めていた。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 実習日誌を使用する。 参考書： 適宜資料を配布する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 保育士課程の必須科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
施設の役割と機能 1 ① 施設における1日の流れを知る。 ② 施設の設置目的と事業内容を理解する	事前学習： 自分の配属の施設について調べる。 事後学習： 日誌にまとめる。	
養護・支援内容 2 ①観察や記録により、施設利用児（者）の発達や障害の状況を理解する。 ②個々の心身の状態に応じた対応方法や支援方法を保育士から学ぶ。 ③活動内容や生活状況の整備について理解する。 ④健康管理や安全対策について具体的に理解する。	事前学習： 施設の利用児（者）についてどのような支援が必要なのかを知る。 事後学習： 観察したことや気づいたことを日誌にまとめる。	
計画と記録 3 ①個別指導計画について理解する。 ②個別指導計画に基づく支援内容を理解する。	事前学習： 実習期間にどのような計画が立てられるか考える。 事後学習： 計画に基づいて、ねらいや内容を振り返り考察する。	
専門職としての保育士の役割 4 ①保育士の業務内容を理解する。 ②職員間の役割分担や連携について理解する。 ③保育士の職業倫理を理解する。	事前学習： 施設における保育士の役割を考える。 事後学習： 実習期間を通しての学びや内容を振り返り、実習を総括する。	
5	事前学習： 事後学習：	
6	事前学習： 事後学習：	
7	事前学習： 事後学習：	
8	事前学習： 事後学習：	
9	事前学習： 事後学習：	
10	事前学習： 事後学習：	
11	事前学習： 事後学習：	
12	事前学習： 事後学習：	
13	事前学習： 事後学習：	
14	事前学習： 事後学習：	
15	事前学習： 事後学習：	

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0058	保育実習Ⅰ（保育所）	本蔵 達矢・馬場 千晶	集中	選択	実習	(4)	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 カリキュラム全体を通して得た知識と技術を総合し、認可保育所において実践的に学ぶ。保育所の役割と保育士の職務を学ぶとともに、実習生自身も実践を通して、保育士としての心構えや役割を習得し、また子どもとのかかわりや観察を通して、乳幼児の発達や生活について理解する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人・保育士としてのマナーを身につけ、ふさわしいふるまいをすることができる。	受講態度	10	5	実習保育所への諸連絡等において、社会人としてふさわしい行動をとることができる。また必要書類を適切に整え期日通りの提出ができる。			
				4	実習保育所への諸連絡等において、社会人としてふさわしい行動をとることがほぼできる。また必要書類の提出が期日通りになる。			
				3	上記の諸連絡等において、社会人としてふさわしい行動にやや欠け、必要書類に不十分な箇所があったり期日に少し遅れたりすることがまれにある。			
				2	上記の諸連絡等において、社会人としてふさわしい行動に欠け、必要書類に不十分な箇所があったり期日に少し遅れたりすることがある。			
				1	上記の諸連絡等において、社会人としてふさわしい行動に欠け、必要書類に不十分な箇所があり、指摘後も改善が見られない。			
専門的知識・技術	保育所の役割と保育士の職務を学ぶとともに、子どもとのかかわりや観察を通して、乳幼児の発達や生活について理解を深めたり、自分のかかわりを省察したりすることができる。またそれ等の学びを日誌に適切に記述することができる。	レポート	20	5	実習日誌に、保育の流れや、子どもの姿、保育士の援助が適切に記録されている。また具体的な考察が記述されている。			
				4	実習日誌に、保育の流れや、子どもの姿、保育士の援助がほぼ適切に記録されている。また具体的な考察がほぼ毎記述されている。			
				3	実習日誌に、保育の流れ、子どもの姿、保育士の援助の内、一部が適切に記録されていない。また考察がやや具体性に欠ける。			
				2	実習日誌に、保育の流れ、子どもの姿、保育士の援助の内、複数の項目が適切に記録されていない。また考察が抽象的である。			
				1	実習日誌に、保育の流れ、子どもの姿、保育士の援助の内、多くの項目が適切に記録されていない。また考察が抽象的であり、分量も少ない。			
向上心・責任感	オリエンテーションで学んだことを詳細に記録でき、実習終了後は自分の実践や課題に対する振り返りができる。実習後の礼状がマナーに沿い自分の学びも含めて書くことができる。	レポート	10	5	オリエンテーションで学んだことを詳細に記録し、実習後は、自己の振り返りと適切な礼状の執筆送付ができる。			
				4	オリエンテーションで学んだことを記録し、実習後は、自己の振り返りと適切な礼状の執筆送付がほぼできる。			
				3	オリエンテーションで学んだことを詳細に記録し、実習後の自己の振り返りと適切な礼状の執筆送付ができる。			
				2	オリエンテーションの記録が乏しく、礼状の送付が遅れる。			
				1	オリエンテーションの記録が極めて乏しく、礼状の送付が遅れ、内容も不十分。			
専門的知識・技術	保育士の職務理解と子どもへのかかわり 【実習施設からの評価】	受講態度	60	5	保育士としてふさわしい振る舞いができ、子ども一人ひとりに合わせたかかわりができる。			
				4	保育士としておおよそふさわしい振る舞いができ、子ども一人ひとりを見ようという姿勢が感じられる。			
				3	保育士としての振る舞いに努力を要するところがあり、子どもへのかかわりに偏りが見られる。			
				2	保育士としての振る舞いに欠けるところがあり、子どもへのかかわりが消極的である。			
				1	保育士としてふさわしくない振る舞い多く、子どもへのかかわりが著しく乏しい。			
【教科書・参考書】 教科書： 小櫃智子他『幼稚園・保育所・認定子ども園実習パーフェクトガイド』（わかば社）、『実習の手引き』 参考書： 『保育所保育指針』（フレール館）								
【その他】 課題へのフィードバックを行う 保育士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 事前準備 保育所への電話・実習希望クラス(0-5歳)を熟慮し、保育所と相談する	事前学習： 実習保育所について調べ、電話をする上での注意事項を確認する 事後学習： 保育所との電話内容について整理し、必要な準備をする	
2 実習オリエンテーション 実習園の保育目標、概要、環境、職員組織やクラス編成を把握する	事前学習： オリエンテーションに必要な持ち物や書類、服装を慎重に整える 事後学習： オリエンテーションの内容を日誌に整理する	
3 保育所における実習 観察実習・参加実習・部分実習・日誌の記入・巡回指導	事前学習： 実習に必要な持ち物や書類、服装を慎重に整える 事後学習： 日誌の全体の振り返り等を記入する	
4 実習終了後の手続き 日誌の提出・礼状・実習レポートの提出	事前学習： 保育所への日誌提出・日誌を取りに行く日を約束する 事後学習： 礼状を書きコピーを取って投函・日誌を保育所に取りに行く	
5	事前学習： 事後学習：	
6	事前学習： 事後学習：	
7	事前学習： 事後学習：	
8	事前学習： 事後学習：	
9	事前学習： 事後学習：	
10	事前学習： 事後学習：	
11	事前学習： 事後学習：	
12	事前学習： 事後学習：	
13	事前学習： 事後学習：	
14	事前学習： 事後学習：	
15	事前学習： 事後学習：	

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0059	保育実習Ⅱ	本蔵 達矢・馬場 千晶	集中	選択	実習	2	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 保育実習Ⅰでの学んだことを振り返り、実習における自己課題を明確にする。乳幼児の姿や保育計画をふまえてねらいを導き出し、部分・全日実習の立案、環境設定や準備を行うことができる。責任実習後は、予測と異なった点を振り返り、原因を考え、子どもへの理解を深めることができる。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	1日の保育と自分の行動を振り返りを日誌に記録し、翌日の保育に向けて新たな視点を見つめることができる	レポート	20	5	1日の保育と自分の行動を振り返りを日誌に記録し、翌日の保育に向けて新たな視点を見つめることができる			
				4	1日の保育と自分の行動を振り返りを日誌に記録することができるが、そこから新たな視点を見つめることができるときとできないときがある			
				3	1日の保育と自分の行動を振り返りを日誌に記録する際に記述に偏りがある。また、そこから新たな視点を見つめることができないときがある			
				2	1日の保育と自分の行動を振り返りを日誌に記録する際に記述に偏りがある。また、そこから新たな視点を見つめることができない			
				1	1日の保育と自分の行動を振り返りを日誌に記録する際に記述に偏り大きい。また、そこから新たな視点を見つめることができない			
コミュニケーション力	保育所とのやり取りにおいて、必要な調整ができ、社会人としてふさわしい行動をとることができる。また礼状や必要書類を適切に整えることができる。	受講態度	10	5	保育所とのやり取りにおいて必要な調整ができ、社会人としてふさわしい行動をとることができる。また礼状や必要書類を適切に整えることができる。			
				4	保育所とのやり取りにおいて必要な調整ができ、社会人として問題ない行動をとることができる。また礼状や必要書類を適切に整えることができる。			
				3	保育所とのやり取りにやや不十分な点があるが、社会人として最低限必要な行動をとることができる。また礼状や必要書類を適切に整えることができる。			
				2	保育所とのやり取りに不十分な点あり、社会人としてより配慮が求められる。また礼状や必要書類に不十分な箇所がある。			
				1	保育所とのやり取りに不十分な点あり、社会人として配慮が著しく足りない。また礼状や必要書類が揃っていない。			
実践力	保育所の実習担当職員と入念な相談及び指導案の見直しを行い、責任実習を行うことができる。また、責任実習後はその振り返りを記述し学びを深める。	レポート	10	5	保育所との入念な相談及び指導案の見直し、様々な子どもの姿を想定した責任実習の実施ができる。また、責任実習後は深い振り返りができる			
				4	保育所との相談及び指導案の見直し、責任実習の実施ができる。また、責任実習後は振り返りができる			
				3	保育所との相談及び指導案の見直しが十分とは言えないが、責任実習の実施ができる。ただし、責任実習後の振り返りに不十分な部分がある			
				2	責任実習の実施がはできるが、事前の指導案の相談や準備が著しく不十分で、責任実習後の振り返りも不十分である			
				1	責任実習を果たしたとは言えない。または、責任実習後の振り返りが出来ていない			
実践力	保育士の職務理解と子どもへのかかわり 【実習施設からの評価】	受講態度	60	5	保育士としてふさわしい振る舞いができ、子ども一人ひとりに合わせたかかわりができる			
				4	保育士としておおよそふさわしい振る舞いができ、子ども一人ひとりを見ようという姿勢が感じられる			
				3	保育士としての振る舞いに努力を要するところがあり、子どもへのかかわりに偏りが見られる			
				2	保育士としての振る舞いに欠けるところがあり、子どもへのかかわりが消極的である			
				1	保育士としてふさわしくない振る舞い多く、子どもへのかかわりが著しく乏しい			
【教科書・参考書】 教科書： 『実習の手引き』 参考書： 『保育所保育指針』（フレーベル館）								
【その他】 課題へのフィードバックを行う 保育士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
事前準備 1 保育所への電話・実習クラス及び責任実習の行うクラス(0-5歳)の希望について熟慮する	事前学習： 保育実習 I を振り返る・電話をする上での注意事項を確認する 事後学習： 保育所との電話内容について整理し、必要な準備をする	
実習オリエンテーション 2 実習園の保育目標、概要、環境、職員組織やクラス編成を把握する。責任実習のクラスの確認。	事前学習： オリエンテーションに必要な持ち物や書類、服装を慎重に整える 事後学習： オリエンテーションの内容を日誌に整理する・責任実習に向けて準備をする	
保育所における実習 3 観察・参加実習、部分実習・全日実習・日誌の記入・巡回指導	事前学習： 実習に必要な持ち物や書類、服装を慎重に整える 事後学習： 日誌の全体の振り返り等を記入する	
実習終了後の手続き 4 日誌の提出・礼状・実習レポートの提出	事前学習： 保育所への日誌提出・日誌を取りに行く日を約束する 事後学習： 礼状を書きコピーを取って投函・日誌を保育所に取りに行く	
5	事前学習： 事後学習：	
6	事前学習： 事後学習：	
7	事前学習： 事後学習：	
8	事前学習： 事後学習：	
9	事前学習： 事後学習：	
10	事前学習： 事後学習：	
11	事前学習： 事後学習：	
12	事前学習： 事後学習：	
13	事前学習： 事後学習：	
14	事前学習： 事後学習：	
15	事前学習： 事後学習：	

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0061	保育の音楽表現	和泉 貴子・川瀬 紗綾・ 阪 までか・森田 聡子	通年	選択	講義・実習	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 音楽の基礎的な理論を理解し、ピアノ演奏を中心とした技術の向上を目指す。また乳幼児の心身の発達をふまえて、さまざまな音楽表現方法を段階的に学修することによって、保育現場で活用できる実践的な指導法を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	基礎的な音楽理論を理解し、音楽指導の手段として、学期の基礎的な技術を修得する	確認テスト	40	5	確認テストでの実技演奏が、技術・表現力ともに大変優れている			
				4	確認テストでの実技演奏が、技術・表現力ともに優れている			
				3	確認テストでの実技演奏が、技術・表現力ともに適切なレベルに達している			
				2	確認テストでの実技演奏が、技術・表現力ともに適切なレベルに達していない			
				1	確認テストでの実技演奏が、明らかな準備不足、学習不足である			
実践力	実技型の定期試験を通して、保育者としての音楽表現力を実践の中で身につける	定期試験	40	5	試験における発表時の態度や演奏が、保育者として大変優れている			
				4	試験における発表時の態度や演奏が、保育者として優れている			
				3	試験における発表時の態度や演奏が、保育者として適切である			
				2	試験における発表時の態度や演奏が、保育者としてあまり適切ではない			
				1	試験における発表時の態度や演奏が、保育者として適切ではない			
向上心・責任 感	課題を達成するために、計画的に自主練習に取り組み、努力を重ねている	受講態度	20	5	出席状況が大変良く、課題を確実に達成し、さらに課題以上のことに取り組む			
				4	出席状況が良く、課題を確実に達成している			
				3	欠席が少なく、課題をほぼ達成できている			
				2	欠席がやや多く、課題を達成しきれしていない			
				1	欠席が多く、課題への取り組みがきわめて悪い			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 『バスティン ピアノベーシックス』（東音企画）、小林美実編『こどものうた200』（チャイルド本社） 参考書： 適宜配布								
【その他】 課題のフィードバックを個人指導において行う。 保育士課程の必修科目。保育士証、幼稚園教諭2種免許状のいずれかの取得を目指す者は必ず履修する。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション・入学前課題の確認	事前学習： 入学前課題の学習 事後学習： 達成した課題の復習	1
2 ピアノ基礎練習・音楽理論①	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
3 ピアノ基礎練習・音楽理論②	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
4 ピアノ基礎練習・音楽理論③	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
5 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
6 ピアノ基礎練習・音楽理論④	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
7 ピアノ基礎練習・音楽理論⑤	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
8 ピアノ基礎練習・音楽理論⑥	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
9 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
10 ピアノ基礎練習・音楽理論⑦	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
11 ピアノ基礎練習・音楽理論⑧	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
12 ピアノ基礎練習・音楽理論⑨	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
13 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
14 ピアノ基礎練習・楽器遊びの実践	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 楽器遊びの実践方法、発展的な遊びを自分なりに考える	1
15 ピアノ基礎練習・楽器遊びの実践、まとめ	事前学習： 前期の振り返り 事後学習： 夏期課題に取り組む	1

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
16 夏期課題の確認	事前学習： 夏期課題に取り組む 事後学習： 夏期課題の復習	1
17 ピアノ応用練習・コード進行法①	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
18 ピアノ応用練習・コード進行法②	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
19 ピアノ応用練習・コード進行法③	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
20 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
21 ピアノ応用練習・音階練習①	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
22 ピアノ応用練習・音階練習②	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
23 ピアノ応用練習・音階練習③	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
24 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
25 ピアノ応用練習・模擬保育①	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
26 ピアノ応用練習・模擬保育②	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
27 ピアノ応用練習・模擬保育③	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
28 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
29 楽器遊びの実践・まとめ①	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
30 楽器遊びの実践・まとめ②	事前学習： 後期を振り返る 事後学習： 定期試験の準備	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0062	音楽表現法	笠井 かほる・阪 まどか・新海 未穂・森田 聡子	通年	選択	演習	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 1年次の「保育の音楽表現」で修得した知識・技術について、さらに内容を深めて発展的なピアノ演奏能力を身につける。 また、弾き歌いや様々な楽器での重奏・合奏などを取り入れながら、音楽表現の楽しさを味わったり、音楽会や音楽行事の企画作成や模擬保育の実践を通して、保育実践力を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・技術	基礎的な音楽理論の理解をさらに深めるとともに、ピアノやさまざまな楽器の演奏技術・歌唱力を身につける	確認テスト	40	5	確認テストでの演奏技術・歌唱力などが保育者として大変優れている			
				4	確認テストでの演奏技術・歌唱力などが保育者として優れている			
				3	確認テストでの演奏技術・歌唱力などが保育者として適切である			
				2	確認テストでの演奏技術・歌唱力などが保育者としてあまり適切ではない			
				1	確認テストでの演奏技術・歌唱力などが保育者として適切ではない			
実践力	基礎知識や演奏技能を活用して、保育現場でのさまざまな音楽表現を想定した活動に取り組める	作品	30	5	発表に至るまでの取り組み、発表での態度や表現、また振り返り等が大変優れている			
				4	発表に至るまでの取り組み、発表での態度や表現、また振り返り等が優れている			
				3	発表に至るまでの取り組み、発表での態度や表現、また振り返り等が適切である			
				2	発表に至るまでの取り組み、発表での態度や表現、また振り返り等があまり適切ではない			
				1	発表に至るまでの取り組み、発表での態度や表現、また振り返り等が適切にできていない			
向上心・責任感	各自の課題を見つめ、それを達成するための自主練習や事前準備に積極的に取り組む	受講態度	30	5	出席状況が大変良く、課題を確実に達成し、さらに課題以上のことに取り組む			
				4	出席状況が良く、課題を確実に達成している			
				3	欠席が少なく、課題をほぼ達成できている			
				2	欠席がやや多く、課題も達成しきれしていない			
				1	欠席が多く、課題への取り組みがきわめて悪い			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 小林美実編『こどものうた200』『続こどものうた200』（チャイルド本社） 参考書： 適宜配布								
【その他】 課題のフィードバックを個人指導の中で実施する。 「保育の音楽表現」既修得者で、保育士証、幼稚園教諭2種免許状のいずれかの取得を目指す者は必ず履修する。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 1年次の復習	事前学習： 春期課題の取り組み 事後学習： 達成した課題の復習	1
2 ピアノ応用練習① 合唱指導法	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
3 ピアノ応用練習② 合唱指導法	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
4 ピアノ応用練習③ 合唱指導法	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
5 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
6 弾き歌い・移調・伴奏付け① 音さがしと音づくり	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
7 弾き歌い・移調・伴奏付け② 音楽教育メソッド オルフ・シュールベルクの導入	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
8 弾き歌い・移調・伴奏付け③ 音楽教育メソッド オルフ・シュールベルクの応用	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
9 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
10 教育実習に向けた歌唱伴奏と模擬保育①	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
11 教育実習に向けた歌唱伴奏と模擬保育②	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
12 教育実習に向けた歌唱伴奏と模擬保育③	事前学習： 新しい課題の予習、指導案の作成 事後学習： 達成した課題の復習、指導案の修正	1
13 教育実習に向けた歌唱伴奏と模擬保育④	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
14 確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
15 まとめ・夏期課題について	事前学習： 前期修得曲の総復習 事後学習： 夏期課題の取り組み	1

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
16 夏期課題の確認	事前学習： 夏期課題の取り組み 事後学習： 達成した課題の復習	1
17 ピアノ応用練習、重奏法・合奏法①	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
18 ピアノ応用練習、重奏法・合奏法②	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
19 ピアノ応用練習、重奏法・合奏法③	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
20 ピアノ応用練習、重奏法・合奏法④	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
21 ピアノ応用練習、重奏法・合奏法⑤	事前学習： 新しい課題の予習 事後学習： 達成した課題の復習	1
22 確認テストと発表	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 確認テストの復習	1
23 音楽遊びの部分実習／音楽行事の企画と準備①	事前学習： ねらいの設定 事後学習： 参考資料集め、楽曲研究	1
24 音楽遊びの部分実習／音楽行事の企画と準備②	事前学習： 楽曲研究と練習 事後学習： 達成した課題の復習	1
25 音楽遊びの部分実習／音楽行事の企画と準備③	事前学習： 楽曲研究と練習 事後学習： 達成した課題の復習	1
26 音楽遊びの部分実習／音楽行事の企画と準備④	事前学習： 楽曲研究と練習、指導案の作成 事後学習： 達成した課題の復習、指導案の修正	1
27 音楽遊びの部分実習／音楽行事の企画と準備⑤	事前学習： 楽曲研究と練習 事後学習： 達成した課題の復習	1
28 発表	事前学習： 発表準備 事後学習： 発表の自己評価、他者評価	1
29 弾き歌いのまとめ	事前学習： これまで学修した課題の復習 事後学習： 達成した課題の復習	1
30 弾き歌いのまとめと確認テスト	事前学習： 確認テストの準備 事後学習： 1年間の振り返り～保育における実践的な音楽表現力とは～	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0063	幼児英語教材演習	島崎 綾	後期	選択	演習	1	○	3
<p>【授業のねらい及び身につく能力】 この授業では、幼・保・小の連携を視野に入れながら、児童に対する英語の指導方法についての知識を深めていきます。更に、児童英語、教材研究の方法を学び、実際にアクティビティを授業内で行います。英語講師アシスタントとしても、指導者としても現場で役立つ実践的なトレーニングをしていきます。また、身につけた保育英語力で保育英検の受験にも挑戦できます。</p>								
<p>【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
実践力	指導案をもとにアクティビティを行うことができる 英語の指導法についての知識を身につける	受講態度	50	5	英語の指導方法についての基礎的な知識を身につけることができ、模擬授業案が3回以上考えられている			
				4	英語の指導方法についての基礎的な知識を身につけることができ、模擬授業案が2回以上考えられている			
				3	英語の指導方法についての基礎的な知識を身につけることができ、模擬授業案が1回以上考えられている			
				2	英語の指導方法についての基礎的な知識を身につけることができていない。			
				1	基礎的な知識を全く身につけることができていない。			
コミュニケーション力	グループで協力しながら、指導案を考案することができる	受講態度	50	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに望む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに望む姿勢が見受けられる			
				2	やや消極的な姿勢が見受けられる			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】 教科書： こどもの英語耳を刺激する！ネイティブ発音で聴いて歌う 英語のうた(YAMAHA) 参考書： 原 幸子『てあそび 英語うた』(民衆社)</p>								
<p>【その他】 学んだことを最終的に演習として、自身で指導案を作成し、模擬授業という形で発表する。その際の①指導案の内容 ②実際の模擬授業の内容 を主に評価し 模擬授業後にフィードバックを行う。</p>								

[授業の内容・スケジュール]	[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 小学校英語教育の目的と意義	事前学習： 文部科学省の小学校英語教育のHPを読んでおく。 事後学習： 小学校英語教育の目的と意義について復習する。	1時間
2 小学校英語教育の内容 英検試験の勉強	事前学習： 実際の小学校英語教育について調べてくる。 事後学習： 小学校英語教育についてのレポートを書く。	1時間
3 幼稚園・保育園での英語教育 英検試験の勉強	事前学習： 幼稚園・保育園で英語教育をしている園を調べてくる。 事後学習： Milky Way International Preschoolを見学する。	1時間
4 Classroom English 英検試験の勉強	事前学習： 実際使えそうな保育英語を5つ調べてくる。 事後学習： Classroom Englishを練習する	1時間
5 指導法と教材研究① (phonics) 英検試験の勉強	事前学習： ABCの歌を英語で練習してくる。 事後学習： Phonicsでアルファベットを言えるようになる。	1時間
6 指導法と教材研究② (song & chants) 英検試験の勉強	事前学習： 子ども向けの英語の歌のCDを聴く。 事後学習： 英語の歌を沢山覚える。	1時間
7 指導法と教材研究③ (story books) 英検試験の勉強	事前学習： 図書館で英語の絵本を借りてくる。 事後学習： 英語の絵本の意味を理解し、読み聞かせができるようになる。	1時間
8 指導法と教材研究④ (games) 英検試験の勉強	事前学習： 子どもたちが楽しめるゲームを考えてくる。 事後学習： 英語のゲームを覚える。	1時間
9 指導法と教材研究⑤ (STEP test) 英検試験の勉強	事前学習： 英検ジュニアのホームページを見ておく。 事後学習： 英検ジュニアの教材を読んでみる。	1時間
10 指導案の作成方法と具体例 英検試験の勉強	事前学習： やってみたいアクティビティを考えてくる。 事後学習： アクティビティの構想を深める。	1時間
11 指導案作成① アクティビティの構想と指導設計 英検試験の勉強	事前学習： 必要な教材を集めてくる。 事後学習： 実践に向け、教材準備で足りないものを確認する。	1時間
12 指導案作成②活動作成 英検模擬試験	事前学習： 実践に向けイメージトレーニングをしてくる。 事後学習： 実践に向けての準備を終える。	1時間
13 英語保育演習①	事前学習： 実践に向けての練習をしてくる。 事後学習： 実践を振り返っての感想をまとめる。(次週発表)	1時間
14 英語保育演習②	事前学習： 実践に向けての練習をしてくる。 事後学習： 実践を振り返っての感想をまとめる。(次週発表)	1時間
15 まとめ 確認小テスト	事前学習： 確認小テストに備える。 事後学習： 授業の感想をまとめる。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0064	保育キャリアデザインA	白岩 等	後期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>保育者を目指すためには、今後のキャリア形成の進め方について深めることが重要である。授業では過去の自分、現在の自分、未来の自分をつなげる作業を通して、保育のキャリア形成について考える。管理職へのステップアップも念頭に置きながら、一人の組織人として、保育者のキャリア形成に必要な知識や考え方について身につける。また、就労先の一つの選択肢として、公務員保育士についても取り上げる。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育者のキャリア形成に必要な基礎的な知識や考え方を習得する。	確認テスト	30	5	確認テストに対して積極的に取り組み、間違った箇所について、原因を明らかにしながら振り返ることができる。			
				4	確認テストに対して積極的に取り組み、間違った箇所について、振り返ることができる。			
				3	確認テストに対して取り組むが、間違った箇所について、十分な振り返りができない。			
				2	確認テストに対して積極的に取り組めない。			
				1	確認テストを取り組みない。			
専門的知識・ 技術	保育者のキャリア形成に必要な基礎的な知識や考え方を習得する。	レポート	20	5	自分のキャリアに関する知識や考え方をもとに、保育の現場と関連付けながら課題や問題点について考えることができる。			
				4	自分のキャリアに関する知識や考え方をもとに、課題や問題点について考えることができる。			
				3	自分のキャリアに関する知識や考え方はあるが、十分に課題や問題点について考えることができない。			
				2	自分のキャリアに関する知識や考え方が、不十分である。			
				1	自分のキャリアに関する知識や考え方がない。			
実践力	保育者として、在学中や卒業後の自分自身のキャリアについて、前向きに考える力を習得する。	レポート	30	5	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連付けながら、十分に考察することができる。			
				4	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連付けながら、考察することができる。			
				3	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連付けることはできるが、十分な考察には至らない。			
				2	授業の内容を、自分のキャリア形成に十分に関連付けることができない。			
				1	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連付けることができない。			
実践力	保育者として、在学中や卒業後の自分自身のキャリアについて、前向きに考える力を習得する。	受講態度	20	5	グループワークに対して積極的に取り組み、グループの意見を踏まえ、問題意識を持って自分のキャリアを考えることができる。			
				4	グループワークに対して積極的に取り組み、グループの意見を踏まえ、自分のキャリアを考えることができる。			
				3	グループワークに積極的に参加するが、十分に自分のキャリアを考えることができない。			
				2	グループワークに対して積極的に参加できない。			
				1	グループワークに参加できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 石川昭義・小原敏郎 編著 「保育のためのキャリア形成論」(建帛社)</p> <p>参考書： なし</p>								
【その他】								
<p>・レポート等をフィードバックする</p> <p>・保育士課程の選択必修科目 ・実務家教員による授業</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 保育のためのキャリア形成とは何か	事前学習： 保育者のキャリアについて自分なりにイメージを持つ。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
2 保育職を選択すること	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
3 キャリア形成のための支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
4 保育者の役割、姿勢、態度	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
5 子育て支援者の多面性	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
6 組織の中の保育者の専門性	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
7 保育実習の意味	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
8 保育者の職位	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
9 施設長に求められる子ども観	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
10 職場全体の学び合い	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
11 保育者のアイデンティティー	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
12 保育者のメンタルヘルス	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
13 キャリア形成に必要な環境	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
14 保育者のリカレント教育	事前学習： 卒業後に専門性を高める方法を考えて、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
15 全体のまとめ	事前学習： これまでの授業内容を確認し、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0065	保育キャリアデザインB	白岩 等	前期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 保育者を目指すためには、今後のキャリア形成の在り方について深めていくことが重要である。卒業後の進路として公務員保育士を取り上げ、実務家教員の視点から公務員保育士のキャリアの在り方について解説する。公務員保育士のキャリア形成に関わる基本的な事項を学び、公務員として充実したキャリアを積める力を身に付ける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	公務員保育士としてのキャリア形成に必要な基礎的な知識や考え方を習得する。	確認テスト	30	5	確認テストに対して積極的に取り組み、間違った箇所について、その原因を明らかにしながら振り返ることができる。			
				4	確認テストに対して積極的に取り組み、間違った箇所について、振り返ることができる。			
				3	確認テストに対して取り組むが、間違った箇所について、十分振り返ることができない。			
				2	確認テストに対して積極的に取り組めない。			
				1	確認テストに取り組まない。			
専門的知識・ 技術	公務員保育士としてのキャリア形成に必要な基礎的な知識や考え方を習得する。	レポート	20	5	自分のキャリアに関する知識や考え方をもち、保育の現場と関連づけながら課題や問題点について考えることができる。			
				4	自分のキャリアに関する知識や考え方をもち、課題や問題点について考えることができる。			
				3	自分のキャリアに関する知識や考え方はあるが、十分に課題や問題点について考えることができない。			
				2	自分のキャリアに関する知識や考え方が不十分である。			
				1	自分のキャリアに関する知識や考え方がない。			
実践力	公務員保育士として、卒業後の自分自身のキャリアを問題意識を持って考える力を習得する。	レポート	30	5	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連づけながら、十分に考察することができる。			
				4	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連づけながら、考察することができる。			
				3	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連づけることはできるが、十分な考察には至らない。			
				2	授業の内容を、自分のキャリア形成に十分に関連づけることができない。			
				1	授業の内容を、自分のキャリア形成に関連づけることができない。			
実践力	公務員保育士として、卒業後の自分自身のキャリアを問題意識を持って考える力を習得する。	受講態度	20	5	グループワークに対して積極的に取り組み、グループの意見も踏まえ、問題意識を持って自分のキャリアを考えることができる。			
				4	グループワークに対して積極的に取り組み、グループの意見も踏まえ、自分のキャリアを考えることができる。			
				3	グループワークに対して積極的に参加するが、十分に自分のキャリアを考えることができない。			
				2	グループワークに対して積極的に参加できない。			
				1	グループワークに対して参加できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 資料等を授業で配布する 参考書： 石川昭義・小原敏郎 編著「保育のためのキャリア形成論」(建帛社)								
【その他】 ・確認テスト等をフィードバックする。 ・保育士課程の選択必修科目・実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 公務員保育士とは何か	事前学習： 公務員保育士についての自分なりのイメージを持つ。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
2 公務員保育士を選択する意味	事前学習： なぜ公務員保育士を目指したのかを考えて、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
3 自分が就労を希望する地方公共団体	事前学習： 自分が受験したい自治体を考えて、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
4 公務員保育士の採用試験	事前学習： 前年度の受験案内を確認し、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
5 公務員保育士の任用条件	事前学習： 前年度の受験案内を確認し、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
6 公務員保育士と組織	事前学習： 公務員の組織について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
7 公務員保育士の仕事と職域	事前学習： 公務員保育士の仕事について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
8 公務員保育士の給与	事前学習： 公務員の給与について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
9 公務員保育士の福利厚生	事前学習： 公務員の福利厚生について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
10 公務員保育士の勤務体制	事前学習： 公務員の勤務体制について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
11 公務員保育士と子育て支援政策	事前学習： 自治体の子育て支援について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
12 公務員保育士の職位	事前学習： 公務員の職位について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
13 公務員保育士と組織の意志決定	事前学習： 組織としての意志決定の在り方について調べ、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
14 公務員保育士の今後の課題	事前学習： 公務員保育士の今後の課題について考え、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1
15 全体のまとめ	事前学習： これまでの授業内容を確認して、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0066	保育の心理学	本蔵 達矢	前期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 こども一人ひとりの行動や心の動きはそれぞれ異なるが、共通する部分も多い。保育の心理学では、そうしたこどもの行動や心の動きの中にある共通した部分を学ぶことがねらいである。この授業においては、こどもに共通した行動や心の動き、行動や心の動きの保育現場での見取り方を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	心理学の基礎を積極的に学ぶ	受講態度	30	5	毎回の講義にとっても積極的に参加し、課題に取り組んでいる			
				4	毎回の講義に積極的に参加し、課題に取り組んでいる			
				3	毎回の講義に参加し、課題に取り組んでいる			
				2	毎回の講義に参加しているものの、課題に対して消極的である			
				1	毎回の講義に参加しているものの、課題に取り組めていない			
専門的知識・技術	心理学を土台にした保育に関する知識を身につける	定期試験	60	5	定期試験の該当箇所の得点率が80%以上			
				4	定期試験の該当箇所の得点率が60%以上80%未満			
				3	定期試験の該当箇所の得点率が50%以上60%未満			
				2	定期試験の該当箇所の得点率が40%以上50%未満			
				1	定期試験の該当箇所の得点率が50%未満			
思考力	心理学の理論を土台にこどもの行動の意味を考えられる	定期試験	10	5	定期試験の該当箇所の得点率が80%以上			
				4	定期試験の該当箇所の得点率が60%以上80%未満			
				3	定期試験の該当箇所の得点率が50%以上60%未満			
				2	定期試験の該当箇所の得点率が40%以上50%未満			
				1	定期試験の該当箇所の得点率が50%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 本郷一夫・飯島典子(編)『シードブック保育の心理学』(建帛社) 参考書： 講義の中で紹介する								
【その他】 保育士課程の必修科目、認定絵本士の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 オリエンテーション	事前学習： シラバスを読み、授業の見通しをもつ 事後学習： 保育の心理学を学ぶ意義を確認する	4 時間
2 子どもの発達を理解することの意義	事前学習： 育ちは遺伝と環境のどちらで決まるか自分なりの意見をもつ 事後学習： 子どもの発達に影響する要因を復習する	4 時間
3 子どもの発達と保育	事前学習： 教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習： 保育における発達の意味を復習する	4 時間
4 身体・運動の発達	事前学習： 自分がいつ頃歩けるようになったか調べる 事後学習： 身体・運動の発達について復習する	4 時間
5 乳児期・幼児期前期の認知発達	事前学習： 赤ちゃんにとってガラガラのどこが面白いのか考える 事後学習： ピアジェの発達理論について復習する	4 時間
6 幼児期後期・児童期の認知発達	事前学習： 「こどもらしい表現」について調べる 事後学習： 幼児期特有の認知について復習する	4 時間
7 言語の発達	事前学習： こどもがはじめて話す言葉はどのようなものが多いのか調べる 事後学習： 言葉の発達について復習する	4 時間
8 絵本と発達 【認定絵本士養成講座該当回】	事前学習： はじめて出会う絵本にはどのようなものがあるか調べる 事後学習： 絵本と発達について復習する	4 時間
9 感情の発達	事前学習： 子どもはいつ頃から「照れる」ようになるのか考える 事後学習： 感情の発達について復習する	4 時間
10 社会性の発達	事前学習： どうして自分は損をするのに人を助けるのか考える 事後学習： 社会性の発達について復習する	4 時間
11 仲間関係の発達	事前学習： 実習で見た砂場遊びについて思い出しておく 事後学習： 仲間関係の発達について復習する	4 時間
12 子どもの学びと発達	事前学習： どうして虫が苦手な人は虫が苦手なのか考える 事後学習： 学習について復習する	4 時間
13 生活と遊びを通した学び	事前学習： 自分にとって遊びとは何かを考える 事後学習： 遊びを通した学びについて復習する	4 時間
14 特別な配慮を必要とする子どもの特徴と支援	事前学習： これまで出会った「気になる子」について思い出す 事後学習： 専門機関との連携の必要性について復習する	4 時間
15 子どもの発達と現代的課題	事前学習： 子どもに関する最近のニュースを調べておく 事後学習： 期末試験に向けて復習をする	4 時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0067	子どもの理解と援助	本蔵達矢	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 保育の心理学の内容を踏まえ、実態に応じたこども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	こどもの心身の発達に関する知識を身につける	作品	30	5	ワークの該当部分の評価が90%以上			
				4	ワークの該当部分の評価が80%以上			
				3	ワークの該当部分の評価が70%以上			
				2	ワークの該当部分の評価が60%以上			
				1	ワークの該当部分の評価が60%未満			
思考力	事例に対して知識をもとに子どもの発達を見取することができる	作品	40	5	ワークの該当部分の評価が90%以上			
				4	ワークの該当部分の評価が80%以上			
				3	ワークの該当部分の評価が70%以上			
				2	ワークの該当部分の評価が60%以上			
				1	ワークの該当部分の評価が60%未満			
実践力	保育者の援助について実践的に理解し保育の構想ができる	作品	30	5	ワークの該当部分の評価が90%以上			
				4	ワークの該当部分の評価が80%以上			
				3	ワークの該当部分の評価が70%以上			
				2	ワークの該当部分の評価が60%以上			
				1	ワークの該当部分の評価が60%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 藪中征代・玉瀬友美(編)『子どもの理解と援助』(萌文書林) 参考書：								
【その他】 ワークは毎回提出し、次回の授業内で返却する 保育士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 保育における子ども理解の意義	事前学習： シラバスを読み、授業の見直しをもつ 事後学習： こどもの発達について保育の心理学の内容を含めて復習する	1時間
2 子どもに対する関わりと共感的理解	事前学習： 倉橋惣三『育ての心』・上を読む 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
3 子どもの生活や遊び	事前学習： 自分自身がどのような生活をしているか振り返り、いつからできていたか考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
4 保育における人的環境としての保育者と子どもの発達	事前学習： 子どもにとって保育者とはどのような存在か考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
5 子ども相互の関わりと関係づくり	事前学習： 3歳児の遊びと5歳児の遊びの違いを考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
6 集団における経験と育ち	事前学習： 幼稚園での経験が家庭でできない理由を考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
7 発達における葛藤やつまずき	事前学習： いざこざの意味を考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
8 保育の環境の理解と構成	事前学習： 家族と趣味が合わないものについて考え、どうして好きになったか考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
9 環境の変化や移行	事前学習： 短大に入ったときに何が不安だったか思い出す 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
10 子ども理解のための観察・記録・省察・評価	事前学習： 実習日誌を読み返す 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
11 子ども理解のための職員間の対話	事前学習： 実習の時先生とどのような話をしたか思い出す 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
12 子ども理解のための保護者との情報共有	事前学習： 保護者との情報共有手段を考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
13 発達の課題に応じた援助と関わり	事前学習： 自分の苦手なことについて考える 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
14 特別な配慮を必要とする子どもの理解と援助	事前学習： 実習中に出会った気になる子について思い出す 事後学習： 演習ワークを完成させて提出する	1時間
15 発達の連続性と就学への支援	事前学習： 幼稚園から小学校に上がるときに何ができていればいいか考える 事後学習： 課題を完成させて提出する	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0068	社会的養護 I	巢立佳宏	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
科目では、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の意義や理念を理解し、その制度や実施体系等について学ぶ。また、専任教員の児童養護施設心理士としての実務経験を踏まえた多職種連携の事例などから理解を深め、保育者として様々な福祉施設で多職種連携を行える力を身につけることを目標としている。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育者として、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の離縁や支援体系など、基礎的な知識や考えを習得する。	レポート	60	5	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中で非常によくまとめられている。			
				4	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中でよくまとめられている。			
				3	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中でまとめられている。			
				2	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中で部分的にまとめられている。			
				1	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中であまりよくまとめられていない、または未提出である。			
向上心・責任 感	保育者として、子どもの最善の利益を守る支援方法や、考え方、多職種連携について考えを述べることができる。	受講態度	40	5	講義内容を理解し、講義に関心をもち、積極的に参加している。			
				4	講義内容を理解し、講義に関心をもち、ほとんど積極的に参加している。			
				3	講義内容を理解し、講義に関心をもち、だいたい参加している。			
				2	講義内容を理解し、講義に関心をもち、あまり参加していない。			
				1	講義内容を理解し、講義に関心をもち、全然参加していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 『社会的養護 I 第2版(新・基本保育シリーズ6)』 (中央法規)								
参考書： 事例で学ぶ社会的養護児童のアセスメント 増沢 高 (明石書店)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
リアクションペーパーなどを用いて授業に関するフィードバックを行う								
保育士課程の必修科目である								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 社会的養護の理念と概念	事前学習： 社会的養護に関する法令等を含め情報を収集する。 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
2 社会的養護の歴史的背景	事前学習： 社会的養護の歴史について情報を収集する。 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
3 子どもの人権擁護と社会的養護	事前学習： 子どもの人権に関する新聞記事等を収集する。 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
4 社会的養護の基本原則	事前学習： 児童福祉法の改正に関する情報を収集する。 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
5 社会的養護における保育士等の倫理と責務	事前学習： 保育士の倫理要綱について整理する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
6 社会適用の制度と法体系	事前学習： 社会的養護の制度に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
7 社会的養護のしくみと実施体系	事前学習： 社会的養護の制度について整理する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
8 社会的養護とファミリーソーシャルワーク	事前学習： ソーシャルワークに関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
9 社会的養護の対象と支援のあり方	事前学習： 児童虐待に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
10 家庭養護と施設養護	事前学習： 里親と施設養護の現状について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
11 社会的養護にかかわる専門職	事前学習： 施設保育士に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
12 社会的養護に関する社会的状況	事前学習： 「新しい社会的養育ビジョン」に関する情報を整理する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
13 施設等の運営管理の現状と課題	事前学習： 社会的養護の施設等に関する情報を整理する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
14 被措置児童等の虐待防止の現状と課題	事前学習： 児童心理治療施設等の情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
15 社会的養護と地域福祉の現状と課題	事前学習： 地域福祉に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング	
DC0069	社会的養護Ⅱ	巢立佳宏	後期	選択	演習	1	○	2	
【授業のねらい及び身につく能力】									
<p>本科目では、社会的養護を必要とする子どもだけではなく、家庭や地域の関係機関との連携を行う意義や方法についての知見を習得する。また、専任教員の児童養護施設心理士としての実務経験を踏まえた演習事例を取り上げてグループワークを行う。更に、社会的養護にかかわる相談援助の方法・技術、計画・記録・自己評価など、具体的な虐待防止と家庭支援が実践できる力を身につけることを目標としている。</p>									
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】									
学修成果評価				成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価					
				評価		評価観点			
専門的知識・ 技術	保育者として、子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について、具体的に説明できる	レポート	60	5	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中で非常によくまとめられている。				
				4	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中でよくまとめられている。				
				3	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中でまとめられている。				
				2	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中で部分的にまとめられている。				
				1	社会的養護における課題と支援方法について、課題レポートの中であまりよくまとめられていない、または未提出である。				
思考力	保育者として、社会的養護における子どもの虐待防止と家庭支援についての支援方法を考えることができる	受講態度	40	5	講義内容を理解し、講義に関心をもち、積極的に参加している。				
				4	講義内容を理解し、講義に関心をもち、ほとんど積極的に参加している。				
				3	講義内容を理解し、講義に関心をもち、だいたい参加している。				
				2	講義内容を理解し、講義に関心をもち、あまり参加していない。				
				1	講義内容を理解し、講義に関心をもち、全然参加していない。				
				5					
				4					
				3					
				2					
				1					
				5					
				4					
				3					
				2					
				1					
				5					
				4					
				3					
				2					
				1					
				5					
				4					
				3					
				2					
				1					
【教科書・参考書】									
<p>教科書： 『社会的養護Ⅱ第2版(新・基本保育シリーズ6)』(中央法規)</p> <p>参考書： 事例で学ぶ社会的養護児童のアセスメント 増沢 高 (明石書店)</p>									
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。									
リアクションペーパーなどを用いて授業に関するフィードバックを行う									
保育士課程の必修科目である									

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 子どもの権利擁護	事前学習： 子どもの権利擁護に関する報道や虐待などの情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
2 社会的養護における子どもの理解	事前学習： 児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
3 施設養護（乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設）の特性および実際①	事前学習： 社会的養護に関する施設について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
4 施設養護（児童心理治療施設、障害児施設など）の特性および実際②	事前学習： 社会的養護に関する施設について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
5 家庭養護の特性および実際	事前学習： 虐待など社会的養護に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
6 社会的養護におけるケアマネジメント	事前学習： 社会的養護に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
7 アセスメントと個別支援計画の作成	事前学習： 自立支援計画に関する情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
8 事例分析（日常生活支援、心理的支援）	事前学習： 日常生活での支援、心理的支援について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
9 事例分析（自立支援）と記録の意義	事前学習： 自立支援について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
10 社会的養護における保育士の専門性	事前学習： 社会的養護における保育士の役割について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
11 社会的養護におけるソーシャルワーク	事前学習： 社会的養護全般の情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
12 社会的養護にかかわる子どもの家族の理解①	事前学習： 社会的養護に関する子どもの背景について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
13 社会的養護にかかわる子どもの家族の理解②	事前学習： 社会的養護に関する子どもの背景と対応について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
14 今後の社会的養護の課題と展望	事前学習： 社会的養護における課題について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
15 確認テスト、課題レポート、総括	事前学習： これまでの授業全体を振り返る 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0070	子ども家庭支援論	篠沢 薫	後期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
保育の専門性を活かした子ども家庭支援を実践するために、子ども家庭支援の意義・目的・方法を理解し、基礎的知識を身につけることをねらいとする。さらに多様なニーズについて実践事例を通して理解し、支援方法を考えられる力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育者として、保育の専門性を活かした子ども家庭支援に関する基礎的知識を習得する。また多様なニーズに対応できるよう、子ども家庭支援における支援方法を習得する。	確認テスト	60	5	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が9割以上である。			
				4	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が8割以上である。			
				3	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が7割以上である。			
				2	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割以上である。			
				1	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割未満である。			
思考力	多様なニーズについて実践事例を通して理解し、支援方法を考えられる力を身につける。	受講態度	40	5	授業内容を理解した上で説明ができ、授業の欠席が2回以下である。			
				4	授業内容を理解した上である程度の説明ができ、授業の欠席が3回である。			
				3	授業内容を理解した上で説明しようとする意欲があり、授業の欠席が4回である。			
				2	授業内容を理解し、授業の欠席が5回である。			
				1	授業内容を理解しておらず、授業の欠席が6回以上である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「子ども家庭支援論 第2版(新・基本保育シリーズ 5)」 松原康雄・村田典子・南野奈津子編著 中央法規出版 (2022年12月)								
参考書： 「気づく かかわる つなげる：保育者のための子どもと保護者の育ちを支えるガイドブック」 全国社会福祉協議会 子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会 編 全国社会福祉協議会出版 (2017年4月)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
<ul style="list-style-type: none"> ・確認テストやレポート課題のフィードバックを授業内で行う。 ・保育士課程の必修科目である。 								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と必要性	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
2 子ども家庭支援の目的と機能	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
3 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
4 子どもの育ちの喜びの共有	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
5 子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
6 保育士に求められる基本的態度	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
7 家庭の状況に応じた支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
8 地域の資源の活用と関係機関等との連携・協力	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
9 子育て家庭の福祉を図るための社会資源	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
10 子育て支援施策・次世代育成新施策の推進	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
11 子ども家庭支援の内容と対象	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
12 保育所等を利用する子どもの家庭への支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
13 地域の子育て家庭への支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
14 要保護児童等及びその家庭に対する支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
15 子ども家庭支援に関する現状と課題 (知識の定着、概念の理解、確認テスト)	事前学習： これまでの授業内容を復習する。 事後学習： 確認テストで分からなかった部分は教科書や参考資料を読む。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0071	子ども家庭支援の心理学	巢立佳宏	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 本科目では、保育者に求められる家庭支援の意義と枠組みについて学び、生涯発達を踏まえた「子どもと家庭を支援する」視点を身につけることを目標にしている。また、臨床心理学及び発達心理学を専門としている教員が、具体的な事例を通して授業を行うことで、子どもの発達にとって重要な役割を果たす家族や家庭についての学びを深め、家族機能の変化や課題について理解し、家庭を支援していくための知見を習得することを目的としている。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育者として、生涯発達を見据えて、乳幼児期における親子関係の形成と基本的信頼感の獲得や、家庭支援における知見を習得する。	確認テスト	60	5	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が9割以上である。			
				4	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が8割以上である。			
				3	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が7割以上である。			
				2	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割以上である。			
				1	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割未満である。			
思考力	保育者として、子ども家庭支援に関する知識・技術を活用して、個々の支援法や対応策を考えることができる。	受講態度	20	5	講義内容を理解し、講義に関心をもち、積極的に参加し、他者に学んだ内容を伝えている。			
				4	講義内容を理解し、講義に関心をもち、ほとんど積極的に参加している。			
				3	講義内容を理解し、講義に関心をもち、だいたい参加している。			
				2	講義内容を理解し、講義に関心をもち、あまり参加していない。			
				1	講義内容を理解し、講義に関心をもち、全然参加していない。			
実践力	保育者として、子どもと家庭を支援する観点から、支援方法の検討や問題解決ができる。	受講態度	20	5	授業やグループワーク等へ積極的に参加し、協力的な態度で意見を交換し、発表またはまとめることができる。			
				4	授業やグループワーク等へ積極的に参加し、協力的な態度で意見を交換することができる。			
				3	授業やグループワーク等へ積極的に参加し、意見を交換している。			
				2	授業やグループワーク等へ積極的に参加している。			
				1	授業やグループワーク等へ参加している。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 『子ども家庭支援の心理学』原信夫 井上美鈴 編（北樹出版） 参考書： 保育の心理学ー子どもの理解をケアにつなげるー 串崎幸代 編 教育情報出版								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 リアクションペーパーなどを用いて授業に関するフィードバックを行う 保育士課程の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 生涯発達とライフサイクル	事前学習： ライフサイクルについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
2 乳幼児期から学童期前期にかけての発達	事前学習： ライフサイクル論とアタッチメント理論について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
3 学童期後期から青年期にかけての発達	事前学習： 学童期後期の仲間関係の発達について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
4 成人期から老年期にかけての発達	事前学習： 青年から成人への移行期について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
5 家族・家庭の意義と機能	事前学習： 明治期以降の家族の変容について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
6 親子関係・家族関係の理解	事前学習： 親子関係について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
7 子育ての経験と親としての育ち	事前学習： 親になることでの心境の変化について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
8 子どもと家庭の状況	事前学習： 少子高齢化社会について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
9 ライフコースと仕事・子育て	事前学習： ライフコースとは何か情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
10 多様な家庭とその理解	事前学習： ひとり親家庭の背景について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
11 特別な配慮を要する子どもと家庭	事前学習： 保育における特別な配慮について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
12 なぜ子どもの精神保健を学ぶのか	事前学習： 精神保健とは何か情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
13 子どもの生活・生育環境とその影響	事前学習： レジリエンスについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
14 子どもの心の健康にかかわる問題	事前学習： 発達障害について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
15 確認テスト。総括	事前学習： 授業全体を振り返る 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0072	子育て支援	本蔵 達矢	後期	選択	演習	1	×	2
【授業のねらい及び身につく能力】 保護者に対する保育相談支援について具体的に理解し、保育士の行う子育て支援についてさまざまな場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を理解する。子育て支援がなぜ必要なのか、現在の日本の子育て支援の動向について、実際にどのような子育て支援が行なわれているのかを学ぶ。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	子育て支援における保育者の役割を自覚する	レポート	30	5	子育て支援における保育者の役割について極めて適切に理解している			
				4	子育て支援における保育者の役割について適切に理解している			
				3	子育て支援における保育者の役割について理解している			
				2	子育て支援における保育者の役割についてあまり理解していない			
				1	子育て支援における保育者の役割について全く理解していない			
専門的知識・技術	子育て支援における専門的知識について理解する	レポート	70	5	子育て支援における専門的知識に基づいた内容が極めて適切に記述されている			
				4	子育て支援における専門的知識に基づいた内容が適切に記述されている			
				3	子育て支援における専門的知識に基づいた内容が記述されている			
				2	子育て支援における専門的知識に基づいた内容があまり記述されていない			
				1	子育て支援における専門的知識に基づいた内容が全く記述されていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 李木明徳(編)『新保育ライブラリ 子育て支援』(北大路書房) 参考書：								
【その他】 保育士課程の必修科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
1 子育て支援とは何か	事前学習： シラバスを読み、授業の見直しをもつ 事後学習： 子育て支援がなぜ行われるようになったか復習する	1時間
2 保護者との相互理解と信頼関係の形成	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 保護者との相互理解と信頼関係の形成方法について復習する	1時間
3 子育てニーズへの気づきと多面的な理解	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 親子の姿から多くの読み取り方ができることについて復習する	1時間
4 子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 保育所や地域における子育て支援の機会や場について復習する	1時間
5 子ども及び保護者の状況・状態の把握	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 子育て支援の展開について復習する	1時間
6 支援の計画と環境の構成	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 子育て支援の計画と環境構成について復習する	1時間
7 支援の実践、記録・評価、カンファレンス	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 子育て支援を同僚とどのように共有しより良くしていく方法があるか復習する	1時間
8 職員間の連携・協働	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 職員間の連携・協働について復習する	1時間
9 社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 保育所以外にどのような専門家がいるか復習する	1時間
10 保育所における子育て支援	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 保育所における子育て支援の実際について復習する	1時間
11 地域の子育て家庭に対する支援	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 地域の子育て家庭に対する支援の実際について復習する	1時間
12 障害のある子ども及びその家庭に対する支援	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 障害のある子ども及びその家庭に対する支援の実際について復習する	1時間
13 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援について復習する	1時間
14 子ども虐待の予防と対応	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 子ども虐待の予防と対応について復習する	1時間
15 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解	事前学習： 教科書の該当ページを読む 事後学習： 自分の住んでいる地域の子育て支援について調べる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0073	乳児保育 I	篠沢 薫	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
乳児の発達、生活や遊びの実態に寄り添えるような保育実践をするために、乳児・1歳以上3歳未満児の発達、生活や遊びについて理解し、乳児保育の意義・目的・役割等を学ぶことをねらいとする。また保育者として必要な援助のための知識や技術を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	乳児保育の意義や、保育所保育指針における乳児保育の基本的事項、保育者の援助の基本について理解している。	定期試験	60	5	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が9割以上である。			
				4	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が8割以上である。			
				3	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が7割以上である。			
				2	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割以上である。			
				1	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割未満である。			
向上心・責任 感	乳児保育の重要性を理解し、子どもの健やかな育ちへの援助と子育て支援について、真摯に学ぶ。	受講態度	40	5	授業内容を理解した上で説明ができ、授業の欠席が2回以下である。			
				4	授業内容を理解した上である程度の説明ができ、授業の欠席が3回である。			
				3	授業内容を理解した上で説明しようとする意欲があり、授業の欠席が4回である。			
				2	授業内容を理解し、授業の欠席が5回である。			
				1	授業内容を理解しておらず、授業の欠席が6回以上である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「講義で学ぶ 乳児保育」 小山朝子編著 亀崎美沙子 善本真弓 わかば社 (2019年)								
参考書： 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園・保育要領解説」 フレーベル館 (2018年)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
・ 確認テストやレポート課題のフィードバックを授業内で行う。 ・ 保育士課程の必修科目である。								

人間生活学科 こども発達専攻 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 乳児保育の意義	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
2 乳児保育の目的と役割	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
3 乳児保育の基本 (乳児保育の歴史の変遷、子育て支援)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
4 0・1・2歳児の発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
5 乳児(0歳児)の保育内容	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
6 1歳以上3歳未満児の保育内容	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
7 乳児の生活と遊び	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
8 乳児の生活の基本 (食事、睡眠、排泄、環境ほか)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
9 乳児の遊びの実際	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
10 乳児保育の環境構成	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
11 乳児保育における全体的な計画	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
12 乳児保育における子育て支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
13 乳児保育における連携	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
14 子育てに寄り添う社会の重要性と保育者の専門性	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
15 乳児保育に関する現状と課題 (知識の定着、概念の理解、これまでの学びの総括)	事前学習： これまでの授業内容を復習する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決し、定期試験に備える。	1時間

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
16	事前学習： 事後学習：	
17	事前学習： 事後学習：	
18	事前学習： 事後学習：	
19	事前学習： 事後学習：	
20	事前学習： 事後学習：	
21	事前学習： 事後学習：	
22	事前学習： 事後学習：	
23	事前学習： 事後学習：	
24	事前学習： 事後学習：	
25	事前学習： 事後学習：	
26	事前学習： 事後学習：	
27	事前学習： 事後学習：	
28	事前学習： 事後学習：	
29	事前学習： 事後学習：	
30	事前学習： 事後学習：	

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0074	乳児保育Ⅱ	篠沢 薫	後期	選択必修	演習	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
「乳児保育Ⅰ」で学んだ乳児保育に関する基礎知識を基にして、保育者として必要な援助のための知識や技術を身につけることをねらいとする。また乳児・1歳以上3歳未満児の発達、生活や遊びについて理解し、乳児保育の意義・目的・役割等を学ぶことをねらいとする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価		評価観点		
専門的知識・ 技術	乳児保育の重要性を理解し、 保育内容や子育て支援について 具体的に提案できる。	レポート	40	5	乳児保育における保育内容等の理解を確認するレポートの得点が9割以上である。			
				4	乳児保育における保育内容等の理解を確認するレポートの得点が8割以上である。			
				3	乳児保育における保育内容等の理解を確認するレポートの得点が7割以上である。			
				2	乳児保育における保育内容等の理解を確認するレポートの得点が6割以上である。			
				1	乳児保育における保育内容等の理解を確認するレポートの得点が6割未満である。			
実践力	3歳未満児の発達過程や特性を 踏まえた援助の基本を理解し、 実践する。	受講態度	60	5	授業内容を理解した上で説明ができ、授業の欠席が2回以下である。			
				4	授業内容を理解した上である程度の説明ができ、授業の欠席が3回である。			
				3	授業内容を理解した上で説明しようとする意欲があり、授業の欠席が4回である。			
				2	授業内容を理解し、授業の欠席が5回である。			
				1	授業内容を理解しておらず、授業の欠席が6回以上である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「演習で学ぶ 乳児保育」 小山朝子編著 亀崎美沙子 善本真弓 わかば社 (2020年)								
参考書： 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園・保育要領解説」 フレーベル館 (2018年)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
・レポート課題のフィードバックを授業内で行う。 ・保育士課程の必修科目である。								

人間生活学科 こども発達専攻 1年次

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 乳児保育の意義	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
2 0～3歳までの発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
3 食事の援助と環境 (調乳、授乳、離乳食)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
4 排泄の援助と環境 (おむつ交換)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
5 睡眠・休息の援助と環境	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
6 着脱の援助と環境	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
7 清潔の援助と環境	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
8 乳児保育における健康と安全	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
9 乳児(0歳児)の保育内容と遊び	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
10 1歳以上3歳未満児の保育内容	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
11 1歳以上3歳未満児の遊び	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
12 乳児保育における計画と評価	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
13 乳児保育における連携 (職員間や家庭との連携)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
14 乳児保育における連携 (地域との連携)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
15 乳児保育に関する現状と課題 (これまでの学びの総括)	事前学習： これまでの授業内容を復習する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0076	子どもの保健	鈴木 香織	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 子どもにふさわしい生活の場を提供することにおいて、健康で情緒の安定した生活ができる安全な環境を作ることが大切であることから、子どもの心と体の健康を保持・増進するためにどのような保健活動を行ったらよいかを理解しておく必要がある。「子どもの保健」では、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義や、身体的発育・発達と保健、心身の健康状態とその把握の方法、疾病と疾病の予防法及び多職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解し、実践の基礎となる知識を習得する。実務家教員として、病院や保健所、保健センターでの実務経験から得られた母子保健や疾病・感染症の予防や対応、虐待への対応、関係機関との連携等についての知見を授業に取り入れる。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・技術	子どもの心身の特性を理解し、保健活動に関する基本的な知識を得る	定期試験	70	5	子どもの心身の特性・健康の知識を十分に習得し、保育に反映できる準備が十分にできた			
				4	子どもの心身の特性・健康の知識を習得し、保育に反映できる準備ができた			
				3	子どもの心身の特性・健康の知識を概ね習得し、保育に反映できる準備も概ねできた			
				2	子どもの心身の特性・健康の知識を概ね習得したが、保育に反映できる準備は不十分である			
				1	子どもの心身の特性・健康の知識の習得が不十分であり保育に反映できる準備が不十分である			
コミュニケーション力	保健活動に関する基本的な知識を他者に説明することが出来る	レポート	20	5	保健活動に関する基本的な知識をわかりやすく自分の言葉で表現することができる			
				4	保健活動に関する基本的な知識を自分の言葉で表現することができる			
				3	保健活動に関する基本的な知識を概ね自分の言葉で表現することができる			
				2	保健活動に関する基本的な知識を自分の言葉で表現することがやや不十分である			
				1	保健活動に関する基本的な知識を自分の言葉で表現することが不十分である			
実践力	健康について保護者が関心を持つ内容を適切に説明できる	作品	10	5	健康について保護者が関心を持つ内容をわかりやすく適切に説明できる			
				4	健康について保護者が関心を持つ内容を適切に説明できる			
				3	健康について保護者が関心を持つ内容を概ね説明できる			
				2	健康について保護者が関心を持つ内容の説明が不十分である			
				1	健康について保護者が関心を持つ内容を説明できない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 鈴木美枝子編著 『これだけはおさえたい！保育者のための子どもの保健（改訂版）』（創成社） 参考書：								
【その他】 レポート・作品のフィードバックを行う 保育士課程の必修科目 実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 健康の概念 保健活動の意義と目的	事前学習： シラバスを確認する 事後学習： 授業内容を復習する	4
2 健康指標 子どもの健康に関する現状	事前学習： 子どもに関する統計や健康問題に関するニュースを調べる 事後学習： 授業内容を復習する	4
3 地域における保健活動 虐待	事前学習： 子どもの虐待に関するニュースを調べる 事後学習： 授業内容を復習する	4
4 身体発育	事前学習： 自分の母子健康手帳を見て自分がどのように身体発育してきたのかを確認する 事後学習： 授業内容を復習する	4
5 運動機能の発達 健康診断	事前学習： 自分の母子健康手帳を見て自分がどのように運動発達してきたのかを確認する 事後学習： 授業内容を復習する	4
6 生理機能の発達	事前学習： 自分の平熱・脈拍数・呼吸数・生活リズムについて確認する 事後学習： 授業内容を復習する	4
7 健康状態の観察 心身の不調等の早期発見	事前学習： 自分の体調が悪かった時の状態やどのように対応したのかを思い出す 事後学習： 授業内容を復習する	4
8 アレルギー疾患（1）	事前学習： 教科書 p 140-157のアレルギーに関する内容を一読する 事後学習： 授業内容を復習する	4
9 アレルギー疾患（2） アレルギー疾患・感染症以外の病気（1）	事前学習： これまでに得たアレルギーの知識を確認する 事後学習： 授業内容を復習する	4
10 アレルギー疾患・感染症以外の病気（2）	事前学習： これまでに自分が罹った疾患やその時の様子や対応を思い出す 事後学習： 授業内容を復習する	4
11 感染症（1）	事前学習： これまでに自分が罹った感染症を確認する 事後学習： 授業内容を復習する	4
12 感染症（2） 感染症の予防と適切な対応（1）	事前学習： 教科書 p 96-121の感染症に関する内容を一読する 事後学習： 授業内容を復習する	4
13 感染症の予防と適切な対応（2）	事前学習： 自分の母子健康手帳で自分がこれまでに受けた予防接種を確認する 事後学習： 授業内容を復習する	4
14 保護者との情報共有	事前学習： 保育の現場で、保護者とのような関わりがあるかを考える 事後学習： 授業内容を復習する	4
15 まとめ	事前学習： 定期試験に向けて、これまでに学習した内容を確認する 事後学習：	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0077	子どもの健康と安全	鈴木 香織	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 子どもの健康と安全の確保は、子どもの生命の保持や健やかな生活の基本である。保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助、体調不良等に対する適切な対応、子どもの健康及び安全管理に関わる組織的取組や保健活動の計画及び評価等について具体的に理解する。また、関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止・安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に理解する。 実務家教員として、これまでの病院や保健所、保健センターでの実務経験から得られた病気を抱えて生活をしている子どもへの対応や体調不良時の対応、感染症の予防や対応、関係機関との連携についての知見を授業に取り入れる。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・技術	保育現場での保健活動に必要な知識を習得している	定期試験	60	5	保育現場における保健活動の知識を十分に習得し、保育に反映できる準備が十分にできた			
				4	保育現場における保健活動の知識を習得し、保育に反映できる準備ができた			
				3	保育現場における保健活動の知識を概ね習得し、保育に反映できる準備が概ねできた			
				2	保育現場における保健活動の知識を概ね習得したが、保育に反映できる準備は不十分である			
				1	保育現場における保健活動の習得が不十分であり保育に反映できる準備が不十分である			
実践力	保健的観点を踏まえた活動の実際をイメージすることができる	レポート	40	5	保健的観点を踏まえた活動の実際を十分にイメージすることができる			
				4	保健的観点を踏まえた活動の実際をイメージすることができる			
				3	保健的観点を踏まえた活動の実際を概ねイメージすることができる			
				2	保健的観点を踏まえた活動の実際をイメージすることが不十分である			
				1	保健的観点を踏まえた活動の実際をイメージすることが出来ない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 鈴木美枝子編著 『これだけは押さえてたい！保育者のための子どもの健康と安全（改訂2版）』（創成社） 参考書：								
【その他】 レポートのフィードバックを行う 保育士課程の必修科目 実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
オリエンテーション 1 保育における保健的対応の基本的な考え方 (1) 健康診断	事前学習: 「子どもの保健」で学習した(1)に関する内容について復習する 事後学習: 授業内容を復習する	1
2 保育における保健的対応の基本的な考え方 (2) 健康観察 (3) 身体計測 (演習含む)	事前学習: 「子どもの保健」で学習した(2)(3)に関する内容について復習する 事後学習: 授業内容を復習する	1
3 3歳未満児への対応 (演習含む)	事前学習: 教科書の該当ページP180～P213を一読する 事後学習: 授業内容を復習する	1
4 体調不良や傷害が発生した場合の対応(1) 発熱・下痢・嘔吐・咳・発疹	事前学習: 自分や家族が授業内容に関する体調不良を経験した時の気持ちや対応を整理する 事後学習: 授業内容を復習する	1
5 体調不良や傷害が発生した場合の対応(2) 腹痛・けいれん・脱水・頭痛・熱中症他	事前学習: 自分や家族が授業内容に関する体調不良を経験した時の気持ちや対応を整理する 事後学習: 授業内容を復習する	1
6 体調不良や傷害が発生した場合の対応(3) 薬 応急手当	事前学習: 薬についての自分の知識を整理する これまでに自分がケガ等を経験した時の気持ちや対応を思い出す 事後学習: 授業内容を復習する	1
7 職員間の連携・協同と組織的取り組み 保健計画 家庭・専門機関・地域の関係機関との連携	事前学習: 子どもに関係している地域の機関を調べる 事後学習: 授業内容を復習する	1
8 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応(1) アレルギー疾患	事前学習: 「子どもの保健」で学習したアレルギー疾患について復習する 事後学習: 授業内容を復習する	1
9 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応(2) 慢性疾患・障害のある子ども	事前学習: 「子どもの保健」で学んだアレルギー・感染症以外の疾患について復習する 事後学習: 授業内容を復習する	1
10 災害への備え 危機管理	事前学習: 自宅でのどのような災害への備えを行っているかを確認する 事後学習: 授業内容を復習する	1
11 事故防止 安全対策	事前学習: 子どもに関わっていた時にヒヤリとした出来事を振り返る 事後学習: 授業内容を復習する	1
12 感染症対策	事前学習: 「子どもの保健」で学習した感染症について復習する 事後学習: 授業内容を復習する	1
13 衛生管理 (演習含む)	事前学習: 教科書p12-26の衛生管理に関する内容を一読する 事後学習: 授業内容を復習する	1
14 応急手当 (演習含む)	事前学習: 第6回の授業内容を復習する 事後学習: 授業内容を復習する	1
15 一次救命処置 (演習含む)	事前学習: 定期試験に向けて、これまでに学習した内容を確認する 事後学習:	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0078	子ども家庭福祉	巢立佳宏	前期	必修	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 子ども家庭福祉では、子どもの年齢を中心にした制度適応基準の福祉政策について学ぶ。専任教員の児童養護施設や子育て支援センター、小学校などでの実務経験を生かした具体的な事例を紹介した授業を行うことで、保育者として、子どもの最善の利益を守る支援の理解を深め、実践できる力を身につけることを目標とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育者として、子どもや子育て家庭をめぐる福祉的課題を理解し、子ども家庭福祉の制度や支援体系など、基礎的な知識や考えを習得する。	確認テスト	70	5	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が9割以上である。			
				4	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が8割以上である。			
				3	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が7割以上である。			
				2	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割以上である。			
				1	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割未満である。			
実践力	保育者として、子どもの最善の利益を守る支援の理解を深め、実践できる力を身につけることを目標とする。	受講態度	30	5	授業やグループワーク等へ積極的に参加し、協力的な態度で意見を交換し、発表またはまとめることができる。			
				4	授業やグループワーク等へ積極的に参加し、協力的な態度で意見を交換することができる。			
				3	授業やグループワーク等へ積極的に参加し、意見を交換している。			
				2	授業やグループワーク等へ積極的に参加している。			
				1	授業やグループワーク等へ参加している。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 『事例で楽しく学ぶ子ども家庭福祉』 芝野松次郎 編（中央法規） 参考書： 全国保育士養成校協議会編集『ひと目でわかる保育者のための子ども家庭福祉データブック2025』（中央法規）								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 リアクションペーパーなどを用いて授業に関するフィードバックを行う 保育士課程の必修科目 ・ 幼稚園教諭2種								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 子ども家庭福祉の理念と概念	事前学習： 参考書を読み込んでおく 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
2 子ども家庭福祉の歴史の変遷	事前学習： 戦後の子どもの児童家庭福祉について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
3 子どもの人権擁護	事前学習： 子どもの権利条約などについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
4 子ども家庭福祉の制度と法体系	事前学習： 児童福祉6法について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
5 子ども家庭福祉の実施体系	事前学習： 子ども家庭福祉行政の現状について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
6 児童福祉施設	事前学習： 児童福祉施設について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
7 子ども家庭福祉の専門職	事前学習： 家庭の生活課題について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
8 少子化と地域子育て支援の現状と課題	事前学習： 少子化対策の現状と今後の課題について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
9 母子保健と子どもの健全育成	事前学習： 母子保健法について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
10 多様な保育ニーズへの対応	事前学習： 医療的ケア児について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
11 児童虐待、DVとその防止	事前学習： 児童虐待やDVについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
12 社会的養護	事前学習： 社会的養護の概要について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
13 障害のある子どもへの対応	事前学習： ノーマライゼーションについて情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
14 貧困家庭、外国籍、少年非行等の子どもとその家庭への対応	事前学習： 海外の貧困について情報を収集する 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間
15 子ども家庭福祉の動向とその展望	事前学習： 次世代育成支援の現状と課題 事後学習： 授業内での問いに対し、自分なりに理解できたことを整理する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0079	こどもと読書生活	生田 美秋・ 宇杉 美絵子	集中	選択	講義	(2)	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 こどもの豊かな言語活動・読書活動を支えるために、読書環境の整備や絵本の活用などについて考える。幼稚園教諭・保育士養成科目における絵本や読書活動に関する学習と並行させ、本授業においては、読書活動の企画力や指導法、状況に応じた絵本の選択眼などを身につけていく。本授業は「認定絵本士」養成のための中核となる科目である。認定絵本士養成カリキュラムの各課題を統合し、豊かな読書活動・読書生活を提供・提案できる保育者となることを目指していく。学外活動や体験授業も多いので、積極的に参加すること。(2025年度入学生対象)								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	さまざまな絵本作品や児童文化財に習熟する。	受講態度	20	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題の取り組みが8割未満である。			
専門的知識・ 技術	読書活動の構想を練ることができる。	レポート	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
コミュニケー ション力	他学生とともに読書活動について構想を立て、適切な援助を受けることができる。	受講態度	30	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題の取り組みが8割未満である。			
向上心・責任 感	絵本を積極的に活用し、認定絵本士としての自覚を持つ。	レポート	30	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 絵本専門士委員会独立行政法人国立青少年教育振興機構編『認定絵本士養成講座テキスト』（中央法規出版） 参考書： 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、その他テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 提出物のフィードバックを行う。返却されたものは認定絵本士ファイルにまとめること。 保育士課程の選択必修科目、認定絵本士の必修科目。教材費：1年次7000円・2年次3000円を徴収する。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 豊かな読書活動を提案するために (1年前期)	事前学習: 絵本専門士・認定絵本士について調べておく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
2 絵本とは (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
3 絵本の歴史 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
4 メディアとしての絵本 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
5 絵本の紹介1 ブックトーク (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
6 絵本の紹介2 書評と紹介文 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
7 絵本の持つ力 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
8 絵本のある空間 (1年前期)	事前学習: 作品の準備をしておく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
9 図書館での出会い (1年後期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
10 絵本の提案 (1年後期)	事前学習: 事前課題に取り組む。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
11 絵本の流通 (1年後期)	事前学習: 事前課題に取り組む。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
12 絵本作家の感性 (1年後期)	事前学習: 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
13 絵本の編集 (1年後期)	事前学習: 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
14 心のケアと絵本 (2年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
15 人生で三度絵本を手にする喜び (2年前期)	事前学習: 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
16 キャラクター商品の展開 (2年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
17 ホスピタリティに学ぶ (2年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
18 おはなし会を開く (2年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
19 おはなし会の手法を学ぶ (2年前期)	事前学習: 作品の準備をしておく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
20 絵本専門士との連携 (2年前期)	事前学習: これまでの学習記録をまとめておく。 事後学習: レポートを作成する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0079	こどもと読書生活	生田 美秋・ 宇杉 美絵子	集中	選択	講義	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 こどもの豊かな言語活動・読書活動を支えるために、読書環境の整備や絵本の活用などについて考える。幼稚園教諭・保育士養成科目における絵本や読書活動に関する学習と並行させ、本授業においては、読書活動の企画力や指導法、状況に応じた絵本の選択眼などを身につけていく。本授業は「認定絵本士」養成のための中核となる科目である。認定絵本士養成カリキュラムの各課題を統合し、豊かな読書活動・読書生活を提供・提案できる保育者となることを目指していく。学外活動や体験授業も多いので、積極的に参加すること。（2024年度入学生対象）								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	さまざまな絵本作品や児童文化財に習熟する。	受講態度	20	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題の取り組みが8割未満である。			
専門的知識・ 技術	読書活動の構想を練ることができる。	レポート	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
コミュニケー ション力	他学生とともに読書活動について構想を立て、適切な援助を受けることができる。	受講態度	30	5	授業内での課題に積極的に取り組み、すべて提出する。			
				4	授業内での課題に積極的に取り組み、9割以上提出する。			
				3	授業内での課題に取り組み、9割以上提出する。			
				2	授業内での課題に取り組み、8割以上提出する。			
				1	授業内での課題の取り組みが8割未満である。			
向上心・責任 感	絵本を積極的に活用し、認定絵本士としての自覚を持つ。	レポート	30	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 絵本専門士委員会独立行政法人国立青少年教育振興機構編『認定絵本士養成講座テキスト』（中央法規出版） 参考書： 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、その他テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 提出物のフィードバックを行う。返却されたものは認定絵本士ファイルにまとめること。 保育士課程の選択必修科目、認定絵本士の必修科目。教材費：1年次7000円・2年次3000円を徴収する。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 豊かな読書活動を提案するために (1年前期)	事前学習: 絵本専門士・認定絵本士について調べておく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
2 絵本とは (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
3 絵本の歴史 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
4 メディアとしての絵本 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
5 絵本の紹介1 ブックトーク (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
6 絵本の紹介2 書評と紹介文 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
7 絵本の持つ力 (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
8 絵本のある空間 (1年前期)	事前学習: 作品の準備をしておく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
9 人生で三度絵本を手にする喜び (1年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
10 図書館での出会い (1年後期)	事前学習: 事前課題に取り組む。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
11 絵本の提案 (1年後期)	事前学習: 事前課題に取り組む。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
12 絵本の流通 (1年後期)	事前学習: 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
13 絵本作家の感性 (1年後期)	事前学習: 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
14 絵本の編集 (1年後期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
15 心のケアと絵本 (2年前期)	事前学習: 取り上げる作品を選んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
16 キャラクター商品の展開 (2年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
17 ホスピタリティに学ぶ (2年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
18 おはなし会を開く (2年前期)	事前学習: 学習箇所を読んでおく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
19 おはなし会の手法を学ぶ (2年前期)	事前学習: 作品の準備をしておく。 事後学習: 本時の学習内容を理解し、課題に取り組む。	4時間
20 絵本専門士との連携 (2年前期)	事前学習: これまでの学習記録をまとめておく。 事後学習: レポートを作成する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0080	保育内容の指導法 (情報機器の活用を含む)	伊坪 有紀子	集中	選択	演習	2	○	2
〔授業のねらい及び身につく能力〕 保育内容について、乳幼児の心身の発達や認識・思考・動きを視野に入れて、生活や遊び体験を捉え、情報機器を活用した具体的な保育の指導案を作成し、こどもの発達に即した保育の実践を通して保育を構想する方法を身につける。複合領域での学びを生かした指導法について考え実践する力が身につく。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
実践力	こどもの発達をふまえた遊びの計画案を作成することができる	レポート	20	5	実現可能でこどもの興味関心をひく創意あふれる遊びの計画案を考え、保育内容の学びを生かして作成することができる			
				4	こどもの興味関心をひく創意あふれる遊びの計画案を考え、保育内容の学びを生かして作成することができる			
				3	実現可能な遊びの計画案を考え、保育内容の学びを生かして作成することができる			
				2	現実的な遊びの計画案を考え、作成することができる			
				1	遊びの計画案を作成することができる			
実践力	情報機器を活用し、実践内容についてプレゼンテーションを行い、自ら課題を発見することができる	作品	20	5	情報機器を効果的に活用し、プレゼンテーションを行い計画を十分に説明できる ICTの活用により自己課題を見つけることができる			
				4	情報機器を活用し、プレゼンテーションを行い計画を説明できる ICTの活用により自己課題を見つけることができる			
				3	情報機器を活用し、プレゼンテーションを行うが計画の説明が不十分である ICTの活用により自己課題を見つけることができる			
				2	プレゼンテーションを行うが計画の説明が不十分である ICTの活用により自己課題を見つけることができる			
				1	情報機器を活用し、プレゼンテーションを行うが計画の説明が不十分である ICTの活用が不十分である			
実践力	実際にこどもと関わり、状況に応じてこどもに寄り添うことができる	受講態度	20	5	状況に応じてこどもと関わることができ、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かしよりよく行動できる			
				4	状況に応じてこどもと関わるができ、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かすことができる			
				3	こどもと関わるができ、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かし行動できる			
				2	こどもと関わるができるが、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かしきれない			
				1	こどもとの関わりが不十分である			
実践力	こどもの発達と心理をふまえたおもちゃや小物を作成できる	作品	20	5	発達と安全性を考慮し、対象年齢を考えてもらう人がよるこぶ作品を考案・作成できる			
				4	発達と安全性を考慮し、こどもがよるこぶ作品を考案・作成できる			
				3	発達と安全性を考慮し、対象年齢を考えて作品を考案・作成できる			
				2	対象年齢を考えてもらう人がよるこぶ作品を考案・作成できる			
				1	作品を考案・作成できているが、配慮が不十分である			
向上心・責任感	実践のための役割分担を考え、実行することができる	受講態度	20	5	全体の中での自分の役割について客観的に考え、責任をもって行動することができる			
				4	全体の中での自分の役割について考え、責任をもって行動することができる			
				3	全体の中での自分の役割について考え、行動することができる			
				2	全体の中での役割を考えるが、行動が不十分である			
				1	全体での役割を考えることが不十分である			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
〔教科書・参考書〕 教科書： 参考書： 植田光子編『手あそび百科』（ひかりのくに）、島山智宏『ワークシートで学ぶこどもの造形表現』（開成出版） 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレパール館）								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックを行う。 保育士課程の必修科目、幼稚園教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス 乳幼児向けの遊びとはなにか	事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： ガイダンスの内容をふまえてレポートを作成する	1時間
2 遊びの意義・ねらい 指導実践計画案作成	事前学習： 遊びのテーマを考える 事後学習： グループ間の調整を図る 授業内容をまとめる	1時間
3 遊びと指導の検討 情報の収集と分析	事前学習： 遊び・指導案の発案のための情報の収集 事後学習： 指導案の精査	1時間
4 環境づくり	事前学習： 材料・道具の準備 事後学習： 見直し	1時間
5 安全管理について	事前学習： 材料・道具の準備 事後学習： 中間発表準備	1時間
6 こどもと表現(プレゼンテーション手法を学ぶ) アクティブラーニングスタジオの活用	事前学習： 中間発表準備 事後学習： 授業の振り返り 計画の見直し	1時間
7 遊びの指導	事前学習： 材料・道具の準備 練習 事後学習： 実践準備	1時間
8 言葉とコミュニケーション 情報機器の活用	事前学習： 準備・練習 事後学習： 表現手法の洗練・手あそび練習	1時間
9 遊びの準備・環境	事前学習： 準備・練習 事後学習： 環境の見直し	1時間
10 遊びの実践1 保育内容での学びを活かして	事前学習： 準備・練習 事後学習： 実践の振り返り 分析	1時間
11 遊びの実践2 こどもとの関わり	事前学習： 準備・練習 事後学習： 実践の振り返り	1時間
12 保育者の役割	事前学習： 意義について考える 事後学習： 記録・反省	1時間
13 遊びの評価 分析手法を学ぶ(KPT表を用いて)	事前学習： 情報を収集しておく 事後学習： 情報の分析	1時間
14 伝わる表現	事前学習： アイデアの検討 練習 事後学習： 発表準備	1時間
15 保育の中の遊び アクティブラーニングスタジオの活用	事前学習： 発表準備 事後学習： 動画による振り返り	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0081	保育内容の理解と方法 (教材の活用を含む)	馬場 千晶	集中	選択	演習	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>子どもの発達、取り巻く環境、保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な技術を実践的に習得する。</p> <p>保育における教材等の作成と、具体的展開のための技術を実践的に習得する。</p> <p>グループでの制作及び発表と、個人での制作及び発表を行う。自らの発表と他者の発表を聞くことを通して、伝えたいテーマが伝わる方法を身につける。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
実践力	子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な技術を実践的に習得する。	作品	50	5	作品が、子どもが理解しやすく、丁寧で美しい仕上がりになっており、かつ丈夫に作られている			
				4	作品が、子どもが理解しやすく、丁寧で丈夫に作られている			
				3	子どもにとっての分かりやすさ、または、丁寧さや丈夫さにやや欠けるところがある。			
				2	作品が、丁寧さや丈夫さに欠けている。			
				1	作品が丁寧さや丈夫さに著しく欠けているか、完成に至らない。			
コミュニケーション力	グループまたは個人で自ら発表すること、他者の発表を聞くことを通して、子どもに伝えたいテーマを表現する方法を身につける	受講態度	30	5	発表に、テーマを表現する工夫が強く感じられる			
				4	発表に、テーマを表現する工夫が感じられる			
				3	発表に、テーマを表現する工夫が少し感じられる			
				2	発表に、テーマを表現する工夫と意欲があまり感じられない			
				1	発表に、テーマを表現する工夫と意欲がほとんど感じられない			
思考力	自らの発表と他者の発表を振り返り、まとめることができる	レポート	20	5	自らの発表と他者の発表を振り返り、良さや課題に気づき多くを学ぶことができる			
				4	自らの発表と他者の発表を振り返り、多くを学ぶことができる			
				3	自らの発表と他者の発表を振り返り、気づきがある			
				2	自らの発表の振り返りが不十分である。他者の発表からの気づきが乏しい			
				1	自らの発表と他者の発表を振り返り記述することができていない			
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 使用しない</p> <p>参考書： 鮫島良一・馬場千晶 著『つくる・かく・あそぶ こどものアートブック』（日本文教出版）</p> <p>『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレバール館）</p>								
【その他】								
<p>作品やレポートのフィードバックを行う。</p> <p>幼稚園教諭2種免許状、保育士課程の必修科目</p>								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
1 乳幼児の遊びを深める① グループで作る 1 オリエンテーション・授業の進め方	事前学習： シラバスに目を通し、授業の流れを理解する。 事後学習： 乳幼児の表現や遊びの基本的な考え方を知り、プリントにまとめる。	1時間
2 乳幼児の遊びを深める② グループで作る 2 グループでテーマや目的を共有し作り込む	事前学習： 作品のアイデアやテーマ・素材などをグループで用意する。 事後学習： テーマと関連する遊びや動きを考える。	1時間
3 乳幼児の遊びを深める③ グループで作る 3 テーマや展開を考え背景や中心となる制作物を作る	事前学習： 各グループで、発表するため制作物を仕上げていく。 事後学習： 発表に向けて、足りない素材や道具を確保する。	1時間
4 乳幼児の遊びを深める④ 発表する環境や、発表の仕方を整える	事前学習： 各グループで、発表するため制作物を仕上げていく。 事後学習： 発表に向けて、練習する。	1時間
5 乳幼児の遊びを深める⑤ 学年発表会・鑑賞会	事前学習： 事前に発表内容を確認する。 事後学習： 他グループの発表を鑑賞し、振り返りレポートを作成する。	1時間
6 児童文化財を作ろう① 発表に向けて 1 子どもに伝えたいテーマとストーリーを考える	事前学習： 自分が子どもに伝えたいテーマを考える。 事後学習： ラフスケッチを描く。	1時間
7 児童文化財を作ろう② 発表に向けて 2 グループ内でイメージの共有をし展開する	事前学習： 自分が作ってみたい児童文化財を考える。 事後学習： 自分達が真間祭での児童文化財について調べる。	1時間
8 児童文化財を作ろう③ 発表に向けて 3 テーマや展開を考え中心となる制作物を作る	事前学習： 必要な材料を用意する。 事後学習： 次回の制作活動に向け、資料を集めデザインを見直す。	1時間
9 児童文化財を作ろう④ 発表に向けて 4 テーマや展開を考え背景となるものを作り上げる	事前学習： 必要な材料を用意する。 事後学習： イメージを共有し完成までの計画を立てる。	1時間
10 児童文化財を作ろう⑤ 発表に向けて 5 細部まで丁寧に仕上げる	事前学習： 必要な材料を用意する。 事後学習： 作品群を完成させる。	1時間
11 児童文化財を作ろう⑥ 発表に向けて 6 伝えたいテーマが伝わるように工夫する	事前学習： 必要な材料を用意する。 事後学習： 準備に向けて足りないものを確保する。	1時間
12 児童文化財を作ろう⑦ 発表に向けて 7 導線や安全管理を徹底し確認する	事前学習： 必要な材料を準備する。 事後学習： 仲間と相談し、進め方を検討する。	1時間
13 発表・準備と実行 目的にふさわしい看板や装飾、表現する環境を整える	事前学習： 必要な材料を準備する。 事後学習： 仲間で分担し、それぞれ責任を持って確認する。	1時間
14 発表・実行と片付け 来場者のこどもたちなどにに関わり、表現を伝える	事前学習： 必要な材料を準備する。 事後学習： 発表の際の来客者やこども対応を振り返る。	1時間
15 発表・振り返り 授業を振り返り、学びの意義を考える	事前学習： 片付けの段取りを把握しておく。 事後学習： 児童文化財の意味を考え振り返りレポートを提出する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0082	こどもの図画工作	馬場 千晶	後期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 廃材や様々な素材を用い、乳幼児及び小学生を対象とした造形活動を行い、造形活動における環境構成や配慮点を学ぶ。図画工作の専門的な分野を学び、保育に役立てる力を養う。地域もしくは学内の子ども施設と連携し、実際に子どもたちと造形活動を行う。状況を鑑み、交流活動を模擬保育等に変更する場合もある。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	子どもと共に行う実践活動において、計画と振り返りが出来る。(20%) 各制作後、活動を振り返り考察することができる。(20%)	受講態度	25	5	指導計画が対象年齢にふさわしいものである。実践のまとめを分かりやすくまとめている。			
				4	指導計画が対象年齢におよそふさわしいものである。実践のまとめを分かりやすくまとめている。			
				3	指導計画が対象年齢にあまり合っていない。実践のまとめが不十分である。			
				2	指導計画が対象年齢に合っていない。実践のまとめが不十分であり、分量的にも乏しい。			
				1	「2」の内容で、かつ期日までに提出できていない。			
コミュニケーション力	子どもとの交流活動において、仲間と連携し、子どもに理解しやすい説明や共感的な言葉かけが出来る	受講態度	25	5	交流活動を行う際、保育者役として子どもへの直接的・間接的な援助が適切にできる。また、仲間と連携して行うことができる。			
				4	交流活動を行う際、保育者役として子どもへの直接的・間接的な援助がほぼ適切にできる。また、仲間と連携して行うことができる。			
				3	交流活動を行う際、保育者役として子どもへの直接的援助はできるが間接的な援助ができていない。			
				2	交流活動を行う際、保育者役として子どもへの直接的援助にも間接的な援助にも課題がある。また、仲間との連携があまりできていない。			
				1	交流活動を行う際、保育者役として子どもへのかかわりが著しく不足している。また、仲間と協力できない。			
実践力	造形活動において楽しんで制作し、自分なりに考えたり工夫したりして作ることができる。	作品	50	5	自分なりに考えたり工夫したりして作ったことが、作品に強く表れており、丁寧に作られている。			
				4	自分なりの工夫が感じられ、丁寧に作られている。			
				3	作品がおよそ提出されているが、工夫が乏しく、丁寧に欠ける。			
				2	提出された作品が半数程度で、丁寧に欠ける。			
				1	提出された作品が少なく、雑であり、作品への思いが乏しい。			
【教科書・参考書】 教科書： 使用しない(適宜プリント配布) 参考書： 鮫島良一・馬場千晶 著 『かく・つくる・あそぶ こどものアートブック』 (日本文教出版) 『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 (フレパール館)								
【その他】 作品やレポートのフィードバックを行う。 保育士課程の選択必修科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
1 授業計画及び地域交流(実践)の説明 造形活動における指導計画の注意点	事前学習： シラバスに目を通す。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
2 素材や道具に出会う① 紙を遊ぶ(廃材・リサイクル素材を使った工作)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
3 素材や道具に出会う② 版で表現する(間接表現を楽しむ版画)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
4 構造や仕組みを理解する① 動く仕組みを楽しむ(乗り物を作ろう)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
5 素材や道具に出会う③ たくさんの絵の具の種類に触れて表現をする	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
6 構造や仕組みを理解する② 幼児の工作考(作って遊ぶ10選)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
7 工芸の世界に触れる① 粘土を遊ぶ(焼き物・陶芸に挑戦①成形)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
8 構造や仕組みを理解する③ 板ダンボールを遊ぶ(パディを作ろう)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
9 工芸の世界に触れる② 粘土を遊ぶ(焼き物・陶芸に挑戦②釉薬で色つけ)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
10 季節や行事と造形① 枝や木の実を遊ぶ(ゴッドアイを作ろう)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
11 工芸の世界に触れる③ ガラスや金属でハンドメイドを楽しむ	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
12 工芸の世界に触れる④ 染色に挑戦(タイダイ染め・草木染め)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
13 工芸の世界に触れる⑤ 木工に挑戦1	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
14 工芸の世界に触れる⑥ 木工に挑戦2	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間
15 季節や行事と造形③ 作品バッグを作ろう(エコバック作り)	事前学習： 服装・持ち物等必要な準備をする。 事後学習： 活動の振り返りをプリントにまとめる。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0083	生活の基礎	馬場 千晶	通年	必修	演習	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 近年生活の中で従来あたりまえにできていると思われていた行動が欠落しているという指摘を仄聞する。そのため当授業では、保育者として必要と考えられる生活のさまざまな要素を身につけていく。保育者また社会人として必要な知識を獲得するとともに、受講生自身の保育の質を高めることをねらいとする。園生活の諸問題、文化について取り上げ、保育現場を想定したさまざまな演習を行っていく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人として基礎的なマナーと教養を身につけている	受講態度	40	5	授業ごとに課される課題とともに、自ら課する課題を十分に理解できている			
				4	授業ごとに課される課題を十分に理解できている。			
				3	授業ごとに課される課題を理解できている。			
				2	授業ごとに課される課題を一部しか理解できていない。			
				1	授業ごとに課される課題を理解できていない。			
		レポート	30	5	授業の内容を十分に理解して知識と教養が確実に身についている。			
				4	授業の内容を理解して知識と教養が十分に身についている。			
				3	授業の内容を理解して知識と教養が身についている。			
				2	授業の内容を理解しているが、知識と教養が身につけていない。			
				1	授業の内容を理解していない。			
向上心・責任感	新たなことに挑戦する意欲が持てる。	受講態度	30	5	授業ごとに課される課題とともに、自ら課する課題を意欲的に取り組んでいる			
				4	授業ごとに課される課題に意欲的に取り組んでいる。			
				3	授業ごとに課される課題に取り組んでいる。			
				2	授業ごとに課される課題への取り組みが消極的である。			
				1	授業ごとに課される課題に取り組んでいない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 中川秋美他『保育を支える生活の基礎—豊かな環境のつくり手として—』(萌文書林) 参考書： 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」、その他はテーマごとに適宜紹介する。								
課題やレポートのフィードバックを行う。								

保育士課程・認定絵本士の必修科目

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
1 生活の基礎とは（オリエンテーション） 保育の中での生活と流れ・自己紹介マップ	事前学習： シラバスを読んで、学びのイメージを描む。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
2 学ぶ力①調べる力・情報の収集と整理（図書館ツアー） 【認定絵本士養成講座該当回】	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
3 保育の1年間の生活① 4月 新年度の保育環境について	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
4 保育の1年間の生活② 5月 ファミリーデーについて	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
5 保育とコミュニケーション ハガキで手紙を書く	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
6 保育と洗濯 洗濯のり遊びについて	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
7 保育とリサイクル プラスチック素材で遊ぶ	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
8 園外保育の準備と配慮① フレッシュマンセミナー【芸術鑑賞会】	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
9 保育の1年間の生活③ 6月 梅雨の時期の保育	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
10 保育の1年間の生活④ 7月 七夕の時期の保育について	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
11 保育写真の準備と配慮 ドキュメンテーションを作ろう	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
12 学ぶ力② 聞く力 ノートやメモの取り方	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
13 保育の1年間の生活⑤ 8月 夏季保育・夏の遊びについて	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
14 保育と裁縫① 実習に向けて名札作り1	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
15 保育と裁縫② 実習に向けて名札作り2	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
16 社会生活力① テーブルマナーについて学ぶ	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
17 保育の1年間の生活⑥ 9月 夏休み明けの時期の保育について	事前学習： これまでの学習を振り返る。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
18 保育の1年間の生活⑦ 10月 運動会の時期の保育について	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
19 園外保育の準備と配慮② 遠足・散歩の環境を知り遊びを展開する	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
20 保育と素材や道具① 紙から広がる保育の遊び	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
21 保育の1年間の生活⑧ 11月 秋の保育について・落ち葉と自然	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
22 保育と衣服 衣替えとTP0に合わせた服について	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
23 保育と素材や道具② 色と光・秋の遊びについて	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
24 保育の1年間の生活⑨ 12月 冬の保育について・行事を意識する1	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	1時間
25 保育と食生活 乳幼児期の食と栄養	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： レポートを作成する。	1時間
26 保育の1年間の生活⑩ 1月 保育と年末年始・日本文化を知る	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
27 保育と素材や道具③ 風と凧・冬の遊び	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
28 保育の1年間の生活⑪ 2月 節分、旧正月・世界の文化を知る	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
29 保育の1年間の生活⑫ 行事と保育について（1年間の行事のまとめ）	事前学習： 教科書の指定箇所を読んでおく。 事後学習： 指定された課題に取り組む。	1時間
30 社会生活力② 実習に向けて 挨拶・敬語・地図を書く	事前学習： これまでの学習を振り返る。 事後学習： レポートを作成する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0084	教育方法	片桐 恵子	前期	選択	演習	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
この授業では、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。具体的には、幼児期にふさわしい教育方法の基礎理論及び教育方法のあり方や幼児理解に基づいた評価の基礎について理解し、話法、保育教材・教具等、保育を行う上での基礎的な技術を身に付ける。また、幼児期教育に関する諸理論を理解し、ねらい・内容、保育環境、保育展開、保育形態、評価等の視点を含めた保育指導案を作成しグループ作業、レポート作成によって、子どもの興味・関心を高めた学習内容を具体的に考える。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	幼児教育における教育方法の 理念を理解し、様々な活動に 携わる	レポート	20	5	きわめて論理的で説得的な文章で自分の意見を的確に表現できる。			
				4	論理的で説得的な文章で自分の意見を的確に表現できる。			
				3	整理された文章で自分の意見を述べられる。			
				2	自分の意見はあるが説得的ではない。			
				1	自ら考えて意見を持つとしない。			
思考力	子どもの発達を理解する	作品	30	5	保育計画の各項目の内容や意義を十分に理解した上で適切に立案できる。			
				4	保育計画の各項目の内容や意義を理解した上で適切に立案できる。			
				3	保育計画の各項目の内容や意義を理解した上で立案できる。			
				2	保育計画の各項目の内容や意義を理解が不十分である。			
				1	保育計画の各項目の内容や意義を理解していない。			
実践力	適切な保育活動が提示できる	レポート	50	5	グループワーク及びその発表において、9割以上の評価に達する。			
				4	グループワーク及びその発表において、8割以上の評価に達する。			
				3	グループワーク及びその発表において、7割以上の評価に達する。			
				2	グループワーク及びその発表において、6割以上の評価に達する。			
				1	グループワーク及びその発表において、6割未満である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜レジュメ、資料配布								
参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】								
レポートのフィードバックを行う。								
保育士課程の選択必須科目、幼稚園教諭2種免許状の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 教育方法とは何か	事前学習: シラバス及びオリエンテーション資料を理解する 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
2 教育の方法と教師の専門性 子ども達に育みたい資質・能力について	事前学習: 理想の教師像についてまとめておく 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
3 保育実践に求められる保育技術① 言葉がけ・発問・応答的対話的な保育実践について	事前学習: 子どもの発達段階をまとめておく 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
4 保育実践に求められる保育技術② 保育環境の構成と保育者の役割について	事前学習: 子どもの発達段階をまとめておく 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
5 保育実践に求められる保育技術③ 保育実践に活用できる教材・教具について	事前学習: 子どもの発達段階をまとめておく 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
6 指導案の作成及び実践① ねらい・内容の観点から	事前学習: 実習での課題をまとめておく 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
7 指導案の作成及び実践② 保育環境・保育の展開の観点から	事前学習: 実習での課題をまとめ、配布資料で確認する 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
8 指導案の作成及び実践③ 評価	事前学習: 実習での課題をまとめ、配布資料で確認する 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
9 保育を支える指導技術	事前学習: 保育者の対応についてまとめる 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
10 子どもの多様性・主体的・対話的での深い学び	事前学習: 幼少期を振り返り、保育者との関わりで気付いたことをまとめる 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
11 学びを引き出す保育力	事前学習: 子どもの興味を持つ教材の活用について考えておく 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
12 保育とITCの活用 教材づくり	事前学習: 実習でICTを利用した場面をまとめておく 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
13 これからの学習環境① 保育環境評価スケール	事前学習: 配布資料を読む 事後学習: レポート課題に取り組む	4時間
14 これからの学習環境②	事前学習: 配布資料を読む 事後学習: 授業内容を整理する	4時間
15 まとめ	事前学習: これまでの授業内容をまとめる 事後学習: 授業内容を整理する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
DC0085	子育て支援実践演習	本蔵 達矢	後期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 子育て支援における学びと平行しながら、実際の子育て支援の現場を観察して理解を深める。 また、アンケート調査など現場のニーズを汲みとる方法を実践し、ニーズに合わせた活動を企画し、実践を行う。 本講義では、子育て支援活動に対する保護者のニーズのくみ取り方、企画力、実践力の基礎が身につく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	こどもの発達に応じた親子遊びや 教材を作成できる	作品	30	5	教材および親子向けポスターなどが適切に作成されている			
				4	教材および親子向けポスターなどがほぼ適切に作成されている			
				3	教材は適切に作成されているが親子向けポスターは作成されていない			
				2	教材が適切に作成されていないが親子向けポスターは作成されている			
				1	教材および親子向けポスターなどが適切に作成されていない			
思考力	子育て支援の場での具体的援助を 構想できる	作品	30	5	アンケートや実践の計画が適切に作成されている			
				4	アンケートや実践の計画がほぼ適切に作成されている			
				3	アンケートや実践の計画がやや適切に作成されている			
				2	アンケートや実践の計画があまり適切に作成されていない			
				1	アンケートや実践の計画が適切に作成されていない			
実践力	構想した具体的援助を子育て支援 の場で実践できる	受講態度	30	5	観察記録が適切に作成されていて、積極的に実践に取り組んでいる			
				4	観察記録が適切に作成されていて、ほぼ積極的に実践に取り組んでいる			
				3	観察記録が適切に作成されていて、やや積極的に実践に取り組んでいる			
				2	観察記録が適切に作成されておらず、あまり積極的に実践に取り組んでいない			
				1	観察記録が適切に作成されておらず、積極的に実践に取り組んでいない			
向上心・責任 感	他者を尊重しつつ、協力して子育て 支援を実践できる	受講態度	10	5	他者を尊重しつつ、協力して子育て支援を実践できている			
				4	他者を尊重しつつ、協力して子育て支援をほぼ実践できている			
				3	他者を尊重しつつ、協力して子育て支援をやや実践できている			
				2	他者を尊重しつつ、協力して子育て支援をあまり実践できていない			
				1	他者を尊重しつつ、協力して子育て支援を実践できていない			
					5			
					4			
					3			
					2			
					1			
					5			
					4			
					3			
					2			
					1			
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 授業中に適宜紹介する								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックを行う。 希望者数によって履修制限を行う（3～5名程度）。実践内容はももこ・こどもセンターとの協議により変わる場合がある。保育士課程の選択必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 オリエンテーション	事前学習： シラバスを読み、授業の見通しをもつ 事後学習： 子育て支援論の復習をする	1 時間
2 子育て支援の場の観察 アンケートを作成する	事前学習： 子育て支援センターにおける服装や身だしなみについて確認する 事後学習： アンケートを配布する	1 時間
3 子育て支援実践の検討	事前学習： アンケートを回収する 事後学習： 現場に向けて知らせる媒体を完成させる	1 時間
4 実践への準備①	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践準備の確認を行う	2 時間
5 グループによる子育て支援の実践活動と反省会①	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践の反省から次回の実践で活かせることを考える	1 時間
6 実践への準備②	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践準備の確認を行う	2 時間
7 グループによる子育て支援の実践活動と反省会②	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践の反省から次回の実践で活かせることを考える	1 時間
8 実践への準備③	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践準備の確認を行う	2 時間
9 グループによる子育て支援の実践活動と反省会③	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践の反省から次回の実践で活かせることを考える	1 時間
10 実践への準備④	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践準備の確認を行う	2 時間
11 グループによる子育て支援の実践活動と反省会④	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践の反省から次回の実践で活かせることを考える	1 時間
12 実践への準備⑤	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践準備の確認を行う	2 時間
13 グループによる子育て支援の実践活動と反省会⑤	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践の反省から次回の実践で活かせることを考える	1 時間
14 実践への準備⑥	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： 実践準備の確認を行う	2 時間
15 グループによる子育て支援の実践活動と反省会⑥	事前学習： 実践の準備を行う 事後学習： まとめ	1 時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0086	キッズダンス（身体表現）	伊坪 有紀子	集中	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
ダンスは、人類の最古の文化の一つであり、時代とともに変容しながら常に人間の生活と深く関わって存在してきた。ダンスを通じて幼児の独創的な想像力を身体を用いて表現する力につなげ、身体感覚を養うとともにその楽しさを引き出すことは幼児期の情緒を育てる上で大切である。こどもたちが自ら楽しんで体を動かし自由に表現できるようになるためのキッズダンスの指導法を身につけるとともに、自らの身体感覚を認識し、身体表現を楽しみ、イメージやリズムにふさわしい動きをみつれたり仲間と作品を創作・鑑賞したりする中で、身体による豊かなコミュニケーション能力と実践力を培う。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	こどもの身体表現を学び、指導力・理解力を身につける	レポート	35	5	こどもの身体表現について十分に理解し、キッズダンスの指導法について深く考察することができる			
				4	こどもの身体表現について十分に理解し、キッズダンスの指導法について考察することができる			
				3	こどもの身体表現について理解し、キッズダンスの指導法について考察することができる			
				2	こどもの身体表現について学び、キッズダンスの指導法について考察することができる			
				1	こどもの身体表現についての理解が不十分であるが、キッズダンスの指導法について考察することができる			
専門的知識・ 技術	こどもの手本となる表現技術を身につける	確認テスト	15	5	基本的なステップを全て正確に行うことができる			
				4	基本的なステップをほとんど正しく行うことができる			
				3	基本的なステップをいくつか正しく行うことができる			
				2	基本的なステップを行うことができる			
				1	基本的なステップの知識がある			
実践力	こどもにわかりやすく指示しながら、キッズダンスを指導することができる	受講態度	25	5	担当回で十分な準備をし、こどもにわかりやすく指示しながら、キッズダンスを指導することができる			
				4	担当回で準備をし、こどもにわかりやすく指示しながら、キッズダンスを指導することができる			
				3	担当回で準備をし、こどもに指示しながら、キッズダンスを指導することができる			
				2	担当回で準備をし、キッズダンスを指導することができる			
				1	担当回での準備が不十分であるが、キッズダンスを指導することができる			
実践力	こどもの発達と心理をふまえて、対象年齢にあった魅力的なダンスを考案ができる	作品	25	5	発達と心理を考慮し、対象年齢に合ったこどもがよるこぶダンスを考案できる			
				4	発達と心理を考慮し、対象年齢に合ったダンスを考案できる			
				3	発達と心理を考慮し、こどもがよるこぶダンスを考案できる			
				2	対象年齢を考えてダンスを考案できる			
				1	ダンスを考案できているが、配慮が不十分である			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 参考書： 清水 玲子『和の音楽で踊ろう、歌おう！CDブック ニッポン！和っしょい運動会！』（世界文化社） 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレバール館）								
【その他】 課題や作品のフィードバックを行う。 保育士課程の選択必修科目 安全を確保するため運動に適した服装・態度を求める。 見学は原則認めない。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス キッズダンスとは	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: ガイダンスの内容をふまえてレポートを作成する	1時間
2 ダンスの実践① リズムを感じる	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業内容をふまえてレポートの作成	1時間
3 ダンスの実践② 型を知る	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業内容をふまえてレポートの作成	1時間
4 ダンスの実践③ 感性を磨く	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業内容をふまえてレポートの作成	1時間
5 こどもの気持ち 触感 ステップの習得	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業内容をふまえてレポートの作成	1時間
6 なりきりダンス① 忍者あそび	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 発表計画 準備	1時間
7 なりきりダンス② 発表	事前学習: 発表準備 練習 事後学習: 実践の振り返り	1時間
8 音と絵本と表現① 音とイメージ	事前学習: 絵本探し・音探しをしておく 事後学習: 実践の振り返り 練習	1時間
9 音と絵本と表現② 構成と表現	事前学習: 準備・練習 事後学習: 実践の振り返り	1時間
10 音と絵本と表現③ 発表 鑑賞	事前学習: 発表準備 練習 事後学習: 記録・反省	1時間
11 キッズダンスの作品創作	事前学習: テーマ探し・音探しをしておく 事後学習: 計画作成	1時間
12 キッズダンスの指導法①	事前学習: 構想 練習 事後学習: 授業内容をまとめる	1時間
13 キッズダンスの指導法②	事前学習: 発表準備 練習 事後学習: 発表計画 準備	1時間
14 発表 鑑賞	事前学習: 発表準備 練習 事後学習: 実践の振り返り	1時間
15 振り返り まとめ	事前学習: 作品分析 事後学習: 学習内容のまとめ	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0087	保育イベントプランニング	伊坪 有紀子	前期	選択	演習	1	○	3
[授業のねらい及び身につく能力] 保育所や幼稚園では、通常の保育以外にもさまざまな年間の活動がある。なぜ保育現場にこうした行事が必要なのだろうか。本講座では、年間のさまざまな行事活動に目を向け、どのような保育活動を展開させるべきか考察していく。								
[学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法]								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育における行事活動の意味を理解し、保育者として望ましい活動を提示できる	受講態度	50	5	行事活動の意味を十分に理解し、保育者としてイベントの提案ができる			
				4	行事活動の意味を理解し、保育者としてイベントの提案ができる			
				3	行事活動の意味を理解し、保育者としてイベントを知る			
				2	行事活動の意味を知り、保育者としてイベントに協力ができる			
				1	行事活動があることを理解する			
実践力	行事活動の指導方法を知り、身につける	受講態度	50	5	行事活動の指導法を知り、よりよくするための提案ができる			
				4	行事活動の指導法を知り、自分なりに提案ができる			
				3	行事活動の指導法を知り、考案に取り組む			
				2	行事活動の指導法を知る			
				1	行事活動を知る			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
[教科書・参考書] 教科書： 大豆生田啓友編『園行事を「子ども主体」に変える！』（チャイルド本社、2021年） 参考書： 講義内容に応じて適宜紹介する								
[その他] レポートおよび作品のフィードバックを行う 保育士課程の選択必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス こどもにとっての行事・イベントとは	事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： 保育所保育指針を精読する	4時間
2 遠足①プランニング こどものための遠足とは	事前学習： テキストを読んでおく 事後学習： 課題に取り組む	4時間
3 遠足②実地踏査 気づきと振り返り	事前学習： 準備をする 事後学習： 振り返りを行う	4時間
4 こどもの日、ひな祭り 成長と健康を祝う	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 作品を仕上げる	4時間
5 敬老の日、父の日、母の日、勤労感謝の日 周りの人への感謝	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 課題に取り組む	4時間
6 運動会 運動を楽しみ、喜ぶ	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 学習内容をまとめる	4時間
7 誕生日会 一人ひとりが特別	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 作品を仕上げる	4時間
8 避難訓練 命を守る	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 学習内容をまとめる	4時間
9 お泊り保育 自立と強調	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 学習内容をまとめる	4時間
10 発表会・お遊戯会・作品展① 普段の遊びを表現に変える 実施保育園見学	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 課題に取り組む	4時間
11 発表会・お遊戯会・作品展② プランニング	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 学習内容をまとめる	4時間
12 宗教と行事 はなまつり・クリスマス	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 課題に取り組む	4時間
13 七夕・節分 季節を感じる	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 作品を仕上げる	4時間
14 夏祭り① 意義・企画	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 準備をする	4時間
15 夏祭り② 実施 まとめ	事前学習： 発表準備 事後学習： 考察を行う	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0088	特別な支援を要する子どもの 理解と支援A	篠沢 薫	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
障害や生育環境等に起因する特別な支援を要する子どもの発達特性を理解し、保育において発達に応じた支援方法を理解し実践する力を身につけることをねらいとする。特別な支援を要する子どもについて、身体的・心理的特性や心身の発達、生活上の困難さ、環境の工夫等の知識を身につける。さらに映像や具体物を使った体験的授業によって、理解を深め、保育における支援方法を考えられる力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	保育者として、障害や生育環境に起因する特別な支援を要する子どもに関する基礎的な知識を習得する。また多様なニーズに対応できるよう、保育における支援方法を習得する。	確認テスト	60	5	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が9割以上である。			
				4	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が8割以上である。			
				3	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が7割以上である。			
				2	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割以上である。			
				1	基礎的な知識を確認する確認テストの得点が6割未満である。			
実践力	特別な支援を要する子どもを理解した上で、保育者として、その子どもに合った支援方法を提案できる。	受講態度	40	5	授業内容を理解した上で説明ができ、授業の欠席が2回以下である。			
				4	授業内容を理解した上である程度の説明ができ、授業の欠席が3回である。			
				3	授業内容を理解した上で説明しようとする意欲があり、授業の欠席が4回である。			
				2	授業内容を理解し、授業の欠席が5回である。			
				1	授業内容を理解しておらず、授業の欠席が6回以上である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「学ぶ・わかる・みえる 演習・保育と障害のある子ども【第2版】」野田敦史・林恵 編 みらい (2024年)								
参考書： 「保育所保育指針解説」、「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園・保育要領解説」フレーベル館 (2018年)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
・確認テストやレポート課題のフィードバックを授業内で行う。 ・保育士課程の必修科目・幼稚園教諭2種免許状の必修科目である。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 「障害」概念の変遷とインクルーシブ保育	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
2 知的障害のある幼児の理解と支援方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
3 発達障害のある幼児の理解と支援方法① (ASD)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
4 発達障害のある幼児の理解と支援方法② (ADHDとSLD)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
5 身体障害のある幼児の理解と支援方法① (身体不自由)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
6 身体障害のある幼児の理解と支援方法② (視覚障害)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
7 身体障害のある幼児の理解と支援方法③ (聴覚障害)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
8 言語障害のある幼児の理解と支援方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
9 医療的ケアの必要な幼児の理解と支援方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
10 てんかんのある幼児の理解と支援方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
11 愛着障害のある幼児の理解と支援方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
12 文化的言語的に多様な幼児の理解と支援方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
13 インクルーシブ保育実践① (職員間の連携と協働、環境設定など)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
14 インクルーシブ保育実践② (子ども同士の関わり、家庭や関係機関との連携)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
15 特別支援と保育に関する現状と課題 (知識の定着、概念の理解、確認テスト)	事前学習： これまでの授業内容を復習する。 事後学習： 確認テストで分からなかった部分は教科書や参考資料を読む。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0089	特別な支援を要する子どもの理解と支援B	篠沢 薫	後期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
「特別な支援を要する子どもの理解と支援A」で学んだ様々な障害の特性や支援方法に関する基礎知識を基にして、保育者に求められる具体的な支援方法を実践する力を身につけることをねらいとする。子ども一人ひとりを理解し適切な支援の見通しを持つために、個別の計画、教材や環境、集団生活への配慮について考えられる力を身につける。また職員間や保護者、関係機関との連携について実践できる力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価		評価観点		
専門的知識・ 技術	保育者として、障害や生育環境に起因する特別な支援を要する子どもに関する基礎的な知識を基にして、多様なニーズに対応できるよう、保育における支援方法を習得する。	レポート	40	5	保育における支援方法の理解を確認するレポートや確認テストの得点が9割以上である。			
				4	保育における支援方法の理解を確認するレポートや確認テストの得点が8割以上である。			
				3	保育における支援方法の理解を確認するレポートや確認テストの得点が7割以上である。			
				2	保育における支援方法の理解を確認するレポートや確認テストの得点が6割以上である。			
				1	保育における支援方法の理解を確認するレポートや確認テストの得点が6割未満である。			
実践力	特別な支援を要する子どもを理解した上で、保育者として、その子どもに合った支援方法を提案できる。	受講態度	60	5	授業内容を理解した上で課題に合った内容を自分の表現で提案できている。			
				4	授業内容を理解した上で課題に合った内容を提案できている。			
				3	授業内容を理解した上で課題に対して内容を提案できている。			
				2	授業内容を理解して提案できている。			
				1	授業内容を理解していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「学ぶ・わかる・みえる 演習・保育と障害のある子ども【第2版】」野田敦史・林恵 編 みらい (2024年)								
参考書： 「保育所保育指針解説」、「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園・保育要領解説」フレーベル館 (2018年)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
・確認テストやレポート課題のフィードバックを授業内で行う。 ・保育士課程の必修科目・幼稚園教諭2種免許状の必修科目である。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
オリエンテーション 1 「特別な支援を要する子どもの理解と支援A」の復習<「障害」の捉え方、障害の特性ほか>	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
2 特別な支援を要する子どもの保育	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
3 インクルーシブ保育① (子ども同士の育ち合い)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
4 インクルーシブ保育② (環境の工夫や職員間の連携)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
5 個別の指導計画及び個別の教育支援計画①作成の意義	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
6 個別の指導計画及び個別の教育支援計画②作成の方法	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
7 発達評価の実際	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
8 児童発達支援センターや児童発達支援事業所の実際① (生活や遊びの実際)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
9 児童発達支援センターや児童発達支援事業所の実際② (個別の指導計画に沿ったプログラム)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
10 児童発達支援センターや児童発達支援事業所の実際③ (一人ひとりの課題への支援方法)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
11 障害のある幼児の家族への支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
12 文化的言語的に多様な幼児の家族への支援	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
13 特別な支援を要する子どもへの先の人生を見通す支援 (就学支援、地域や他専門職との連携など)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
14 特別な支援を要する子どもの支援方法の現状と課題 (レポートおよび総括)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
15 特別な支援を要する子どもの理解と支援方法 (確認テスト)	事前学習： これまでの授業内容を復習する。 事後学習： 確認テストで分からなかった部分は教科書や参考資料を読む。	1時間